

# 北秋田市総合戦略検証会議

## 効果検証シート

資料1 第2期北秋田市まちひととしごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画  
目標値達成状況（令和4年度版）

総合戦略							
戦略1 産業振興による仕事づくり・稼ぐ地域づくり		担当部署	R4年度目標値	R4年度実績値	実績	進捗・達成度	進捗・達成率
1	I 新規就農者数【累計】	農林課農業振興係	33人	19人	19	C	57.6%
2	II 地元雇用及び正規雇用者数【累計】	商工観光課商工労働係	96人	109人	109	A	113.5%
3	1 担い手への農地集積率【累計】	農林課農業振興係	82.8%	80.5%	80.5	A	97.2%
4	3 主な園芸作物販売額（主要6品目）【累計】	農林課農業振興係	406百万円	212百万円	212	C	52.2%
5	4 比内地鶏飼養羽数【累計】	農林課農業振興係	96,850羽	64,920羽	64920	B	67.0%
6	1 林業就業者数【累計】	農林課林業振興係	181人	176人	176	A	97.2%
7	2 造林面積（新植を除く）【累計】	農林課林業振興係	1,578ha	1,564ha	1564	A	99.1%
8	3 再造林面積（新植）	農林課林業振興係	33.0%	11.6%	11.6	D	35.2%
9	4 路網延長（林道及び林業専用道等）【累計】	農林課林業振興係	8.02m/ha	8.32m/ha	8.32	A	103.7%
10	1 起業・創業者数【累計】	商工観光課商工労働係	7人	7人	7	A	100.0%
11	2 新規出店者数（賑わい再生支援事業）【累計】	商工観光課商工労働係	5件	19件	19	A	380.0%
12	3 魅力ある特産品推奨認定件数【累計】	商工観光課商工労働係	100件	98件	98	A	98.0%
13	4 アンテナショップの取扱い商品数	商工観光課商工労働係	160商品	33商品	33	D	20.6%
14	1 森吉山県立自然公園入込数（延べ人数）	商工観光課観光振興係	62,000人	56,583人	56583	A	91.3%
15	2 歴史文化施設・祭り入込数（延べ人数）	商工観光課観光振興係	40,800人	40,604人	40604	A	99.5%
16	3 北秋田市宿泊施設売上推計額（推定単価×宿泊者数）	商工観光課観光振興係	465百万円	409百万円	409	A	88.0%
17	4 訪日外国人宿泊客数（延べ宿泊者数）	商工観光課観光振興係	3,100人	359人	359	D	11.6%
18	5 道の駅等売上推計額（推定単価×利用者数）	商工観光課観光振興係	292百万円	247百万円	247	A	84.6%
19	2 資格取得支援助成金活用による資格取得者数	商工観光課商工労働係	49人	52人	52	A	106.1%
20	3 増設事業所数【平成28年度以降の累計】	商工観光課商工労働係	5件	8件	8	A	160.0%
21	4 新規進出事業所数【累計】	商工観光課商工労働係	4事業所	5事業所	5	A	125.0%
<進捗・達成度> (A) 80%以上 (B) 60~79% (C) 50~59% (D) 50%未満			目標達成項目(80%以上)	71.4%		(15/21)	
戦略2 新たな人の流れをつくる移住・定住の促進		担当部署	R4年度目標値	R4年度実績値	実績	進捗・達成度	進捗・達成率
22	I 行政が窓口となった年間移住者数【平成27年度以降の累計】	総合政策課移住定住支援室	243世帯310人	261世帯365人	365	A	117.7%
23	2 移住定住相談者数【累計】	総合政策課移住定住支援室	807人	710人	710	A	88.0%
24	3 体験移住参加者数【累計】（ツアー参加者、オンラインツアー参加者含む）	総合政策課移住定住支援室	346人	440人	440	A	127.2%
25	4 移住定住情報提供者登録者数【累計】	総合政策課移住定住支援室	273人	339人	339	A	124.2%
26	1 友好交流都市との交流事業数【累計】	総合政策課政策係	13事業	13事業	13	A	100.0%
<進捗・達成度> (A) 80%以上 (B) 60~79% (C) 50~59% (D) 50%未満			目標達成項目(80%以上)	100.0%		(5/5)	
戦略3 結婚・出産・子育てをかなえる切れ目のない支援の推進		担当部署	R4年度目標値	R4年度実績値	実績	進捗・達成度	進捗・達成率
27	I 出生数【単年】	こども課こども応援係	93人	84人	84	A	90.3%
28	II 婚姻数【単年】	総合政策課移住定住支援室	89組	55組	55	B	61.8%
29	2 出生数に占める低出生体重児の割合	医療健康課健康推進係	7.0%	6.0%	6	A	116.7%
30	3 子育て中の母の気持ちや体調が良い割合	医療健康課健康推進係	82.0%	76.2%	76.2	A	92.9%
31	4 子育てに関して気軽に相談できる人がいる保護者の割合	こども課こども応援係	65.0%	67.7%	67.7	A	104.2%
32	5 子育てしやすいまちだと答えた市民の割合	こども課こども応援係	75.0%	65.6%	65.6	A	87.5%
33	1 市の審議会、委員会等の女性参画率	生活課地域推進係	27.5%	32.1%	32.1	A	116.7%
34	2 市役所における女性管理職員の割合（各年度4月1日現在）	総務課総務係	30.0%	19.4%	19.4	B	64.7%
35	3 男性の家事・介護・看護・育児にかかる時間数の割合	生活課地域推進係	30.0%	21.9%	21.9	B	73.0%
36	4 市役所における男性職員の育児等に伴う休暇の取得割合（取得職員/対象職員）	総務課総務係	100.0%	50.0%	50	C	50.0%
37	5 市役所における男性職員の育児休業の取得割合（取得職員/対象職員）	総務課総務係	50.0%	50.0%	50	A	100.0%
<進捗・達成度> (A) 80%以上 (B) 60~79% (C) 50~59% (D) 50%未満			目標達成項目(80%以上)	63.6%		(7/11)	

資料1 第2期北秋田市まちひととしごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画  
目標値達成状況（令和4年度版）

戦略4	住み続けたい、安心を築く地域社会の形成	担当部署	R4年度目標値	R4年度実績値	実績	進捗・達成度	進捗・達成率
38	1 地域が住みやすいという市民の割合【単年】	生活課地域推進係	78.5%	67.9%	67.9	A	86.5%
39	2 活発に活動が行われている自治会（町内会）の割合	生活課地域推進係	74.5%	55.8%	55.8	B	74.9%
40	3 地域活動に何か参加している市民の割合	生活課地域推進係	75.0%	61.7%	61.7	A	82.3%
41	1 県学習状況調査の質問肢「地域のためになる活動に進んで取り組みたいと思う」で「当てはまる」と答えた児童生徒の割合	学校教育課義務教育係	県平均+0.1%	県平均-1.7%	県平均-1.7%	A	96.4%
42	2 県学習状況調査の質問肢「学校が楽しい」で「当てはまる」と答えた児童生徒の割合	学校教育課義務教育係	県平均+0.1%	北秋田市47.8%	北秋田市47.8%	A	83.0%
43	3 県学習状況調査における正答率	学校教育課義務教育係	県平均+0.1%	北秋田市50.9%	北秋田市50.9%	A	98.2%
44	4 不登校児童生徒のうち、あきたリフレッシュ学園又はさわやか教室を利用している人数の割合	学校教育課義務教育係	70.0%以上	北秋田市66.4%	北秋田市66.4%	C	52.4%
45	1 公民館講座・高齢者大学・図書館等の利用者の満足度調査（コムコム含む）	生涯学習課生涯学習係	90.0%	83.4%	83.4	A	92.7%
46	2 自主講座への移行数【R3～R7年度毎の移行数の合計】	生涯学習課生涯学習係	25講座	23講座	23	A	92.0%
47	3 知識や教養、趣味等を主体的に学習する市民の割合	生涯学習課生涯学習係	60.0%	63.5%	63.5	A	105.8%
48	4 地域学校協働活動に参加したボランティアと子どもの満足度調査	生涯学習課生涯学習係	90.0%	100.0%	100	A	111.1%
49	5 北秋田市民ふれあいプラザ利用者数【延べ利用者数】	生涯学習課生涯学習係	53,000人	55,234人	55234	A	104.2%
50	6 社会教育施設台帳の整備と、今後の管理計画書の作成	生涯学習課生涯学習係	12箇所	2箇所	2	D	16.7%
51	1 公営住宅等のバリアフリー化の割合【累計】	都市計画課都市計画住宅係	85.0%	54.1%	54.1	B	63.6%
52	2 公営住宅等の入居率（入居戸数/全戸数）【累計】	都市計画課都市計画住宅係	86.0%	80.2%	80.2	A	93.3%
53	3 特定空家等に認定した家屋のうち、通知3年以内に解体された割合	総務課危機管理係	93.3%	88.9%	88.9	A	95.3%
54	4 住宅耐震化率【累計】	都市計画課都市計画住宅係	67.0%	64.4%	64.4	A	96.1%
55	5 地域による管理が行われている公園箇所数【累計】	都市計画課都市計画住宅係	3箇所	2箇所	2	B	66.7%
56	6 全体計画の調査面積に対する実施済面積の割合	財政課地籍調査室	50.0%	50.0%	50	A	100.0%
57	1 自宅の除雪について特に困っていないことがない市民の割合	高齢福祉課高齢福祉係	25.8%	14.9%	14.9	C	57.8%
58	2 自治会や近所の人と協力して（間口や）道路、歩道、自治会館やごみ集積所等の除雪作業を行っている市民の割合	高齢福祉課高齢福祉係	48.6%	36.8%	36.8	B	75.7%
59	3 福祉の雪事業の担い手として事業者登録をしている自治会の数	高齢福祉課高齢福祉係	8団体	3団体	3	D	37.5%
60	1 秋田内陸線の乗車人数	内陸線再生支援室	264,000人	183,681人	183681	B	69.6%
61	2 路線バス・デマンド型乗合タクシーの輸送人員数	総合政策課政策係	131,000人	122,459人	122459	A	93.5%
62	3 大館能代空港利用者数	総合政策課政策係	219,020人	145,617人	145617	B	66.5%
63	1 災害に備えて何かしら準備をしている市民の割合	総務課危機管理係	68.4%	60.4%	60.4	A	88.3%
64	2 防災情報メール登録者数【累計】	総務課危機管理係	1,945人	1,914人	1914	A	98.4%
65	3 自主防災組織の結成数【累計】	総務課危機管理係	51団体	48団体	48	A	94.1%
66	4 防災ラジオ配布割合	総務課危機管理係	90.1%	75.7%	75.7	A	84.0%
67	5 河川環境の整備【累計】	建設課工務係	5河川	5河川	5	A	100.0%
68	1 北秋田市でテレワーク（ワーケーション）に取り組む経費を助成する件数（累計）	商工観光課商工労働係	4件	9件	9	A	225.0%
69	2 オンライン（リモート・SNS含む）での移住定住相談者数【累計】	総合政策課移住定住支援室	90人	139人	139	A	154.4%
<進捗・達成度>（A）80%以上 （B）60～79% （C）50～59% （D）50%未満			目標達成項目（80%以上）		68.8%	(22/32)	
			総合戦略合計（80%以上）		71.0%	(49/69)	

資料1 第2期北秋田市まちひとしごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画  
目標値達成状況（令和4年度版）

総合計画								
基本理念1 健康でしごとにはげむ活力あるまちづくり		担当部署	R4年度目標値	R4年度実績値	実績	進捗・達成度	進捗・達成率	
70	1	市内の医療体制について整っており満足している市民の割合	医療健康課地域医療対策室	63.0%	57.6%	57.6	A	91.4%
71	2	市民病院の常勤医師数（※非常勤医師等数を含む常勤医師換算数）	医療健康課地域医療対策室	24.0人	23.6人	23.6	A	98.3%
72	3	北秋田市市民病院満足度（職員の対応）	医療健康課地域医療対策室	96.0%	99.0%	99	A	103.1%
73	1	健診受診率（特定健診）	医療健康課健康推進係	40.0%	36.7%	36.7	A	91.8%
74	2	がん検診受診率（5大がん検診受診率の平均、全対象に対する率）	医療健康課健康推進係	25.0%	平均8.9%	8.9	D	35.6%
75	3	メタボリックシンドロームとその予備群の割合	医療健康課健康推進係	10.0%	10.1%	10.1	A	99.0%
76	4	自分のことを健康だと思う市民の割合	医療健康課健康推進係	70.0%	69.4%	69.4	A	99.1%
77	5	健康診断を受けている市民の割合	医療健康課健康推進係	30.0%	23.1%	23.1	B	77.0%
78	6	心はればれゲートキーパー養成講座受講者数	医療健康課健康推進係	100人	33人	33	D	33.0%
<進捗・達成度>（A）80%以上 （B）60～79% （C）50～59% （D）50%未満			目標達成項目（80%以上）	66.7%		(6/9)		
基本理念2 お互いが尊敬し支えあう明るいまちづくり		担当部署	R4年度目標値	R4年度実績値	実績	進捗・達成度	進捗・達成率	
79	1	支援調整会議における検討者数、自立者数【累計】	福祉課地域障がい福祉係	88人	81人	81	A	92.0%
80	2	ひきこもり解消（社会参加、就労）数【累計】	福祉課地域障がい福祉係	77人	55人	55	B	71.4%
81	3	悩みや不安を相談できる人がいる市民の割合	福祉課地域障がい福祉係	91.8%	89.5%	89.5	A	97.5%
82	1	要介護・要支援認定を受けていない後期高齢者（75歳以上）の割合	高齢福祉課介護保険係	68.0%	66.9%	66.9	A	98.4%
83	2	要介護・要支援認定を受けていない前期高齢者（65歳～74歳以下）の割合	高齢福祉課介護保険係	97.0%	96.4%	96.4	A	99.4%
84	3	悩みや不安を相談できる人がいないと答えた60歳以上の市民の割合	高齢福祉課高齢福祉係	5.0%	9.5%	9.5	C	52.6%
85	4	家族の世話や介護に不安を感じると答えた市民の割合	高齢福祉課高齢福祉係	36.5%	41.1%	41.1	A	88.8%
86	1	福祉施設入所者数【累計】	福祉課地域障がい福祉係	122人	127人	127	A	96.1%
87	2	福祉施設から一般就労への移行者数【累計】	福祉課地域障がい福祉係	16人	12人	12	B	75.0%
88	3	福祉施設から就労継続支援A型・B型への移行者数	福祉課地域障がい福祉係	A型5人 B型8人	A型3人 B型8人	87	A	93.5%
89	4	就労移行支援事業の利用者数【累計】	福祉課地域障がい福祉係	8人	3人	3	D	37.5%
90	5	公共施設バリアフリー率【累計】	福祉課地域障がい福祉係	25.7%	24.7%	24.7	A	96.1%
<進捗・達成度>（A）80%以上 （B）60～79% （C）50～59% （D）50%未満			目標達成項目（80%以上）	66.7%		(8/12)		
基本理念3 命のたいせつさを学び文化をはぐくむ豊かなまちづくり		担当部署	R4年度目標値	R4年度実績値	実績	進捗・達成度	進捗・達成率	
91	1	伊勢堂岱遺跡を見学したことがある市民の割合	生涯学習課世界遺産推進係	50.0%	39.8%	39.8	B	79.6%
92	2	伊勢堂岱遺跡に関する市のイベントや関連団体に参加するなど既に協力している市民の割合	生涯学習課世界遺産推進係	5.0%	0.3%	0.3	D	6.0%
93	3	伊勢堂岱遺跡のボランティアガイドを始めた人数	生涯学習課世界遺産推進係	2人	1人	1	C	50.0%
94	4	芸術や文化等のグループ活動に参加したことがある市民の割合	生涯学習課文化係	8.0%	4.1%	4.1	C	51.3%
95	5	市内にある文化財を5つ以上、知っている市民の割合	生涯学習課文化係	55.0%	56.3%	56.3	A	102.4%
96	6	祭りや伝統芸能等の地域行事に参加したことがある市民の割合	生涯学習課文化係	35.0%	18.3%	18.3	C	52.3%
97	7	市内に限らず、年1回以上芸術文化を鑑賞した市民の割合	生涯学習課文化係	38.0%	44.0%	44	A	115.8%
98	1	運動・スポーツに対する満足度	スポーツ振興課スポーツ係	70.0%	59.1%	59.1	A	84.4%
99	2	週1回以上運動・スポーツをする市民の割合	スポーツ振興課スポーツ係	50.0%	42.5%	42.5	A	85.0%
100	3	スポーツ・文化活動等に係る合宿誘致数【単年】	スポーツ振興課スポーツ係	延べ500名 5団体	0名0団体	0	D	0.0%
<進捗・達成度>（A）80%以上 （B）60～79% （C）50～59% （D）50%未満			目標達成項目（80%以上）	40.0%		(4/10)		

資料1 第2期北秋田市まちひととしごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画  
目標値達成状況（令和4年度版）

基本理念4 自然を愛し環境をととのえる美しいまちづくり		担当部署	R4年度目標値	R4年度実績値	実績	進捗・達成度	進捗・達成率
101	1 家庭ごみ1日1人あたりの排出量	生活課環境係	642.8g/人・日	705.7g/人・日	705.7	A	91.1%
102	2 総資源化率（リサイクル率）	生活課環境係	15.7%	15.8%	15.8	A	100.6%
103	3 不法投棄件数	生活課環境係	40件	115件	115	D	34.8%
104	4 クリーンアップ活動に参加している延べ人数の割合	生活課環境係	32.7%	30.3%	30.3	A	92.7%
105	1 地球温暖化防止につながる取組をしている市民の割合（冷暖房の温度設定の調整）	生活課環境係	60.9%	55.0%	55	A	90.3%
106	2 公共施設（市直営施設）におけるCO2排出量	生活課環境係	12,664t-CO2	11,039t-CO2	11039	A	114.7%
107	1 市道の改良率【累計】	建設課工務係	79.1%	78.2%	78.2	A	98.9%
108	2 市道の舗装率【累計】	建設課工務係	73.3%	71.7%	71.7	A	97.8%
109	3 緊急度が高い道路の舗装改良率【累計】	建設課工務係	79.8%	75.7%	75.7	A	94.9%
110	4 早期措置段階の橋梁補修数【累計】	建設課工務係	17橋	13橋	13	B	76.5%
111	1 水洗化率【累計】	都市計画課下水道係	88.8%	80.7%	80.7	A	90.9%
112	2 経費回収率	都市計画課下水道係	90.0%	85.4%	85.4	A	94.9%
113	3 合併処理浄化槽設置基数【累計】	都市計画課下水道係	1,154基	1,093基	1093	A	94.7%
114	1 有収率	水道課管理係	75.0%	70.5%	70.5	A	94.0%
115	2 収納率	水道課経営係	99.5%	99.5%	99.5	A	100.0%

<進捗・達成度> (A) 80%以上 (B) 60~79% (C) 50~59% (D) 50%未満

目標達成項目（80%以上）	86.7%	(13/15)
---------------	-------	---------

基本理念5 みんなで力をあわせる住みよいまちづくり		担当部署	R4年度目標値	R4年度実績値	実績	進捗・達成度	進捗・達成率
116	1 救命講習会を受講したことがある市民の割合	消防本部	60.0%	58.4%	58.4	A	97.3%
117	2 住宅用火災報警器の設置率	消防本部	95.0%	82.4%	82.4	A	86.7%
118	3 救急救命士数	消防本部	30人	27人	27	A	90.0%
119	4 消防団充足率	消防本部	90.0%	90.0%	90	A	100.0%
120	5 消防団協力事業所数【累計】	消防本部	7事業所	9事業所	9	A	128.6%
121	1 交通指導隊・防犯指導隊員数【累計】	生活課地域推進係	80人	63人	63	B	78.8%
122	2 年間の交通事故件数（人身事故件数）	生活課地域推進係	35件	24件	24	A	145.8%
123	3 交通事故死者数	生活課地域推進係	0人	1人	-	-	-
124	4 犯罪件数（刑法犯認知件数）	生活課地域推進係	40件	68件	68	C	58.8%
125	1 消費生活に関する講座、研修会参加者数	生活課地域推進係	180人	72人	72	D	40.0%
126	1 職員数（各年度4月1日現在）	総務課総務係	464人	461人	461	A	99.4%
127	2 実質公債費比率	財政課財政係	11.1%	8.3%	8.3	A	133.7%
128	3 将来負担比率	財政課財政係	85.0%	42.1%	42.1	A	201.9%
129	4 債権等（市税・負担金・使用料等）収納率	総務課総務係	98.7%	99.1%	99.1	A	100.4%
130	5 市役所職員の窓口や電話での対応が良いと答えた市民の割合	総務課総務係	61.1%	57.8%	57.8	A	94.6%
131	6 ホームページの年間アクセス数	総合政策課広報係	632,000件	835,927件	835927	A	132.3%
132	7 何かしら市政情報を得ている市民の割合	総合政策課広報係	98.0%	92.3%	92.3	A	94.2%
133	8 SNSへのフォロー数（twitter等）	総合政策課広報係	4,350件	4,731件	4731	A	108.8%
134	9 電子申請届出サービスの利用の拡大	財政課デジタル推進係	30件	48件	48	A	160.0%
135	10 RPAを導入する業務数	総合政策課政策係	4業務	1事業	1	D	25.0%

<進捗・達成度> (A) 80%以上 (B) 60~79% (C) 50~59% (D) 50%未満

目標達成項目（80%以上）	75.0%	(15/20)
総合計画合計（80%以上）	69.7%	(46/66)

※単年度の実績がない項目は対象外としています。

(令和5年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	1	種別	総合戦略	担当部署	農林課農業振興係
基本戦略/基本理念	戦略1 産業振興による仕事づくり・稼ぐ地域づくり			施策	数値目標
KPI(指標)	I 新規就農者数【累計】				
KPI(指標)の考え方	前期計画の目標値を継承し、毎年7人の新規就農者数の増加を目標とした				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	26人	33人	40人	47人	54人
実績値	18人	19人	—	—	—

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗	C: 取組に努力を要する	進捗・達成率(R4年度)	57.6%
取組の内容と達成状況	振興局やJA等関係機関と連携し、就農相談活動を実施したが、新規就農には繋がらなかった。今後を見据えて研修施設の備品を整え研修体制の充実を図った。		
取組の評価・分析・課題	就農相談の中から1名が県の農業研修の受講に繋がったことから、今後の新規就農に期待する。		
今後の方向性(取組)	地域での話し合いを設けて、新規就農への支援制度等の情報発信と相談活動に取り組む。		

KPI(指標)/数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI(指標)の考え方等	
-----------------------	---	------------------------------	--

備考	
----	--

(令和5年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	2	種別	総合戦略	担当部署	商工観光課商工労働係
基本戦略/基本理念	戦略1 産業振興による仕事づくり・稼ぐ地域づくり			施策	数値目標
KPI(指標)	II 地元雇用及び正規雇用者数【累計】				
KPI(指標)の考え方	地元雇用の安定を図るため、雇用促進交付金等の制度活用について、前期計画と同様に年間6人を目標とした				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	90人	96人	102人	108人	114人
実績値	97人	109人	—	—	—

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗	A: 目標を達成	進捗・達成率(R4年度)	113.5%
取組の内容と達成状況	毎年、県やハローワーク等と連携し開催している地元企業によるお仕事博覧会(中学生対象)及び、地元高校生への企業説明会を開催し、地元企業への関心を深めることで将来の就職先としての認知度を上げ地元雇用対策に繋がっていることから、目標は達成している。		
取組の評価・分析・課題	企業や事業者に対し、市民雇用を条件とした雇用奨励金交付制度等を実施することで、雇用意欲の向上を図っている。		
今後の方向性(取組)	北秋田地域振興局や県労働政策課、ハローワークと連携し、お仕事博覧会、企業説明会及びお盆と年末に実施する就職相談会に参加する地元企業を増やししながら、また、産業祭で地元企業に出展を促し市民へ認知して頂きながら地元企業の魅力紹介など内容の充実を図る。また奨励金交付制度の活用について周知を図る。		

KPI(指標)/数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI(指標)の考え方等	
-----------------------	---	------------------------------	--

備考	
----	--

(令和5年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	3	種別	総合戦略	担当部署	農林課農業振興係
基本戦略/基本理念	戦略1 産業振興による仕事づくり・稼ぐ地域づくり			施策	1-1 農業・畜産業の振興
KPI(指標)	1 担い手への農地集積率【累計】				
KPI(指標)の考え方	現状が高い集積率となっていることから、農地面積の減少も加味し毎年0.5%の集積率増加を目標とした				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	82.3%	82.8%	83.3%	83.8%	84.3%
実績値	83.3%	80.5%	—	—	—

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗	B: 概ね順調に推移	進捗・達成率(R4年度)	97.2%
取組の内容と達成状況	農地中間管理事業による農地集積を進めているも、法人の解散等もあって若干数値は落ちたが依然と高い集積率を維持している。		
取組の評価・分析・課題	先を見据えた農地の利用方法について、地域での話し合いが必要となる。		
今後の方向性(取組)	今後も農地中間管理事業の活用による担い手への農地集積・集約化が進むよう、地域計画の策定の中で取り組みを行っていく。		

KPI(指標)/数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI(指標)の考え方等	
-----------------------	---	------------------------------	--

備考	
----	--



(令和5年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	4	種別	総合戦略	担当部署	農林課農業振興係
基本戦略/基本理念	戦略1 産業振興による仕事づくり・稼ぐ地域づくり			施策	1-1 農業・畜産の振興
KPI(指標)	3 主な園芸作物販売額(主要6品目)【累計】				
KPI(指標)の考え方	振興作物のうち、主要6品目での販売額を毎年30百万円増加させることを目標とした ※主要6品目:きゅうり、やまのいも、ねぎ、えだまめ、キャベツ、にんにく				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	376百万円	406百万円	436百万円	466百万円	496百万円
実績値	259百万円	212百万円	—	—	—

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗	C: 取組に努力を要する	進捗・達成率(R4年度)	52.2%
取組の内容と達成状況	青果物振興対策事業の実施やメガ団地の販売目標額達成に向けて、推進プロジェクトチームによりメガ団地総点検を実施したものの、目標達成には至らなかった。		
取組の評価・分析・課題	令和4年8月の記録的な豪雨による影響で、ほ場への冠水などにより、前年度比で販売数量及び販売額ともに数値が下回る結果となった。		
今後の方向性(取組)	今後は市単独補助事業により、農家負担の軽減を図り、販売数量・販売額の増加を図るとともに、園芸メガ団地については推進プロジェクトチームによる栽培技術診断等で経営指導にあたる。		

KPI(指標)/数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI(指標)の考え方等	
-----------------------	---	------------------------------	--

備考	
----	--

(令和5年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	5	種別	総合戦略	担当部署	農林課農業振興係
基本戦略/基本理念	戦略1 産業振興による仕事づくり・稼ぐ地域づくり			施策	1-1 農業・畜産の振興
KPI(指標)	4 比内地鶏飼養羽数【累計】				
KPI(指標)の考え方	現存する加工施設における処理能力羽数の50.0%を目標値として設定した				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	95,800羽	96,850羽	97,900羽	98,950羽	100,000羽
実績値	73,240羽	64,920羽	—	—	—

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗	C: 取組に努力を要する	進捗・達成率(R4年度)	67.0%
取組の内容と達成状況	農家の負担軽減を図るため、素雛購入に対する補助を行っているが、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、比内地鶏の出荷数の落ち込みや飼料代の高騰により、比内地鶏の導入数の減羽により、目標達成には至らなかった。		
取組の評価・分析・課題	JA全農北日本くみあい飼料(株)比内地鶏加工センターについては、2月末時点で販売額が前年比で110%、コロナ前の比較で85%と回復傾向にあるが、飼養農家が高齢化していることから、経営継承についてが課題となる。		
今後の方向性(取組)	これからも比内地鶏素雛購入支援で農家負担の軽減を行う。また、県協議会での比内地鶏ブランドの在り方を検討するためマーケティング調査を実施し、需要の拡大を目指す。		

KPI(指標)/数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI(指標)の考え方等	
-----------------------	---	------------------------------	--

備考	
----	--

(令和5年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	6	種別	総合戦略	担当部署	農林課林業振興係
基本戦略/基本理念	戦略1 産業振興による仕事づくり・稼ぐ地域づくり			施策	1-2 林業の振興
KPI(指標)	1 林業就業者数【累計】				
KPI(指標)の考え方	新卒者、転職者、退職減を含む就業者数のトータルで年間3人の増加を目標とした				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	178人	181人	184人	187人	190人
実績値	173人	176人	—	—	—

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗	B:概ね順調に推移	進捗・達成率(R4年度)	97.2%
取組の内容と達成状況	令和3年度の就業者数の落ち込みにより、目標値には到達しなかったものの、関係部局との連携した就業支援や、林業大学校入校者への支援を通じて単年での目標値である就業者が3人となった。		
取組の評価・分析・課題	関係機関等との連携による支援事業により、新規就業者は13人(新卒者6人)であるものの、退職者が10人となり総数は目標値である3人となっている。今後も定年による退職者が増えて行くことが予測される。あわせて、人口の減少により新規就業対象者の総数の減が見込まれるため、継続的な取組を行い、若年層の雇用に努めることが必要となる。		
今後の方向性(取組)	就業者対策として、支援事業の拡充を目指す(例として、労働環境改善への支援等)とともに、移住定住担当と連携し、首都圏での林学履修者や林業に関心のある人材の掘り起こし、林業大学校進学者への支援の継続のほか、木育教育の実施による山林への関心を高め雇用につなげる。		

KPI(指標)/数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI(指標)の考え方等	
-----------------------	---	------------------------------	--

備考	
----	--

(令和5年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	7	種別	総合戦略	担当部署	農林課林業振興係
基本戦略/基本理念	戦略1 産業振興による仕事づくり・稼ぐ地域づくり			施策	1-2 林業の振興
KPI(指標)	2 造林面積(新植を除く)【累計】				
KPI(指標)の考え方	年間400haの造林事業(下刈り・除伐・間伐・皆伐等)の実施を目標とした				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	1,178ha	1,578ha	1,978ha	2,378ha	2,778ha
実績値	1,082ha	1,564ha	—	—	—

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗	B: 概ね順調に推移	進捗・達成率(R4年度)	99.1%
取組の内容と達成状況	秋田県造林補助事業等を活用しながら、市においても嵩上げ補助等を行い施業について支援を実施した。概ね森林経営計画どおりに実施され、前年度以上の造林面積となり、単年度目標面積の400haは超えたものの、目標値に到達しなかった。		
取組の評価・分析・課題	嵩上げ補助実績数量が年々増加しており、造林の取り組みは増加している。今後は間伐等に加え伐期を迎えた森林の皆伐施業が増えており、事業の増に伴い、嵩上げ補助の増額対応の実施が必要となる。		
今後の方向性(取組)	R5年度より、大型製材工場における稼働が開始されるため、今まで以上の木材需要の増が見込まれることから、継続した支援を実施して行く。		

KPI(指標)/数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI(指標)の考え方等
-----------------------	---	------------------------------

備考	
----	--

(令和5年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	8	種別	総合戦略	担当部署	農林課林業振興係
基本戦略/基本理念	戦略1 産業振興による仕事づくり・稼ぐ地域づくり			施策	1-2 林業の振興
KPI(指標)	3 再造林面積(新植)				
KPI(指標)の考え方	年間伐採面積の1/3の再造林を目標とした。(再造林面積/皆伐面積)				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	33.0%	33.0%	33.0%	33.0%	33.0%
実績値	15.7%	11.6%	—	—	—

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗	C: 取組に努力を要する	進捗・達成率(R4年度)	35.2%
取組の内容と達成状況	再造林に対する国、県の補助事業に加え、市の嵩上げ補助による支援を実施したが、目標に到達しなかった。		
取組の評価・分析・課題	新植等に対する嵩上げ補助を実施しているものの、山林所有者の高齢化と後継者の流出、木材価格の低下に伴い、再造林の事業量増につながっていない。		
今後の方向性(取組)	R5年度より民有林補助金要綱を改正し、山林所有者の負担軽減を目的に、新植、下刈、枝打ち部分に係る嵩上率の向上を図っている。森林林業意見交換会において、素材生産業者への周知を図っており、今後再造林面積に注視し必要な施策の実施を見込む。		

KPI(指標)/数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI(指標)の考え方等	
-----------------------	---	------------------------------	--

備考	
----	--

(令和5年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	9	種別	総合戦略	担当部署	農林課林業振興係
基本戦略/基本理念	戦略1 産業振興による仕事づくり・稼ぐ地域づくり			施策	1-2 林業の振興
KPI(指標)	4 路網延長(林道及び林業専用道等)【累計】				
KPI(指標)の考え方	路網延長年間2.5km増を目標とした。R1(313.7km/40,052ha)→R7(328.7km/40,052ha)				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	7.96m/ha	8.02m/ha	8.08m/ha	8.14m/ha	8.21m/ha
実績値	8.18m/ha	8.32m/ha	—	—	—

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗	A: 目標を達成	進捗・達成率(R4年度)	103.7%
取組の内容と達成状況	関係機関と連携し、国、県の補助を活用した林道事業に加え、市の嵩上げ補助による森林作業道整備の支援を行い目標を達成した。		
取組の評価・分析・課題	関係機関と連携しながら、現在、市では5路線の林道整備を実施しており、それに加え、森林作業道への嵩上げ補助を実施し、順調に路網整備が図られている。課題として、林道整備の要望が増加しており、経営計画等を勘案しながら効果的な整備が必要となってくる。		
今後の方向性(取組)	関係機関と連携しながら、経営計画等を勘案し、優先順位を付しながら効果的な路網整備を実施して行く。		

KPI(指標)/数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI(指標)の考え方等	
-----------------------	---	------------------------------	--

備考	
----	--

(令和5年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	10	種別	総合戦略	担当部署	商工観光課商工労働係
基本戦略/基本理念	戦略1 産業振興による仕事づくり・稼ぐ地域づくり			施策	1-3 商業の振興
KPI(指標)	1 起業・創業者数【累計】				
KPI(指標)の考え方	起業・出店による地域の賑わいづくりや、若者世代の呼び込みによる活性化を図るため、毎年1事業者の増加を目標とした				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	6人	7人	8人	9人	10人
実績値	7人	7人	—	—	—

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗	A: 目標を達成	進捗・達成率(R4年度)	100.0%
取組の内容と達成状況	新規に創業する企業者に対し県の補助金に上乘せする形で支援している。コロナ禍の影響もあり、当該補助金を活用して新たに企業創業する申請者はいなかったが、市内の空き店舗対策として10事業者が事業を始め、地域の賑わい並びに地域経済の活性化に繋がっていることから目標は達成している。		
取組の評価・分析・課題	申請時に金融機関や商工会等の指導を受けた事業計画の提出を条件にしていることから、長期的な安定経営が図られており、地域経済の活性化に寄与している。		
今後の方向性(取組)	店舗が開業することにより地域の活性化が図られていることから、事業継続のため開店後のフォローアップを必要に応じて実施し支援していく。		

KPI(指標)/数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI(指標)の考え方等	
-----------------------	---	------------------------------	--

備考	
----	--

(令和5年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	11	種別	総合戦略	担当部署	商工観光課商工労働係
基本戦略/基本理念	戦略1 産業振興による仕事づくり・稼ぐ地域づくり			施策	1-3 商業の振興
KPI(指標)	2 新規出店者数(賑わい再生支援事業)【累計】				
KPI(指標)の考え方	空き店舗利活用支援(家賃補助等)により年間1件の増加を目標とした				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	4件	5件	6件	7件	8件
実績値	9件	19件	—	—	—

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗	A: 目標を達成	進捗・達成率(R4年度)	380.0%
取組の内容と達成状況	市街地賑わい再生支援事業は、空き店舗等を活用した新規事業者への家賃補助(1/2: 4万円上限: 2年間)を支援することで、地域賑わい再生や地域経済活性化を推進する事業として実施しており、令和4年度においては10事業者が事業を開始したことから、目標は達成している。		
取組の評価・分析・課題	近年、起業する若者が増えていることから、その需要を取り入れ支援することで、地域の賑わいと経済活性化の両立を推進する。継業バンクとの親和性を高めながら商工会と連携しきめ細かいフォローアップを実施し経営安定を促す。		
今後の方向性(取組)	商工会と連携した取り組みとして空き店舗等の調査業務を実施し、間取りやオーナーの意向まで踏み込んだデータ収集を行い、スピード感のあるマッチングに取り組む。		

KPI(指標)/数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI(指標)の考え方等
-----------------------	---	------------------------------

備考	
----	--



(令和5年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	12	種別	総合戦略	担当部署	商工観光課商工労働係
基本戦略/基本理念	戦略1 産業振興による仕事づくり・稼ぐ地域づくり			施策	1-3 商業の振興
KPI(指標)	3 魅力ある特産品推奨認定件数【累計】				
KPI(指標)の考え方	魅力ある特産品の創出に向けて、年間2件の増加を目標とした				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	98件	100件	102件	104件	106件
実績値	98件	98件	—	—	—

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗	B:概ね順調に推移	進捗・達成率(R4年度)	98.0%
取組の内容と達成状況	北秋田市の特産品の推奨認定を行うことにより、特産品の需要拡大及び品質向上を図る。昨年は募集をかけたものの応募がなかったが、そのような中でも商工会を通じた相談などの対応を行っているため創作意欲の減退ではなく開発時期のタイミングであることから、おおむね順調に推移している。		
取組の評価・分析・課題	推奨認定を受けた特産品を掲載している「北秋田市のおすすめ品」を冊子の「ふるさとセレクション」としてリニューアルしたことで、様々なイベントで配布し需要を生み出している。		
今後の方向性(取組)	推奨認定を受けた特産品のパッケージや商品の改良などを行う際に、より選んでもらえるような商品にリニューアルする支援を構築する。また、企業活性化センターの知財デザイン講座を含めた専門職員とのつながりを持つとともに県アンテナショップでのテスト販売など幅広く事業者支援を行っていく。		

KPI(指標)/数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI(指標)の考え方等	
-----------------------	---	------------------------------	--

備考	
----	--

(令和5年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	13	種別	総合戦略	担当部署	商工観光課商工労働係
基本戦略/基本理念	戦略1 産業振興による仕事づくり・稼ぐ地域づくり			施策	1-3 商業の振興
KPI(指標)	4 アンテナショップの取扱い商品数				
KPI(指標)の考え方	北秋田市のイメージPR、情報発信力のある商品づくり支援及び販路拡大への取組推進を目標とした				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	160商品	160商品	160商品	160商品	160商品
実績値	111商品	33商品	—	—	—

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗	D: 取組の改善が必要	進捗・達成率(R4年度)	20.6%
取組の内容と達成状況	ハッピーロード大山商店街振興組合と契約し、同組合が運営するアンテナショップ「とれたて村」に商品を発送し、販売してもらうことで、北秋田市内の生産者や事業者の販路拡大と知名度の向上を図ったが大山駅前開発によりアンテナショップが移転となり、売り場面積が縮小となったことに加え、年度途中の9月末で撤退したことから取扱い商品数が減少し、目標は達成できていない。		
取組の評価・分析・課題	昨年9月末でアンテナショップ事業を終了したことから早期に新たな候補地を選定し、当市の情報発信及び魅力ある商品の販路拡大につなげる必要がある。		
今後の方向性(取組)	まずは新たなアンテナショップの候補地選定にとりかかる必要がある。		

KPI(指標)/数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI(指標)の考え方等	
-----------------------	---	------------------------------	--

備考	
----	--

(令和5年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	14	種別	総合戦略	担当部署	商工観光課観光振興係
基本戦略/基本理念	戦略1 産業振興による仕事づくり・稼ぐ地域づくり			施策	1-4 観光・レクリエーションの振興
KPI(指標)	1 森吉山県立自然公園入込数(延べ人数)				
KPI(指標)の考え方	阿仁スキー場のほかに、森吉山全体と県立自然公園の魅力発信に向けて、1.5%増加を目標とした				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	62,000人	62,000人	62,000人	62,000人	62,000人
実績値	56,690人	56,583人	—	—	—

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗	B:概ね順調に推移	進捗・達成率(R4年度)	91.3%
取組の内容と達成状況	新型コロナウイルス感染症の影響による行動制限と入国制限の影響が懸念されたが、国内観光客においては他者との接触が少ないアウトドアアクティビティが好まれた。また、駐車場を舗装することにより利便性の向上を図った。		
取組の評価・分析・課題	新型コロナウイルス感染症の影響により、自然観光のニーズが高まっているため、行動制限により観光需要が抑制される中であっても目標に近づけることができた。入込の大半がゴンドラ利用者であるため、継続した誘客と入国規制解除後のインバウンドの取り込みが課題であるが、冬季からはインバウンドの受入が再開したこともあり、利用者数は前年並みとなった。また、インフラの安全運航や維持管理のほか、利用者への更なる安全対策向上が必要となる。		
今後の方向性(取組)	日本三大樹氷に加え、貴重な自然の保護に配慮しながら、様々な自然体験を提供していく持続可能なツーリズムの展開のほか、関係団体等と四季を通じた連携体制の構築を図っていく。また、DMOと連携し引き続きインバウンドの取り込みを目指すとともに、国内需要については国立・国定公園昇格を目指す活動と合わせて、(株)モンベルと連携したアウトドアアクティビティの創出と磨き上げにより滞在型観光を推進していく。		

KPI(指標)/数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI(指標)の考え方等	
-----------------------	---	------------------------------	--

備考	
----	--

(令和5年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	15	種別	総合戦略	担当部署	商工観光課観光振興係
基本戦略/基本理念	戦略1 産業振興による仕事づくり・稼ぐ地域づくり			施策	1-4 観光・レクリエーションの振興
KPI(指標)	2 歴史文化施設・祭り入込数(延べ人数)				
KPI(指標)の考え方	市ならではの歴史文化・祭り等を市内外の方の見学・体験につなげるよう、7.9%増加を目標とした				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	40,800人	40,800人	40,800人	40,800人	40,800人
実績値	30,824人	40,604人	—	—	—

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗	B:概ね順調に推移	進捗・達成率(R4年度)	99.5%
取組の内容と達成状況	新型コロナウイルスの影響もある一方で、多くのイベントが再開されると共に、市内観光施設の無料応援事業を実施したことにより各観光施設への来場者が増加した。		
取組の評価・分析・課題	新型コロナウイルス感染症前の令和元年度を超えた実績となった。各イベントの再開と、伊勢堂岱遺跡の世界遺産登録効果及び市内観光施設の無料応援事業を実施したことが要因。引き続き継続した誘客促進や話題提供が必要なほか、近年好まれる参加型や体験希望者への対応が課題。		
今後の方向性(取組)	歴史文化といった北秋田市ならではの見学・体験者の増加と満足度向上に繋げるため、積極的な誘客PRを図るとともに、ガイドやガイダンス設備の充実に努める。		

KPI(指標)/数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI(指標)の考え方等	
-----------------------	---	------------------------------	--

備考	
----	--

(令和5年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	16	種別	総合戦略	担当部署	商工観光課観光振興係
基本戦略/基本理念	戦略1 産業振興による仕事づくり・稼ぐ地域づくり			施策	1-4 観光・レクリエーションの振興
KPI(指標)	3 北秋田市宿泊施設売上推計額(推定単価×宿泊者数)				
KPI(指標)の考え方	限られた宿泊許容量の中で滞留促進とサービス向上につなげるよう、1.3%の増加を目標とした				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	465百万円	465百万円	465百万円	465百万円	465百万円
実績値	387百万円	409百万円	—	—	—

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗	B:概ね順調に推移	進捗・達成率(R4年度)	88.0%
取組の内容と達成状況	事業実施期間の宿泊者数はコロナ前の水準に戻る傾向が見られた。コロナ禍で減少した観光誘客および観光需要が減少する冬期間の誘客を促進するため、宿泊者に対し地域限定クーポンを配布することにより宿泊者数の向上を図った。		
取組の評価・分析・課題	宿泊客数については、前年比から増加傾向にあるが、コロナ前までに回復するには至っていない。		
今後の方向性(取組)	当市での宿泊許容量は決して多くないが、北秋田市ならではの景色、文化、体験、食などを合わせて提供することで滞留時間の増加と宿泊単価の向上を図っていく。また、既存のアクティビティ提供事業者との連携を高めていくほか、新たな事業者の育成にも取り組み、多様なニーズに応えられるような体制づくりにも取り組む。		

KPI(指標)/数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI(指標)の考え方等	
-----------------------	---	------------------------------	--

備考	
----	--

(令和5年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	17	種別	総合戦略	担当部署	商工観光課観光振興係
基本戦略/基本理念	戦略1 産業振興による仕事づくり・稼ぐ地域づくり			施策	1-4 観光・レクリエーションの振興
KPI(指標)	4 訪日外国人宿泊客数(延べ宿泊者数)				
KPI(指標)の考え方	広域連携によるインバウンド等の誘客と滞在型観光により、219.9%の増加を目標とした				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	3,100人	3,100人	3,100人	3,100人	3,100人
実績値	10人	359人	—	—	—

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗	C: 取組に努力を要する	進捗・達成率(R4年度)	11.6%
取組の内容と達成状況	新型コロナウイルス感染症の影響による入国制限の影響により達成は不可能であった。		
取組の評価・分析・課題	冬季において新型コロナウイルス感染症による入国制限が緩和された。これにより樹氷観賞等を目的とした阿仁スキー場への入込が伸びたことにより高津森ペンション団地への宿泊数が増加した。引き続き状況を注視し、適切な判断に努める。		
今後の方向性(取組)	積極的な誘客PRと合わせて、外国語に対応したHP等の作成を支援し、DMOとの連携を図り情報共有に努める。		

KPI(指標)/数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI(指標)の考え方等	
-----------------------	---	------------------------------	--

備考	
----	--

(令和5年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	18	種別	総合戦略	担当部署	商工観光課観光振興係
基本戦略/基本理念	戦略1 産業振興による仕事づくり・稼ぐ地域づくり			施策	1-4 観光・レクリエーションの振興
KPI(指標)	5 道の駅等売上推計額(推定単価×利用者数)				
KPI(指標)の考え方	交流人口と消費動向を推計する指標(3.5%増加:405,000人×@720)とした				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	292百万円	292百万円	292百万円	292百万円	292百万円
実績値	141百万円	247百万円	—	—	—

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗	C:取組に努力を要する	進捗・達成率(R4年度)	84.6%
取組の内容と達成状況	新型コロナウイルスの影響もある一方で、多くのイベントが再開されると共に、市内観光施設の無料応援事業を実施したことにより各観光施設への来場者が増加した結果、昨年比で増加した。また、「四季美術館」においては昨年の改修から継続し自動ドアの設置と照明更新を行い、利便性及び受入機能の向上を図った。		
取組の評価・分析・課題	新型コロナウイルス感染症前の令和元年度には届かないが、令和2年度と3年度比較では利用者数増加に比例し売上額も増となっている。冬季の集客と産直が課題となっている。		
今後の方向性(取組)	地域観光のゲートウェイとしての機能向上と、魅力ある地域産品の提供を図ることにより、交流人口の拡大を目指す。また、類似商品との差別化を進めつつ、消費単価の向上も図っていく。		

KPI(指標)/数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI(指標)の考え方等	
-----------------------	---	------------------------------	--

備考	
----	--

(令和5年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	19	種別	総合戦略	担当部署	商工観光課商工労働係
基本戦略/基本理念	戦略1 産業振興による仕事づくり・稼ぐ地域づくり			施策	1-5 工業の振興
KPI(指標)	2 資格取得支援助成金活用による資格取得者数				
KPI(指標)の考え方	求職者の就業支援及び事業所における雇用の安定を以って市内への定住を促進することを目標とした。(年1人の増加として現状を維持)				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	48人	49人	50人	51人	52人
実績値	48人	52人	—	—	—

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗	A: 目標を達成	進捗・達成率(R4年度)	106.1%
取組の内容と達成状況	ホームページや広報紙のほか、企業訪問時にも制度の周知を行い、幅広く市内の企業及び求職者への支援ができていることから目標は達成している。		
取組の評価・分析・課題	市内企業については雇用維持や事業拡大を目的に活用されており、求職者については当該制度活用により就業に結びついている。		
今後の方向性(取組)	企業業種によっては複数の資格が必要な作業(大型特殊自動車とけん引自動車等)があることから、複数の資格を申請できる制度にすることで企業の生産性向上に繋げることを目的に要綱改正を実施した。引き続き地元企業の声に耳を傾け、また、求職者や移住・定住者に対し更なる周知を図り、制度を活用した資格取得によるスキルアップが地元就業へ繋がるよう支援する。		

KPI(指標)/数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI(指標)の考え方等	
-----------------------	---	------------------------------	--

備考	
----	--



(令和5年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	20	種別	総合戦略	担当部署	商工観光課商工労働係
基本戦略/基本理念	戦略1 産業振興による仕事づくり・稼ぐ地域づくり			施策	1-5 工業の振興
KPI(指標)	3 増設事業所数【平成28年度以降の累計】				
KPI(指標)の考え方	市内工場等への設備投資について、前期では年1件としたが2年間で1件を目標とした				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	5件	5件	6件	6件	7件
実績値	7件	8件	—	—	—

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗	A: 目標を達成	進捗・達成率(R4年度)	160.0%
取組の内容と達成状況	毎年、定期的な企業訪問による情報収集や首都圏企業懇談会など意見交換の場を作り、増設と設備投資を促すため各助成事業等の紹介を行い産業の活性化を図っている。令和4年度はコロナ禍の影響から未だ抜け切れていない状況であったが、限度額上限の投資が行われるなど、目標は達成している。		
取組の評価・分析・課題	コロナ禍で受注量の減少により将来的投資を控える企業が多くあったが、徐々に回復の兆しが見られたことに加えコロナ禍を契機として新たな需要が見込まれる企業もあり、将来性に基づく事業拡大に合わせ、市産業振興促進条例及び県助成事業等の利用をPRし積極的に活用していただいた。		
今後の方向性(取組)	引き続き、情報収集などきめ細かいフォローアップと懇談会を通じて各種助成事業等制度の周知を図ることで事業拡大に繋がるよう支援する。		

KPI(指標)/数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI(指標)の考え方等	
-----------------------	---	------------------------------	--

備考	
----	--

(令和5年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	21	種別	総合戦略	担当部署	商工観光課商工労働係
基本戦略/基本理念	戦略1 産業振興による仕事づくり・稼ぐ地域づくり			施策	1-5 工業の振興
KPI(指標)	4 新規進出事業所数【累計】				
KPI(指標)の考え方	前期計画における実績が3事業所であったことを踏まえ、同程度の増加を目標とした				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	4事業所	4事業所	5事業所	5事業所	6事業所
実績値	4事業所	5事業所	—	—	—

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗	A: 目標を達成	進捗・達成率(R4年度)	125.0%
取組の内容と達成状況	コロナ禍やBCPの観点から地方進出を検討する企業が増えつつあるため、秋田県企業誘致推進協議会主催のリッチセミナーや東海、関西地区企業懇談会などへ誘致折衝している企業をお迎えするなど着実にゲスト数は増えている。また、企業誘致の広告掲載も継続して実施することで問合せ件数が増えている。		
取組の評価・分析・課題	誘致折衝を積み重ねてきた企業の進出角度の高まりや実証事業などの誘致によりサテライトオフィスの開設意向など着実に成果が見られる一方で、市内貸しオフィス等の老朽度合いなど、迎え入れる側としての下地ができていない。		
今後の方向性(取組)	今後も大量の人材確保が必要とならない地域事情に合った企業(IT関連、デジタルコンテンツ、アウトソーシングなど)の誘致に取り組むことに加えて、地域課題の解決や実証事業を通じた関係構築が可能となるスタートアップ企業やベンチャー企業のサテライトオフィスの誘致を進めていく。		

KPI(指標)/数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI(指標)の考え方等	
-----------------------	---	------------------------------	--

備考	
----	--

(令和5年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	22	種別	総合戦略	担当部署	総合政策課移住定住支援室
基本戦略/基本理念	戦略2 新たな人の流れをつくる移住・定住の促進			施策	数値目標
KPI(指標)	I 行政が窓口となった年間移住者数【平成27年度以降の累計】				
KPI(指標)の考え方	年間40世帯50人を目標値として設定した				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	203世帯260人	243世帯310人	283世帯360人	323世帯410人	363世帯460人
実績値	212世帯296人	261世帯365人	—	—	—

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗	A: 目標を達成	進捗・達成率(R4年度)	117.7%
取組の内容と達成状況	きたあきた暮らしの魅力と移住施策のPR及び移住希望者との接点づくりのため、農林業や観光を入口とした移住体験(オンラインツアー含む)、移住相談(オンライン相談含む)のワンストップ対応を実施した。また、移住コーディネーターによる移住体験メニューの創生や移住者支援ネットワークを活用したお悩み相談など定住施策のほか、就業の相談と支援も実施しており、移住希望者が安心して移住できる体制構築により目標を達成することができた。		
取組の評価・分析・課題	これまで継続して実施している移住相談や移住体験等の移住施策について、コロナ禍においてもオンライン化を推進したことにより、移住に対するモチベーションを保つことができた。過去の相談者の再相談や新規移住希望者らを移住に繋げることで、目標値を上回った。		
今後の方向性(取組)	現施策を継続しながらオンラインも効果的に活用し、将来的な移住につながる関係人口の創出にも取り組み、さらなる移住者数の増加を図る。		

KPI(指標)/数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI(指標)の考え方等
-----------------------	---	------------------------------

備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>・H27年度～R4年度移住者数地域別内訳(鷹巣166世帯231人、合川34世帯53人、森吉31世帯41人、阿仁30世帯40人)</li> <li>・行政の窓口を通じた移住者が3年以内に離れた人数 H27年度～R4年度までで6人(H30:阿仁1、R2:鷹巣1、R3:鷹巣1、阿仁1、R4:鷹巣2)</li> </ul>
----	---

(令和5年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	23	種別	総合戦略	担当部署	総合政策課移住定住支援室
基本戦略/基本理念	戦略2 新たな人の流れをつくる移住・定住の促進			施策	2-1 移住定住の促進
KPI(指標)	2 移住定住相談者数【累計】				
KPI(指標)の考え方	年間150人を目標値として設定した				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	657人	807人	957人	1,107人	1,257人
実績値	584人	710人	—	—	—

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗	B: 概ね順調に推移	進捗・達成率(R4年度)	88.0%
取組の内容と達成状況	ホームページやSNS、情報誌などの効果的な媒体を活用した移住施策PRや、移住イベント等でのきたあきた暮らしの情報発信、移住コーディネーターによる移住者目線での相談対応、オンラインを活用した相談体制の構築などにより、概ね目標に近づくことができた。		
取組の評価・分析・課題	首都圏から地方へ移住する機運が高まっている中、移住コーディネーターを配置し、隊員個々の活動や暮らしを通して感じている市の魅力発信や、LINE・Zoomによるオンラインでの相談体制を構築したことにより、目標値に近づくことができた。市内及び首都圏での移住相談会・イベントの再開により対面相談の機会が持てた。		
今後の方向性(取組)	各種広告媒体の特性を生かし、ターゲット層に合わせたPR方法を検討して、本市の魅力や各種移住支援制度を効果的に周知する。また、若者の定住やリターンによる移住を促進する発信を行い、さらなる相談者の増加を図る。		

KPI(指標)/数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI(指標)の考え方等	
-----------------------	---	------------------------------	--

備考	
----	--

(令和5年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	24	種別	総合戦略	担当部署	総合政策課移住定住支援室
基本戦略/基本理念	戦略2 新たな人の流れをつくる移住・定住の促進			施策	2-1 移住定住の促進
KPI(指標)	3 体験移住参加者数【累計】(ツアー参加者、オンラインツアー参加者含む)				
KPI(指標)の考え方	年間60人を目標値として設定した				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	286人	346人	406人	466人	526人
実績値	367人	440人	—	—	—

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗	A: 目標を達成	進捗・達成率(R4年度)	127.2%
取組の内容と達成状況	移住体験メニューの拡充、移住体験住宅の整備、移住コーディネーターによる体験期間中のきめ細やかなアテンド、移住体験イベントの実施などにより、目標を達成することができた。		
取組の評価・分析・課題	移住定住促進住宅へ高速Wi-Fiを導入したほか、オーダーメイド式のスケジュール作成により無理のない移住体験を実施したほか、北秋田市の認知度を高め、身近に感じてもらえるようマタギをテーマにしたイベント等を実施したことにより、目標値を上回った。		
今後の方向性(取組)	移住体験メニューの拡充を図るとともに、限られた期間に効果的にきたあきた暮らしを体験できるよう、移住定住促進住宅を整備し、移住体験後のフォローアップの充実を図る。またイベント等の実施により将来移住につながる可能性のある潜在層の掘り起こしを行う。		

KPI(指標)/数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI(指標)の考え方等	
-----------------------	---	------------------------------	--

備考	
----	--

(令和5年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	25	種別	総合戦略	担当部署	総合政策課移住定住支援室
基本戦略/基本理念	戦略2 新たな人の流れをつくる移住・定住の促進			施策	2-1 移住定住の促進
KPI(指標)	4 移住定住情報提供者登録者数【累計】				
KPI(指標)の考え方	年間50人を目標値として設定した				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	223人	273人	323人	373人	423人
実績値	255人	339人	—	—	—

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗	A: 目標を達成	進捗・達成率(R4年度)	124.2%
取組の内容と達成状況	ホームページやSNS、動画配信サービスなどの効果的な媒体を活用した移住施策のPR、首都圏での移住フェア出展及び移住コーディネーターの配置によるきたあきた暮らしの多様な情報を発信したことにより、目標値を上回った。		
取組の評価・分析・課題	現施策を継続しながら、各種移住支援制度の利用者からいただいたコメントをLINEやYouTube、移住ガイドブックに投稿、掲載するなど、効果的な魅力発信により、さらなる移住定住情報提供登録者数の増加を図る。また、独自制作動画YouTube「移住のススメ」は25万回再生を達成する等、当市への興味関心を促した。		
今後の方向性(取組)	各種移住フェアや広告等の効果的なPRを継続しながら、秋田県やAターンサポートセンターとの連携を密にし、さらなる移住定住情報登録者数の増加を図る。		

KPI(指標)/数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI(指標)の考え方等	
-----------------------	---	------------------------------	--

備考	
----	--

(令和5年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	26	種別	総合戦略	担当部署	総合政策課政策係
基本戦略/基本理念	戦略2 新たな人の流れをつくる移住・定住の促進			施策	2-2 地域間交流の推進
KPI(指標)	1 友好交流都市との交流事業数【累計】				
KPI(指標)の考え方	友好交流都市との取組を令和7年度までに10事業取り組むことを目標とした				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	11事業	13事業	15事業	17事業	19事業
実績値	12事業	13事業	—	—	—

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗	A: 目標を達成	進捗・達成率(R4年度)	100.0%
取組の内容と達成状況	単年度で終了する交流事業ではなく、継続して行える交流事業をR7年度までに10事業取り組むことを目標として両市の交流窓口部署を中心に取組を推進している。これまでの継続事業に加え、令和4年度は新たに国立市から北秋田市の産業祭への出店事業を実施しており、令和5年度以降も継続する予定となっている。		
取組の評価・分析・課題	令和4年度においても引き続きコロナの影響はあったが、3年ぶりとなる国立市天下市への出店や国立市から北秋田市の産業祭へ初めて出店するなど、コロナによる行動制限の緩和により徐々に交流も活発になりつつある。また、これまでの行政主導の交流から徐々に民間事業者・団体が自ら交流を模索するなどの動きが出始めている。		
今後の方向性(取組)	徐々にではあるが、行政を通さず独自に民間事業者・団体同士で連絡を取り合って交流を図るなどの動きが出始めている。この流れをより一層進めて行くとともに、行政においても新たな交流事業を模索し、様々な分野への波及を目指す。		

KPI(指標)/数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI(指標)の考え方等	
-----------------------	---	------------------------------	--

備考	
----	--

(令和5年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	27	種別	総合戦略	担当部署	こども課こども応援係
基本戦略/基本理念	戦略3 結婚・出産・子育てをかなえる切れ目のない支援の推進			施策	数値目標
KPI(指標)	I 出生数【単年】				
KPI(指標)の考え方	現状維持を目標とした				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	93人	93人	93人	93人	93人
実績値	89人	84人	—	—	—

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗	C: 取組に努力を要する	進捗・達成率(R4年度)	90.3%
取組の内容と達成状況	若い年齢からの啓発や結婚に向けた支援、不妊治療に対する助成のほか、安心して出産・子育てできるよう仕事と家庭の両立のための支援や子育てに係る負担軽減や不安解消に向けた支援を行った。		
取組の評価・分析・課題	令和2年3月策定の第2期「北秋田市子ども・子育て支援事業計画」等により、子ども・子育て支援事業に取り組んできた。目標には達していないものの、こども課にかかる施策については、ある程度の成果がみられることから出生数減少の根本的な要因を分析し効果的な取り組みの検討が必要である。		
今後の方向性(取組)	人口減少問題や施策の分析に努めながら部署間の協力体制を強化するとともに、就労機会の確保や仕事と子育ての両立支援など、安心して産み・育てる環境の充実について、官民の関係機関が連携した包括的な取り組みを図る。		

KPI(指標)/数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI(指標)の考え方等	
-----------------------	---	------------------------------	--

備考	
----	--



(令和5年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	28	種別	総合戦略	担当部署	総合政策課移住定住支援室
基本戦略/基本理念	戦略3 結婚・出産・子育てをかなえる切れ目のない支援の推進			施策	数値目標
KPI(指標)	II 婚姻数【単年】				
KPI(指標)の考え方	現状維持を目標とした				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	89組	89組	89組	89組	89組
実績値	57組	55組	—	—	—

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗	C: 取組に努力を要する	進捗・達成率(R4年度)	61.8%
取組の内容と達成状況	独身男女が気軽に参加できる内容の婚活イベントの開催を補助し、計3回の出会いの機会を提供した。あきた結婚支援センターへの入会登録料全額助成制度、結婚生活応援金事業及びハッピーウェディング住まい応援事業などにより、出会いの機会の充実や若者夫婦の定住を図ることができたが、目標は達成できなかった。今後、各支援策が徐々に浸透していくことで多くの若者が出会いに目を向ける機会にしていきたい。		
取組の評価・分析・課題	婚姻数は伸び悩んだものの、婚活イベントの実施に加え、あきた結婚支援センターへの入会登録料全額助成、結婚生活応援事業などを継続して実施したほか、若い新婚夫婦への住まいに関するハッピーウェディング住まい応援事業を創設し、新婚時の経済的負担を軽減し、結婚を後押しする制度を整えた。		
今後の方向性(取組)	これまでの施策を継続して実施するほか、他市町村との合同婚活イベントの企画や個別お見合い方式での出会いの場づくりなど、相談者の個性にあわせた結婚支援を図る。地域おこし協力隊結婚コーディネーターの活動として、結婚相談所を開設し、民間の結婚相談所ネットワークとも連携を図りながら結婚支援を行っていく。		

KPI(指標)/数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI(指標)の考え方等	
-----------------------	---	------------------------------	--

備考	
----	--

(令和5年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	29	種別	総合戦略	担当部署	医療健康課健康推進係
基本戦略/基本理念	戦略3 結婚・出産・子育てをかなえる切れ目のない支援の推進			施策	3-1 安心して結婚・出産・子育てできる環境の充実
KPI(指標)	2 出生数に占める低出生体重児の割合				
KPI(指標)の考え方	低出生体重児(2,500g未満)、出生数に対する率について、県と市で年により変動があるため、5年間の平均値を目標値とした				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	7.0%	7.0%	7.0%	7.0%	7.0%
実績値	9.0%	6.0%	—	—	—

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗	A: 目標を達成	進捗・達成率(R4年度)	116.7%
取組の内容と達成状況	妊娠届出を妊娠12週までに申請するよう周知し、妊娠早期から妊婦健診を通して健康管理に努めるよう指導した。また、母体側に高血圧症等のリスクがある場合は早産の危険性等説明し、生活習慣の見直し等の指導を個別に行った。妊婦健診、妊婦歯科健診を通して健康管理に努めるよう指導した。		
取組の評価・分析・課題	2,000~2,500g未満が4件で、全員が順調に経過している。500~1,000g未満の超出生体重児が1件おり、合併症があり治療中である。低出生体重児で生まれる原因は様々であるが、妊婦健康診査の費用助成を通して妊婦健診を受ける必要性を伝え、マタニティ教室等で妊娠中の健康管理、保健指導に努める必要がある。		
今後の方向性(取組)	継続して妊娠中の健康管理保健指導を進める。		

KPI(指標)/数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI(指標)の考え方等	
-----------------------	---	------------------------------	--

備考	
----	--

(令和5年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	30	種別	総合戦略	担当部署	医療健康課健康推進係
基本戦略/基本理念	戦略3 結婚・出産・子育てをかなえる切れ目のない支援の推進			施策	3-1 安心して結婚・出産・子育てできる環境の充実
KPI(指標)	3 子育て中の母の気持ちや体調が良い割合				
KPI(指標)の考え方	乳幼児健診アンケートにおいて、現状よりもおよそ10.0%の向上を目標とした				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	82.0%	82.0%	82.0%	82.0%	82.0%
実績値	77.1%	76.2%	—	—	—

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗	B:概ね順調に推移	進捗・達成率(R4年度)	92.9%
取組の内容と達成状況	母子健康手帳交付時や、マタニティ教室、妊娠34週以降の電話支援等、妊娠中からの相談支援の充実を図った。妊娠期から手厚く支援が必要な方や、病院から情報提供があった場合には早期に赤ちゃん訪問し、乳幼児健診・相談でも継続した相談支援に努めた。		
取組の評価・分析・課題	各健診等において、7割近くが体調が「よい」と回答しているが、合計で見ると昨年より0.9%減少した。体調が「よくない」と答えた割合は1.6%で、昨年より減っている。「よくない」と答える方は母親自身の身体的・精神的疾患の影響や育児疲れを理由としており、その多くの方が妊娠期から不安を訴えている。妊娠中からの相談体制を充実させ、マタニティ教室等で父親の育児参加についても呼びかけていく必要がある。		
今後の方向性(取組)	子育て世代包括支援センター「ココロン」を拠点に、妊娠中からの切れ目のない支援を行い育児不安の軽減、母親の支援に努める。		

KPI(指標)/数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI(指標)の考え方等	
-----------------------	---	------------------------------	--

備考	
----	--

(令和5年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	31	種別	総合戦略	担当部署	こども課こども応援係
基本戦略/基本理念	戦略3 結婚・出産・子育てをかなえる切れ目のない支援の推進			施策	3-1 安心して結婚・出産・子育てできる環境の充実
KPI(指標)	4 子育てに関して気軽に相談できる人がいる保護者の割合				
KPI(指標)の考え方	子育てに関して気軽に相談できる人を増やすことを目標とした。(※市民意識調査)				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	65.0%	65.0%	65.0%	65.0%	65.0%
実績値	64.2%	67.7%	—	—	—

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗	A: 目標を達成	進捗・達成率(R4年度)	104.2%
取組の内容と達成状況	地域子育て支援センターや乳幼児健診、子育て世代包括支援センターでの子育て相談業務の充実を図った。親支援講座の実施により、子育てに係る心身の負担軽減と不安解消に努めた。		
取組の評価・分析・課題	「相談できる人がいる」と回答した人が過去5年で最高値となっており、単年度目標は達成できた、概ね順調に取組の成果が表れており、さらなる向上を目指す。		
今後の方向性(取組)	目標達成の維持とより一層の向上のため、関係機関との連携を強化し、更なる相談体制の向上に取り組む。		

KPI(指標)/数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI(指標)の考え方等	
-----------------------	---	------------------------------	--

備考	
----	--

(令和5年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	32	種別	総合戦略	担当部署	こども課こども応援係
基本戦略/基本理念	戦略3 結婚・出産・子育てをかなえる切れ目のない支援の推進			施策	3-1 安心して結婚・出産・子育てできる環境の充実
KPI(指標)	5 子育てしやすいまちだと答えた市民の割合				
KPI(指標)の考え方	子育てしやすい環境を整備することで、子育てしやすいまちだと感じる人を増やすことを目標とした。(※市民意識調査)				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	75.0%	75.0%	75.0%	75.0%	75.0%
実績値	66.7%	65.6%	—	—	—

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗	B: 概ね順調に推移	進捗・達成率(R4年度)	87.5%
取組の内容と達成状況	待機児童や子どもの貧困、児童虐待などの社会環境の変化を踏まえ、地域の実状に対応しながら子ども・子育てに関する各種施策や事業を展開した。		
取組の評価・分析・課題	令和2年3月策定の第2期「北秋田市子ども・子育て支援事業計画」等により子ども・子育て支援事業に取り組んできた。単年度では目標達成できなかったものの、概ね順調に取組の成果が表れている。		
今後の方向性(取組)	前年度より実績値が若干下がったものの全体的には上昇傾向にあり、これまでの取り組みが成果として表れている。今後も実状に対応した施策の展開に努める。		

KPI(指標)/数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI(指標)の考え方等	
-----------------------	---	------------------------------	--

備考	
----	--

(令和5年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	33	種別	総合戦略	担当部署	生活課地域推進係
基本戦略/基本理念	戦略3 結婚・出産・子育てをかなえる切れ目のない支援の推進			施策	3-2 男女共同参画社会の実現
KPI(指標)	1 市の審議会、委員会等の女性参画率				
KPI(指標)の考え方	将来的に女性委員が各定数の半数となることを目標に、期間中に3.0%の増加を目標とした				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	27.0%	27.5%	28.0%	28.5%	28.7%
実績値	27.2%	32.1%	—	—	—

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗	A: 目標を達成	進捗・達成率(R4年度)	116.7%
取組の内容と達成状況	庁舎内の体制確立を図るため、北秋田市男女共同参画推進協議会を設置。		
取組の評価・分析・課題	年によって多少の増減があるものの、長期的には増加で推移している状況にある。社会変化等も考慮しながら啓発の推進を図る必要がある。		
今後の方向性(取組)	各種委員会等における改選期に女性登用を図るよう担当部署に働きかけるなど男女共同参画計画を推進する。		

KPI(指標)/数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI(指標)の考え方等	
-----------------------	---	------------------------------	--

備考	
----	--

(令和5年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	34	種別	総合戦略	担当部署	総務課総務係
基本戦略/基本理念	戦略3 結婚・出産・子育てをかなえる切れ目のない支援の推進			施策	3-2 男女共同参画社会の実現
KPI(指標)	2 市役所における女性管理職員の割合(各年度4月1日現在)				
KPI(指標)の考え方	第3次行財政改革大綱実行プラン及び現在の職員構成状況を鑑み、主幹級以上の職員を管理職として目標値を定めた				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	30.0%	30.0%	30.0%	30.0%	30.0%
実績値	21.3%	19.4%	—	—	—

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗	B:概ね順調に推移	進捗・達成率(R4年度)	64.7%
取組の内容と達成状況	係長相当職が約30%、部長課長相当職への登用が10%程度である。係長相当職は目標に達成している。		
取組の評価・分析・課題	部長課長相当職への登用率が低く感じるが、地道に係長級以上の目標を達成し続けることが部長課長相当職への登用の土台にもなり、重要になる。そのため環境づくりや職員の意識改革、人材育成が課題となる。		
今後の方向性(取組)	現在も女性職員を対象としたスキルアップ研修を実施するなど取り組みを行っているが、子育て、介護の時期と重なることが多いことから、ライフイベントと職務職責を考慮し、より働きやすい職場環境づくりと人材育成の取り組みが必要。		

KPI(指標)/数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI(指標)の考え方等	
-----------------------	---	------------------------------	--

備考	
----	--

(令和5年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	35	種別	総合戦略	担当部署	生活課地域推進係
基本戦略/基本理念	戦略3 結婚・出産・子育てをかなえる切れ目のない支援の推進			施策	3-2 男女共同参画社会の実現
KPI(指標)	3 男性の家事・介護・看護・育児にかかる時間数の割合				
KPI(指標)の考え方	男性の育児等にかかる時間数の増加を目標とした。当面は総務省社会生活基本調査の秋田県実績より算定するが、市民意識調査の調査項目として追加し、市の数値を把握することとする				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	30.0%	30.0%	30.0%	30.0%	30.0%
実績値	24.6%	21.9%	—	—	—

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗	C: 取組に努力を要する	進捗・達成率(R4年度)	73.0%
取組の内容と達成状況	男女共同参画社会づくり講座の開催や、広報等による意識啓発を行っているが、令和3年度における市民意識調査の実績値は24.72%であることから、後退が見受けられる。		
取組の評価・分析・課題	男女共同参画社会づくり講座参加者は、概ね好評価であるが、新型コロナウイルス感染症の流行時期でもあることから、平常時の数値とは若干乖離があるものと思われる。		
今後の方向性(取組)	男女共同参画社会づくり講座の開催、広報等による啓発を継続して行うこととするが、講座については参加者が固定化気味であると思われるので開催方法などを検討する必要がある。		

KPI(指標)/数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI(指標)の考え方等	
-----------------------	---	------------------------------	--

備考	
----	--



(令和5年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	36	種別	総合戦略	担当部署	総務課総務係
基本戦略/基本理念	戦略3 結婚・出産・子育てをかなえる切れ目のない支援の推進			施策	3-2 男女共同参画社会の実現
KPI(指標)	4 市役所における男性職員の育児等に伴う休暇の取得割合(取得職員/対象職員)				
KPI(指標)の考え方	男性職員の育児に伴う休暇制度の周知を図り、対象となる男性職員が育児に伴う休暇を取得しやすい職場環境を目指すこととして目標値を定めた				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
実績値	50.0%	50.0%	—	—	—

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗	B:概ね順調に推移	進捗・達成率(R4年度)	50.0%
取組の内容と達成状況	行政一般職対象職員については、概ね100%達成しているが、消防職等、シフト勤務の職員については、上司、同僚の理解や協力もあり可能な限り取得している。		
取組の評価・分析・課題	行政一般職対象職員については、上司、同僚の理解も進み、制度が浸透してきている。消防職等、シフト勤務の職員についても制度は認知されてきているが、活用するための体制等が整っていないのが現状であり課題である。		
今後の方向性(取組)	ある程度の周知はできていると思うが、今後は対象者やその上司に対し、個別に活用を促すなどの取り組みにより、更なる増加を目指す。		

KPI(指標)/数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI(指標)の考え方等	
-----------------------	---	------------------------------	--

備考	
----	--

(令和5年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	37	種別	総合戦略	担当部署	総務課総務係
基本戦略/基本理念	戦略3 結婚・出産・子育てをかなえる切れ目のない支援の推進			施策	3-2 男女共同参画社会の実現
KPI(指標)	5 市役所における男性職員の育児休業の取得割合(取得職員/対象職員)				
KPI(指標)の考え方	令和元年以前、育児休業を取得する職員がほぼいなかったため、期間中に対象となる職員の半数が育児休業を取得しやすい職場環境の整備を図ることとして目標値を定めた				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	50.0%	50.0%	50.0%	50.0%	50.0%
実績値	21.4%	50.0%	—	—	—

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗	A: 目標を達成	進捗・達成率(R4年度)	100.0%
取組の内容と達成状況	年々、男性職員の育児休業の取得率は伸びてきている。育児休業を取得すると共済から給料の約6割の育児休業手当金が支給されるが、無給となり手取りが少なくなるため、大きく勧奨することはしていない。		
取組の評価・分析・課題	目標は達成することができたが、取得期間が概ね1か月程度とある程度長期になっていることから、上司や同僚の更なる理解も必要である。また、消防職等、シフト勤務の職員については、人的余裕がないことから取得が困難な状況である。		
今後の方向性(取組)	対象者やその上司への個別面接等により取得を促すなど、もう一步踏み込んだ取り組みを検討する。消防職等、シフト勤務の職員については、職場環境の実態把握が必要である。		

KPI(指標)/数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI(指標)の考え方等
-----------------------	---	------------------------------

備考	【参考(労働条件等実態調査)】育児休業取得率(秋田県内民間事業所)令和4年度(男性17.9%、女性95.6%)、令和3年度(男性14.8%、女性98.2%)、令和2年度(男性10.7%、女性96.5%)
----	---

(令和5年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	38	種別	総合戦略	担当部署	生活課地域推進係
基本戦略/基本理念	戦略4 住み続けたい、安心を築く地域社会の形成			施策	数値目標
KPI(指標)	I 地域が住みやすいという市民の割合【単年】				
KPI(指標)の考え方	市民意識調査において回答割合の高かった鷹巣地区の水準を全市の目標とした				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	78.5%	78.5%	78.5%	78.5%	78.5%
実績値	71.4%	67.9%	—	—	—

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗	B:概ね順調に推移	進捗・達成率(R4年度)	86.5%
取組の内容と達成状況	自治会館整備事業、防犯街灯設置費、環境整備事業、防犯街灯電気料、コミュニティ助成事業など各種支援を行い、自治会活動の活性化を図り、指標数値に改善がみられている。		
取組の評価・分析・課題	自治会運営に支援を行っているが、少子高齢化や自治会未加入者の増加により、自治会運営が困難になりつつある。		
今後の方向性(取組)	複数集落による協働など自治会活動の強化を図る。		

KPI(指標)/数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI(指標)の考え方等	
-----------------------	---	------------------------------	--

備考	
----	--

(令和5年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	39	種別	総合戦略	担当部署	生活課地域推進係
基本戦略/基本理念	戦略4 住み続けたい、安心を築く地域社会の形成			施策	4-1 地域コミュニティの推進・地域自治の体制確立
KPI(指標)	2 活発に活動が行われている自治会(町内会)の割合				
KPI(指標)の考え方	市民意識調査において回答割合の高かった合川地区の水準を全市の目標とした				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	74.5%	74.5%	74.5%	74.5%	74.5%
実績値	59.6%	55.8%	—	—	—

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗	B:概ね順調に推移	進捗・達成率(R4年度)	74.9%
取組の内容と達成状況	自治会館整備事業、防犯街灯設置費、環境整備事業、防犯街灯電気料、コミュニティ助成事業など各種支援を行い、自治会活動の活性化を図っているが、新型コロナウイルス感染症の流行時期でもあり、自治会におけるイベント等が減少している。		
取組の評価・分析・課題	自治会運営に支援を行っているが、少子高齢化や自治会未加入者の増加により、自治会運営が困難になりつつある。		
今後の方向性(取組)	複数集落による協働など自治会活動の強化を図る。新型コロナウイルス感染症による指標数値の後退は、今後改善するとみられる。		

KPI(指標)/数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI(指標)の考え方等
-----------------------	---	------------------------------

備考	
----	--

(令和5年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	40	種別	総合戦略	担当部署	生活課地域推進係
基本戦略/基本理念	戦略4 住み続けたい、安心を築く地域社会の形成			施策	4-1 地域コミュニティの推進・地域自治の体制確立
KPI(指標)	3 地域活動に何か参加している市民の割合				
KPI(指標)の考え方	市民意識調査において回答割合の高かった森吉地区の水準を全市の目標とした				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	75.0%	75.0%	75.0%	75.0%	75.0%
実績値	63.7%	61.7%	—	—	—

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗	B:概ね順調に推移	進捗・達成率(R4年度)	82.3%
取組の内容と達成状況	自治会館整備事業、防犯街灯設置費、環境整備事業、防犯街灯電気料、コミュニティ助成事業など各種支援を行い、自治会活動の活性化を図っているが、新型コロナウイルス感染症の流行時期でもあり、自治会におけるイベント等が減少している。		
取組の評価・分析・課題	自治会運営に支援を行っているが、少子高齢化や自治会未加入者の増加により、自治会運営が困難になりつつある。		
今後の方向性(取組)	複数集落による協働など自治会活動の強化を図る。新型コロナウイルス感染症による指標数値の後退は、今後改善するとみられる。		

KPI(指標)/数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI(指標)の考え方等
-----------------------	---	------------------------------

備考	
----	--

(令和5年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	41	種別	総合戦略	担当部署	学校教育課義務教育係
基本戦略/基本理念	戦略4 住み続けたい、安心を築く地域社会の形成			施策	4-2 学校教育の充実
KPI(指標)	1 県学習状況調査の質問肢「地域のためになる活動に進んで取り組みたいと思う」で「当てはまる」と答えた児童生徒の割合				
KPI(指標)の考え方	ふるさと・キャリア教育の推進により、すべての学年において県平均を上回ることを目標とした				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	県平均+0.1%	県平均+0.1%	県平均+0.2%	県平均+0.2%	県平均+0.3%
実績値	県平均-3.0% 北秋田市 49.9%	県平均-1.7% 北秋田市 47.8%	—	—	—

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗	B: 概ね順調に推移	進捗・達成率(R4年度)	96.4%
取組の内容と達成状況	「当てはまる」と回答した割合は、県平均全体の49.5%に対し市平均全体が47.8%と下まわり、学年別の状況については小4、中1の割合は県平均を上回ったものの、小5、小6、中2の割合が県平均を下まわった。		
取組の評価・分析・課題	市全体平均の「当てはまる」と「やや当てはまる」を含めた割合は88.1%であり、県全体平均88.9%に比べ0.8%低くなったが、小4、中1では90%以上となり、県平均も上回っている。		
今後の方向性(取組)	「当てはまる」と回答した割合の市全体平均が、R3年度に比べ2.1%低くなったが、地域行事や市によるクリーンアップ活動への参加等をより一層呼びかけるなど、地域に根ざしたふるさと・キャリア教育の充実を図り、意識の醸成に繋げていく。		

KPI(指標)/数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI(指標)の考え方等	
-----------------------	---	------------------------------	--

備考	
----	--

(令和5年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	42	種別	総合戦略	担当部署	学校教育課義務教育係
基本戦略/基本理念	戦略4 住み続けたい、安心を築く地域社会の形成			施策	4-2 学校教育の充実
KPI(指標)	2 県学習状況調査の質問肢「学校が楽しい」で「当てはまる」と答えた児童生徒の割合				
KPI(指標)の考え方	調査では、「当てはまる」を選んだ児童生徒が県平均より小で4.2%、中で7.7%少ないため、県平均を上回ることを目標とした				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	県平均+0.1%	県平均+0.1%	県平均+0.2%	県平均+0.2%	県平均+0.3%
実績値	県平均-7.5% 北秋田市 55.3%	県平均-10.3% 北秋田市 50.9%	—	—	—

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗	C: 取組に努力を要する	進捗・達成率 (R4年度)	83.0%
取組の内容と達成状況	「当てはまる」と回答した割合は、県平均全体の61.2%に対し市平均全体で50.9%と下まわり、学年別の状況についても、全ての学年で県平均を下まわった。		
取組の評価・分析・課題	市全体平均の「当てはまる」と「やや当てはまる」を含めた割合は88.9%であり、県全体平均91.7%に比べ2.8%低くなったが、小5、中1では90%以上となり、中1は県平均を上回っている。		
今後の方向性(取組)	児童生徒が日々の授業や行事等において、学校に来るのが楽しいと感じ取れるような魅力的な教育に取り組むとともに、学級や学校をどの児童生徒にも安全で安心できる場所にしていく居場所づくりのため、児童生徒理解の深化を図り、一人一人に寄り添った学校づくりを進めていく。		

KPI(指標)/数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI(指標)の考え方等	
-----------------------	---	------------------------------	--

備考	
----	--

(令和5年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	43	種別	総合戦略	担当部署	学校教育課義務教育係
基本戦略/基本理念	戦略4 住み続けたい、安心を築く地域社会の形成			施策	4-2 学校教育の充実
KPI(指標)	3 県学習状況調査における正答率				
KPI(指標)の考え方	秋田県が全国学力・学習状況調査でトップレベルを継続している状況であり、学年によって正答率も異なるため、県平均を上回ることを目標とした				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	県平均+0.1%	県平均+0.1%	県平均+0.2%	県平均+0.2%	県平均+0.3%
実績値	県平均±0.0% 北秋田市 67.9%	県平均-1.1% 北秋田市 66.4%	—	—	—

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗	B: 概ね順調に推移	進捗・達成率(R4年度)	98.2%
取組の内容と達成状況	県学習状況調査の正答率は、県平均全体の67.5%に対し、市平均全体が66.4%と下まわり、学年別の状況については小4は県平均を上回り、小6は県平均と同じだったものの、それ以外の学年では県平均を下まわった。		
取組の評価・分析・課題	学年ごとの正答率は、教科により上下があるが、小4は県平均に比べ1.1%上回り、小6については県平均75.2%と同じであったが、中1では全教科で県平均を下回った。		
今後の方向性(取組)	県学習状況調査の分析を基に、学校訪問時の指導内容を工夫していくと共に、教育センター事業を通して教職員の指導力の向上と授業改善に向けた取り組みを充実させていく。		

KPI(指標)/数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI(指標)の考え方等	
-----------------------	---	------------------------------	--

備考	
----	--



(令和5年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	44	種別	総合戦略	担当部署	学校教育課義務教育係
基本戦略/基本理念	戦略4 住み続けたい、安心を築く地域社会の形成			施策	4-2 学校教育の充実
KPI(指標)	4 不登校児童生徒のうち、あきたリフレッシュ学園又はさわやか教室を利用している人数の割合				
KPI(指標)の考え方	不登校児童生徒一人一人の特性に合わせて関係機関と連携することで学校復帰につなげるための目標設定とした				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	70%以上	70%以上	70%以上	70%以上	70%以上
実績値	34.6%	36.7%	—	—	—

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗	C: 取組に努力を要する	進捗・達成率(R4年度)	52.4%
取組の内容と達成状況	不登校児童生徒のうち、保健室登校やステップルーム登校などの児童生徒もいるため、リフレッシュ学園やさわやか教室の利用は低いものとなっている。		
取組の評価・分析・課題	子どもたちの個々の状況に合わせた不登校対策に取り組んだ結果と捉えている。		
今後の方向性(取組)	不登校対策の選択肢の一つとして個々の子どもたちの状況に合わせた対応とし、他の取組との併用も行いながら学校への復帰を促していく。		

KPI(指標)/数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI(指標)の考え方等	
-----------------------	---	------------------------------	--

備考	
----	--

(令和5年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	45	種別	総合戦略	担当部署	生涯学習課生涯学習係
基本戦略/基本理念	戦略4 住み続けたい、安心を築く地域社会の形成			施策	4-3 生涯学習の充実
KPI(指標)	1 公民館講座・高齢者大学・図書館等の利用者の満足度調査(コムコム含む)				
KPI(指標)の考え方	新たに共通様式で満足度調査を実施し、満足度90.0%を目標とした				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	90.0%	90.0%	90.0%	90.0%	90.0%
実績値	84.5%	83.4%	—	—	—

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗	B:概ね順調に推移	進捗・達成率(R4年度)	92.7%
取組の内容と達成状況	地域の特性を生かし、市内4地区での高齢者大学開校や市内11公民館と市民ふれあいプラザでの公民館講座開設、図書館及び図書室では読書を通じた学習活動の推進を行い、利用者のニーズ把握のためアンケートを実施し、事業を行うための参考とした。		
取組の評価・分析・課題	公民館講座や高齢者大学でのアンケート結果は、生涯学習活動への要望が大きく様々な意見をいただき、活動の参考としている(公民館講座89.9%高齢者大学85.9%)。図書館事業では、様々なアンケート項目を設けたことで総合評価での満足度が57.1%となり、多岐に渡る事業要望が大きい結果となった。		
今後の方向性(取組)	各事業でいただいたアンケート意見を事業に反映させていけるようにし、様々な世代の人が利用しやすい学びの場の提供に努めていく。		

KPI(指標)/数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI(指標)の考え方等	
-----------------------	---	------------------------------	--

備考	
----	--

(令和5年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	46	種別	総合戦略	担当部署	生涯学習課生涯学習係
基本戦略/基本理念	戦略4 住み続けたい、安心を築く地域社会の形成			施策	4-3 生涯学習の充実
KPI(指標)	2 自主講座への移行数【R3~R7年度毎の移行数の合計】				
KPI(指標)の考え方	自主講座へ移行することで、主体的に生涯学習活動に携わることとなるため、年間1講座の増加とし累計で5件の増加を目標とした				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	24講座	25講座	26講座	27講座	28講座
実績値	23講座	23講座	—	—	—

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗	B:概ね順調に推移	進捗・達成率(R4年度)	92.0%
取組の内容と達成状況	各公民館において地域の特色を活かした講座を展開し、新たな受講者が参加しやすい公民館事業を試みているが、自主サークルとして活動していく「自立化」までの意識づけには至らず、目標としている数値には届かなかった。		
取組の評価・分析・課題	生涯学習や市民活動を促進するため高齢者大学事業や様々な公民館講座の企画・運営、施設使用料減免措置による活動促進と支援、文化祭や生涯学習フェスタなど発表の場を提供し、学びの楽しさと自立した活動を促している。		
今後の方向性(取組)	専門知識を有する職員(社会教育主事)の養成と配置の推進を行い、魅力ある講座開設はもちろん、学んだ成果を地域で活用できるよう人材育成の体制づくりを目指していく。		

KPI(指標)/数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI(指標)の考え方等	
-----------------------	---	------------------------------	--

備考	
----	--

(令和5年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	47	種別	総合戦略	担当部署	生涯学習課生涯学習係
基本戦略/基本理念	戦略4 住み続けたい、安心を築く地域社会の形成			施策	4-3 生涯学習の充実
KPI(指標)	3 知識や教養、趣味等を主体的に学習する市民の割合				
KPI(指標)の考え方	市民意識調査で数値の低かった50代や70代以上をターゲットに学びを広げ、市全体で60.0%まで増やすことを目標とした				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	60.0%	60.0%	60.0%	60.0%	60.0%
実績値	63.5%	63.5%	—	—	—

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗	A: 目標を達成	進捗・達成率(R4年度)	105.8%
取組の内容と達成状況	公民館などにおける講座開設や高齢者大学、市職員による出前講座など多様な学習機会の提供、文化祭や生涯学習フェスタなど学びの成果を発表する場を設けることで、生きがいづくりや生涯学習の意識向上につながり意欲的な活動となっている。		
取組の評価・分析・課題	様々な年代のニーズ把握を心がけ、普段は公民館講座に参加しない方にも興味をもってもらえるよう工夫した企画を行っている。また、HPやSNSを活用した情報発信を行うなど若年層にも利用しやすい公民館(生涯学習)活動を心がけている。		
今後の方向性(取組)	市民意識調査の結果、主体的に学習する市民の割合は目標に達したが、引き続き「学習を行っていない市民」が公民館講座や地域活動に参加してもらえるよう「公民館の人づくり・つながりづくり」を行っていきたい。		

KPI(指標)/数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI(指標)の考え方等	
-----------------------	---	------------------------------	--

備考	
----	--

(令和5年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	48	種別	総合戦略	担当部署	生涯学習課生涯学習係
基本戦略/基本理念	戦略4 住み続けたい、安心を築く地域社会の形成			施策	4-3 生涯学習の充実
KPI(指標)	4 地域学校協働活動に参加したボランティアと子どもの満足度調査				
KPI(指標)の考え方	学校と地域が一体となり将来の担い手を育成するため、事業内容の充実を図ることで(毎年)満足度90.0%を目標とした				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	90.0%	90.0%	90.0%	90.0%	90.0%
実績値	100.0%	100.0%	—	—	—

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗	A: 目標を達成	進捗・達成率(R4年度)	111.1%
取組の内容と達成状況	米内沢小6年生が浜辺の歌音楽館での竹あかりプロジェクトを開催するため、地域住民の協力を得ながら竹あかりを制作した。児童からのアンケートでは、自分たちの活動が地域づくりにつながることで、プロジェクトに地域の人が集まり作品を見てもらえることなど地域活性化への協働活動や「ふるさと愛」の醸成に繋がっている。		
取組の評価・分析・課題	地域学校協働活動推進員は、コーディネーターとして学校支援活動に携わり地域と学校の連携、地域ぐるみで子どもたちを育成する環境の基盤作りに協力できた。子どもを育成する地域学校協働活動の重要性について情報共有するとともに、地域の人材を活用した取組の体制を強化することができた。		
今後の方向性(取組)	広範囲化する学区の中で地域全体で子どもたちを育むという目標にむけ、地域学校協働活動推進員と学校が協働して、地域の特性を活かした活動や子どもたちの「ふるさとを愛する心」を育てていく活動を検討していきたい。		

KPI(指標)/数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI(指標)の考え方等	
-----------------------	---	------------------------------	--

備考	
----	--

(令和5年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	49	種別	総合戦略	担当部署	生涯学習課生涯学習係
基本戦略/基本理念	戦略4 住み続けたい、安心を築く地域社会の形成			施策	4-3 生涯学習の充実
KPI(指標)	5 北秋田市民ふれあいプラザ利用者数【延べ利用者数】				
KPI(指標)の考え方	講座メニューやPR方法を工夫することで、現在の利用者を64,400人まで増やすことを目標とした				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	49,000人	53,000人	57,000人	61,000人	64,400人
実績値	48,140人	55,234人	—	—	—

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗	A: 目標を達成	進捗・達成率(R4年度)	104.2%
取組の内容と達成状況	様々な世代や団体に利用されている市民ふれあいプラザは、学びの拠点としての役割だけではなく、フリースペースを活用した地域活動や交流人口の場となるよう利用促進を図ってきた。コロナウイルス感染対策を行いながらサークル活動を続けてきたが、コロナ前の活動に戻りつつあり目標を達成することができた。		
取組の評価・分析・課題	新型コロナウイルス感染症の影響で落ち込んだ各種団体等の利用は回復してきており、令和4年度の目標値は達成できた。今後はコロナ以前の数値を目標に段階的な回復を目指していく。引き続き、自主サークルへの活動支援(使用料減免等)を図るとともに、チャレンジブースやねまーる広場の環境整備を行うなど利用しやすい施設を目指していく。		
今後の方向性(取組)	コムコムは「憩い・交流・賑わい」拠点施設として様々な世代や団体に利用されており、その役割は達成できているが、今後はコムコムから市街地へ周遊する人の流れを作るため「にぎわいづくり委員会」などの意見を参考にしながら、コムコムを活用した賑わいづくりの取組やチャレンジブースの利活用についても検討していきたい。		

KPI(指標)/数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI(指標)の考え方等	
-----------------------	---	------------------------------	--

備考	
----	--

(令和5年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	50	種別	総合戦略	担当部署	生涯学習課生涯学習係
基本戦略/基本理念	戦略4 住み続けたい、安心を築く地域社会の形成			施策	4-3 生涯学習の充実
KPI(指標)	6 社会教育施設台帳の整備と、今後の管理計画書の作成				
KPI(指標)の考え方	共通様式により市内すべての公民館の台帳及び管理計画書を作成することを目標とした				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	12箇所	12箇所	12箇所	12箇所	12箇所
実績値	0箇所	2箇所	—	—	—

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗	C: 取組に努力を要する	進捗・達成率(R4年度)	16.7%
取組の内容と達成状況	現在は施設ごとに違う管理台帳を使用しているため、統一した台帳で整備し管理の一元化を目指した。しかし、R4年度に様式を定めたため、施設台帳の作成は2施設のみとなった。		
取組の評価・分析・課題	今後、定めた様式に必要な項目を入力し、管理台帳の整備に努めていく。		
今後の方向性(取組)	R5年度には、すべての施設台帳の作成を終え、管理計画に役立てていきたい。		

KPI(指標)/数値目標 変更の有無	有	具体的な変更事由・内容 ※KPI(指標)の考え方等	
-----------------------	---	------------------------------	--

備考	
----	--

(令和5年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	51	種別	総合戦略	担当部署	都市計画課都市計画住宅係
基本戦略/基本理念	戦略4 住み続けたい、安心を築く地域社会の形成			施策	4-4 住環境の整備
KPI(指標)	1 公営住宅等のバリアフリー化の割合【累計】				
KPI(指標)の考え方	建替計画及び既存住宅改修計画に基づき目標を設定した				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	84.0%	85.0%	85.0%	86.0%	87.0%
実績値	52.9%	54.1%	—	—	—

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗	C: 取組に努力を要する	進捗・達成率(R4年度)	63.6%
取組の内容と達成状況	住宅の建替えにあたっては、全てバリアフリーとしている。		
取組の評価・分析・課題	計画的に進めている。しかし、建替えには多大な事業費を要するため、目標達成には時間を要する。		
今後の方向性(取組)	長寿命化計画に基づき、引き続き、効率的な団地集約も図りながら建替えを進め、バリアフリー化の向上を目指す。		

KPI(指標)/数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI(指標)の考え方等	
-----------------------	---	------------------------------	--

備考	
----	--



(令和5年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	52	種別	総合戦略	担当部署	都市計画課都市計画住宅係
基本戦略/基本理念	戦略4 住み続けたい、安心を築く地域社会の形成			施策	4-4 住環境の整備
KPI(指標)	2 公営住宅等の入居率(入居戸数/全戸数)【累計】				
KPI(指標)の考え方	政策的空家を除いた509戸を管理基準として目標を設定した				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	84.0%	86.0%	88.0%	90.0%	90.6%
実績値	82.6%	80.2%	—	—	—

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗	B:概ね順調に推移	進捗・達成率(R4年度)	93.3%
取組の内容と達成状況	入居希望者に随時住宅を提供できるよう、また、入居者にも不便をかけないように住宅の維持管理を行った。		
取組の評価・分析・課題	近年、人口減少に相関して、入居率が減少している。入居希望者の問合せでは、単身の割合が多いため、単身用の確保が課題である。		
今後の方向性(取組)	効率的な団地集約を図りつつも、住宅困窮者や被災した方への住宅の確保や、単身も入居可能な住宅の確保を目指す。		

KPI(指標)/数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI(指標)の考え方等	
-----------------------	---	------------------------------	--

備考	
----	--

(令和5年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	53	種別	総合戦略	担当部署	総務課危機管理係
基本戦略/基本理念	戦略4 住み続けたい、安心を築く地域社会の形成			施策	4-4 住環境の整備
KPI(指標)	3 特定空家等に認定した家屋のうち、通知3年以内に解体された割合				
KPI(指標)の考え方	危険家屋状態から早期に回避するため、解体割合90.0%以上を目標とした				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	93.3%	93.3%	93.3%	93.3%	93.3%
実績値	87.5%	88.9%	—	—	—

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗	C: 取組に努力を要する	進捗・達成率(R4年度)	95.3%
取組の内容と達成状況	認定された特定空家等所有者に対し、適正な管理を指導した結果解体に至っており、周辺住民の生活環境の保全促進に努めた。		
取組の評価・分析・課題	金銭的理由で対応いただけないケースや、相続放棄および相続登記未了のケースもあるため、解決に時間を要するのが課題である。		
今後の方向性(取組)	特定空家のみならず、将来特定空家になることが予見される管理不全空家等も含め、所有者等に対し適正な管理の呼びかけを行っていく。		

KPI(指標)/数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI(指標)の考え方等	
-----------------------	---	------------------------------	--

備考	
----	--

(令和5年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	54	種別	総合戦略	担当部署	都市計画課都市計画住宅係
基本戦略/基本理念	戦略4 住み続けたい、安心を築く地域社会の形成			施策	4-4 住環境の整備
KPI(指標)	4 住宅耐震化率【累計】				
KPI(指標)の考え方	北秋田市耐震改修促進計画に基づき目標を設定した				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	67.0%	67.0%	67.0%	69.0%	71.0%
実績値	64.4%	64.4%	—	—	—

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗	B: 概ね順調に推移	進捗・達成率(R4年度)	96.1%
取組の内容と達成状況	一般住宅の安全性の向上を目指し、耐震診断支援事業、耐震改修計画補助事業、耐震改修補助事業を行った。		
取組の評価・分析・課題	市内全体の住宅の耐震化率については、5年に1度の住宅・土地統計調査(次回令和5年度)に基づき算出している。令和4年度の実績については北秋田市耐震改修促進計画(第3期計画)に記載している令和2年度の推計値を引用する。		
今後の方向性(取組)	引き続き、耐震事業を進めていくが、併せて耐震支援事業のPRも行う。		

KPI(指標)/数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI(指標)の考え方等	
-----------------------	---	------------------------------	--

備考	
----	--

(令和5年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	55	種別	総合戦略	担当部署	都市計画課都市計画住宅係
基本戦略/基本理念	戦略4 住み続けたい、安心を築く地域社会の形成			施策	4-4 住環境の整備
KPI(指標)	5 地域による管理が行われている公園箇所数【累計】				
KPI(指標)の考え方	規模的に可能と思われる公園を設定し、同意を得られそうな公園1か所を目標とした				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	3箇所	3箇所	3箇所	3箇所	3箇所
実績値	2箇所	2箇所	—	—	—

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗	C: 取組に努力を要する	進捗・達成率(R4年度)	66.7%
取組の内容と達成状況	令和2年度に地元自治会との協議が不調に終わったため再検討の時間を持った。		
取組の評価・分析・課題	対象の自治会では、人口減少や高齢化に伴い、冬囲い・草刈りなど通年の維持管理は困難であるとのこと。今後この課題が改善されるとは考えにくい。		
今後の方向性(取組)	計画の見直しについて検討する。		

KPI(指標)/数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI(指標)の考え方等	
-----------------------	---	------------------------------	--

備考	
----	--

(令和5年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	56	種別	総合戦略	担当部署	財政課地籍調査室
基本戦略/基本理念	戦略4 住み続けたい、安心を築く地域社会の形成			施策	4-4 住環境の整備
KPI(指標)	6 全体計画の調査面積に対する実施済面積の割合				
KPI(指標)の考え方	国土調査事業第7次十箇年計画期間中(R2~11)に完了させるため目標を設定した				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	45.0%	50.0%	59.0%	63.0%	76.0%
実績値	45.0%	50.0%	—	—	—

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗	B: 概ね順調に推移	進捗・達成率(R4年度)	100.0%
取組の内容と達成状況	鷹巣地区市街地の調査を実施しており概ね計画どおり進んでいる。		
取組の評価・分析・課題	調査を進めるにあたり、土地所有者の高齢化により現地の立会いが出来ない場合や、空き家等で関係者との連絡が取れないケースが多くなってきている。		
今後の方向性(取組)	土地所有者のみならず相続人や関係者情報を事前に把握する。財源である補助金の交付率が低下している中でも、他事業の活用や連携を模索し、計画期間中に調査を完了するように取り組む。		

KPI(指標)/数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI(指標)の考え方等	
-----------------------	---	------------------------------	--

備考	
----	--

(令和5年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	57	種別	総合戦略	担当部署	高齢福祉課高齢福祉係
基本戦略/基本理念	戦略4 住み続けたい、安心を築く地域社会の形成			施策	4-5 雪対策の充実
KPI(指標)	1 自宅の除雪について特に困っていない市民の割合				
KPI(指標)の考え方	市民意識調査の回答割合の高い鷹巣地区や合川地区の水準、並びに前期基本計画の目標値を参考に設定した				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	25.8%	25.8%	25.8%	25.8%	25.8%
実績値	20.8%	14.9%	—	—	—

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗	C: 取組に努力を要する	進捗・達成率(R4年度)	57.8%
取組の内容と達成状況	目標値には達成できていない状況であるものの、「福祉の雪事業」において、主に65歳以上の高齢世帯に対して、間口除雪や屋根の雪下ろし及び除排雪を実施していることにより、回答割合の高かった「玄関や車庫などの雪寄せ」について、60歳代、70歳代の回答割合は全体より低かった。		
取組の評価・分析・課題	「福祉の雪事業」の対象となりえる65歳以上の高齢者世帯がR元年度より3.25%増加している。一方、事業登録世帯数はR元年度より毎年約800世帯で推移しており、登録世帯の減少率も1%未満である。対象世帯の増加に伴い、今後ますます除雪に対するニーズが高まってくるものと思われる。		
今後の方向性(取組)	高齢者の冬期間在宅生活を支援する「福祉の雪事業」を円滑に実施していくためにも、自治会組織へ「事業者登録」の依頼を実施し、事業の担い手確保に努めるとともに、民生委員説明会等においては「地域での共助・地域の担い手探し」への協力依頼を継続する。		

KPI(指標)/数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI(指標)の考え方等	
-----------------------	---	------------------------------	--

備考	
----	--

(令和5年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	58	種別	総合戦略	担当部署	高齢福祉課高齢福祉係
基本戦略/基本理念	戦略4 住み続けたい、安心を築く地域社会の形成			施策	4-5 雪対策の充実
KPI(指標)	2 自治会や近所の人と協力して(間口や)道路、歩道、自治会館やごみ集積所等の除雪作業を行っている市民の割合				
KPI(指標)の考え方	市民意識調査において回答割合の高かった男性の水準を目標とした				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	48.6%	48.6%	48.6%	48.6%	48.6%
実績値	35.1%	36.8%	—	—	—

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗	C: 取組に努力を要する	進捗・達成率(R4年度)	75.7%
取組の内容と達成状況	目標値には達成できていない状況であるが、全体としての数値は増加している傾向にある。地区別においては、R4年度より森吉地区が42.9%と最も高い数値となっており、以外の地区は30%代となっている。高齢化の進展に伴い、共助による除排雪作業が難しい状況になっていると感じる。		
取組の評価・分析・課題	70歳代以上の協力率が最も高くなっているが、40歳代、50歳代でも増加が見られ、地域全体としての共助活動が見られる結果となった。今後も共助意識の高揚と高齢化の進展に伴う世代交代の進展が課題である。		
今後の方向性(取組)	地域での活動や高齢者の冬期間在宅生活を支援する「福祉の雪事業」等を含め、自治会組織及び民生委員説明会等において「地域での共助・担い手探し」への協力を継続する。		

KPI(指標)/数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI(指標)の考え方等	
-----------------------	---	------------------------------	--

備考	
----	--

(令和5年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	59	種別	総合戦略	担当部署	高齢福祉課高齢福祉係
基本戦略/基本理念	戦略4 住み続けたい、安心を築く地域社会の形成			施策	4-5 雪対策の充実
KPI(指標)	3 福祉の雪事業の担い手として事業者登録をしている自治会の数				
KPI(指標)の考え方	令和元年度実績に毎年1団体ずつの増加を目標とした				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	7団体	8団体	9団体	10団体	11団体
実績値	5団体	3団体	—	—	—

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗	C: 取組に努力を要する	進捗・達成率(R4年度)	37.5%
取組の内容と達成状況	自治会組織等へ「事業者登録」の依頼を実施しているものの、高齢化の進展等を起因とする担い手(マンパワー)不足により、新たな登録をする自治会組織はなかった。		
取組の評価・分析・課題	高齢化の進展により、自治会組織等団体として活動することが難しくなっており、団体から個人登録へ切り替えた組織もみられる。今後、団体・個人問わず、高齢化の進展等により担い手(マンパワー)不足により活動が難しくなってくるのが予想され、地域の担い手、組織活動の維持が課題である。		
今後の方向性(取組)	高齢者の冬期間の在宅生活を支援する「福祉の雪事業」の推進にあたり、自治会組織へ「事業者登録」の依頼及び民生委員説明会等において「地域の担い手探し」へ協力を継続する。		

KPI(指標)/数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI(指標)の考え方等	
-----------------------	---	------------------------------	--

備考	
----	--



(令和5年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	60	種別	総合戦略	担当部署	内陸線再生支援室
基本戦略/基本理念	戦略4 住み続けたい、安心を築く地域社会の形成			施策	4-6 公共交通の維持・確保
KPI(指標)	1 秋田内陸線の乗車人数				
KPI(指標)の考え方	令和元年度現状値までの回復を目標とした				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	264,000人	264,000人	264,000人	264,000人	264,000人
実績値	177,192人	183,681人	—	—	—

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗	C: 取組に努力を要する	進捗・達成率(R4年度)	69.6%
取組の内容と達成状況	令和元年度には155,642人の定期外利用が令和2・3年度は新型コロナウイルス感染症の影響により約半数に激減した。令和4年度は、コロナ収束に伴って、定期外の利用が増加し、特にインバウンドの団体利用が冬期間に回復基調であったが、8月に豪雨災害による一部区間の不通によるバス代行もあり、乗車人員については、コロナ以前までの利用まで回復していない状況である。		
取組の評価・分析・課題	県や仙北市と協調しながら観光列車を活用した「貸切列車半額」「リピーターチケット配布」などのキャンペーンを実施し、一定の効果は得たが、新型コロナウイルス感染症の影響や災害による一部区間不通、バス代行も大きく、目標達成には届かなかった。様々な状況があっても、影響を受けにくいコアな内陸線のファンづくりによる乗車促進策が課題である。		
今後の方向性(取組)	乗車人数を令和7年度までには、新型コロナウイルスの影響が少なかった令和元年度の概ね264,000人までの回復を目標に、秋田県、仙北市、沿線の支援団体と連携し利用促進への取組を強化するとともに、継続している高校生通学定期券補助事業の対象高校生等の増加を図る。併せてコアな内陸線ファンの拡大に努める。		

KPI(指標)/数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI(指標)の考え方等	
-----------------------	---	------------------------------	--

備考	
----	--

(令和5年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	61	種別	総合戦略	担当部署	総合政策課政策係
基本戦略/基本理念	戦略4 住み続けたい、安心を築く地域社会の形成			施策	4-6 公共交通の維持・確保
KPI(指標)	2 路線バス・デマンド型乗合タクシーの輸送人員数				
KPI(指標)の考え方	鷹巣線の減少(スクールバス化:吉野学園△7,300人)を踏まえた現状維持を目標とした				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	131,000人	131,000人	131,000人	131,000人	131,000人
実績値	122,254人	122,459人	—	—	—

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗	B:概ね順調に推移	進捗・達成率(R4年度)	93.5%
取組の内容と達成状況	<p>利便増進実施計画に基づき市内全域を対象とした持続可能な交通体系実現に向けた取り組みを検討した。路線再編は見送ったが、市内路線図及び時刻表(A2拡大版)の内容を更新して市内主要施設(駅、病院、ショッピングセンター、銀行、郵便局、市有施設等)へ掲示及びバスマップ等を配布し、新たな利用者の掘り起しを行った。</p>		
取組の評価・分析・課題	<p>沿線地域の人口減少の進行により利用者が減少となったが、じょうもんパスの購入助成やその他利用促進の効果として市民病院通院路線・鷹巣市街地循環パスが、通院手段として沿線住民に認知され定着した結果、利用者が増加傾向にある。</p>		
今後の方向性(取組)	<p>令和5年3月に策定した北秋田市地域公共交通計画では主要な公共道路線網の維持・確保に努めながら、少子高齢化や人口減少をはじめとする社会環境変化により、顕著な変化が進む交通需要に合わせて公共交通システムを見直すなど、今後とも市民の理解を得た上で公共交通合理化施策を進め、公共交通事業者及び行政の負担軽減を盛り込み、取組を展開する。</p>		

KPI(指標)/数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI(指標)の考え方等	
-----------------------	---	------------------------------	--

備考	
----	--

(令和5年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	62	種別	総合戦略	担当部署	総合政策課政策係
基本戦略/基本理念	戦略4 住み続けたい、安心を築く地域社会の形成			施策	4-6 公共交通の維持・確保
KPI(指標)	3 大館能代空港利用者数				
KPI(指標)の考え方	3 便化政策コンテストにおいて目指した数値(1年後ろ倒し)を目標とした				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	207,740人	219,020人	222,404人	225,600人	233,000人
実績値	45,346人	145,617人	—	—	—

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗	C: 取組に努力を要する	進捗・達成率(R4年度)	66.5%
取組の内容と達成状況	利用促進協議会と連携した各事業(圏域の翼、企業ファンクラブなど)の実施や、市・県がそれぞれ運賃助成を実施するなど利用促進を推進し、前年比100,000人程度の利用者増となった。しかし目標値までは大幅な乖離があるため、令和5年度以降も利用促進事業を実施する予定である。		
取組の評価・分析・課題	緊急事態宣言が解除され、移動等の行動制限が緩和されたほか、令和4年7月から1日3往復運航が開始したことなどを背景に、利用者数は前年比で大幅に増加した。旅行商品造成支援や通年での市民向け運賃助成などが利用促進に寄与したと思料される。		
今後の方向性(取組)	利用者数を新型コロナウイルス発生前の水準に戻して、3便化の継続に向けた取組として県や利用促進協議会等と連携を図りながら、PR活動、チャーター便利用促進への取組を展開する。		

KPI(指標)/数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI(指標)の考え方等	
-----------------------	---	------------------------------	--

備考	
----	--

(令和5年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	63	種別	総合戦略	担当部署	総務課危機管理係
基本戦略/基本理念	戦略4 住み続けたい、安心を築く地域社会の形成			施策	4-7 地域防災体制の充実
KPI(指標)	1 災害に備えて何かしら準備をしている市民の割合				
KPI(指標)の考え方	市民意識調査において割合の高い森吉地区の水準を全市の目標とした				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	68.4%	68.4%	68.4%	68.4%	68.4%
実績値	58.2%	60.4%	—	—	—

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗	C: 取組に努力を要する	進捗・達成率(R4年度)	88.3%
取組の内容と達成状況	広報やHP等のほか、出前講座における周知に取組んだ。		
取組の評価・分析・課題	率の向上は図られたが、大きな改善には至っていない。日頃からの準備、点検等に対する意識の高揚が課題である。		
今後の方向性(取組)	これまでの取組みを継続実施するほか、自主防災組織等を通じた周知にも努める。		

KPI(指標)/数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI(指標)の考え方等	
-----------------------	---	------------------------------	--

備考	
----	--

(令和5年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	64	種別	総合戦略	担当部署	総務課危機管理係
基本戦略/基本理念	戦略4 住み続けたい、安心を築く地域社会の形成			施策	4-7 地域防災体制の充実
KPI(指標)	2 防災情報メール登録者数【累計】				
KPI(指標)の考え方	効率のよい市の情報を取得する手段として登録いただくよう、毎年100人の増加を目標とした				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	1,845人	1,945人	2,045人	2,145人	2,245人
実績値	1,731人	1,914人	—	—	—

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗	B:概ね順調に推移	進捗・達成率(R4年度)	98.4%
取組の内容と達成状況	広報やHP等のほか、出前講座における周知にも取組み、登録者数183名の増加につなげた。		
取組の評価・分析・課題	年間100名の登録者数増加の目標を達成することが出来た。親元を離れて暮らす市外在住者等向けの対策が課題である。		
今後の方向性(取組)	これまでの取組みを継続実施するほか、Yahoo!Japanを通じた地域情報の発信に努め、登録者数の拡大を図る。		

KPI(指標)/数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI(指標)の考え方等	
-----------------------	---	------------------------------	--

備考	
----	--

(令和5年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	65	種別	総合戦略	担当部署	総務課危機管理係
基本戦略/基本理念	戦略4 住み続けたい、安心を築く地域社会の形成			施策	4-7 地域防災体制の充実
KPI(指標)	3 自主防災組織の結成数【累計】				
KPI(指標)の考え方	年間3団体の増加を目標とした				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	48 団体	51 団体	54 団体	57 団体	60 団体
実績値	45 団体	48 団体	—	—	—

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗	B: 概ね順調に推移	進捗・達成率(R4年度)	94.1%
取組の内容と達成状況	広報やHP等のほか、出前講座における周知にも取組み、年間3団体の組織結成を達成することができた。		
取組の評価・分析・課題	累計組織数の目標達成には至らなかったが、既存組織の活動支援や、資機材整備等の育成支援により、年間組織数の目標を達成することができた。		
今後の方向性(取組)	消防との連携を図り、地域住民による「共助」の取組強化を図る。また、新規結成に向けた支援のほか、既存の組織についても継続して活動支援を行う。		

KPI(指標)/数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI(指標)の考え方等	
-----------------------	---	------------------------------	--

備考	
----	--

(令和5年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	66	種別	総合戦略	担当部署	総務課危機管理係
基本戦略/基本理念	戦略4 住み続けたい、安心を築く地域社会の形成			施策	4-7 地域防災体制の充実
KPI(指標)	4 防災ラジオ配布割合				
KPI(指標)の考え方	配布割合90.0%を目標とした。(※8,957世帯⇒11,325世帯(2,368世帯増加))				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	90.1%	90.1%	90.1%	90.1%	90.1%
実績値	74.3%	75.7%	—	—	—

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗	C: 取組に努力を要する	進捗・達成率(R4年度)	84.0%
取組の内容と達成状況	広報やHP、出前講座等における周知に取組んだほか、配布率の低い自治会等に対し再度周知を図った。配布世帯数で56、配布率で1.4%の増加につなげた。		
取組の評価・分析・課題	配布世帯数および配布率で向上は図られつつも、特にアパート等居住者に対する周知が課題である。		
今後の方向性(取組)	転入等の際やご遺族支援コーナーにおける周知を継続して実施するほか、普及率が低い自治会等に対し、再度周知を図りながら普及促進に努める。		

KPI(指標)/数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI(指標)の考え方等	
-----------------------	---	------------------------------	--

備考	
----	--

(令和5年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	67	種別	総合戦略	担当部署	建設課工務係
基本戦略/基本理念	戦略4 住み続けたい、安心を築く地域社会の形成			施策	4-7 地域防災体制の充実
KPI(指標)	5 河川環境の整備【累計】				
KPI(指標)の考え方	令和3年度から実施を予定している緊急浚渫推進事業計画(案)に基づき、目標を設定した				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	3河川	5河川	9河川	13河川	13河川
実績値	3河川	5河川	—	—	—

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗	A: 目標を達成	進捗・達成率(R4年度)	100.0%
取組の内容と達成状況	2河川で危険箇所の土砂撤去を実施し、目標を達成した。		
取組の評価・分析・課題	土砂除去による危険箇所の解消により、河川氾濫などの浸水被害の危険性を低減することができた。		
今後の方向性(取組)	令和6年度までの期限付き事業(起債事業)であるため、計画に従い緊急かつ集中的に取り組み、危険箇所の解消を図っていく。		

KPI(指標)/数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI(指標)の考え方等	
-----------------------	---	------------------------------	--

備考	
----	--



(令和5年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	68	種別	総合戦略	担当部署	商工観光課商工労働係
基本戦略/基本理念	戦略4 住み続けたい、安心を築く地域社会の形成			施策	4-8 新しい生活様式への対応
KPI(指標)	1 北秋田市でテレワーク(ワーケーション)に取り組む経費を助成する件数(累計)				
KPI(指標)の考え方	県外の民間企業等が北秋田市で行うワーケーションに対し、県又は市が経費を助成する件数を令和3、4年度を年2件、令和5年度からは年4件として目標を設定した				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	2件	4件	8件	12件	16件
実績値	0件	9件	—	—	—

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗	A: 目標を達成	進捗・達成率(R4年度)	225.0%
取組の内容と達成状況	令和4年度は移住定住促進機構の補助事業を活用した企業研修型ワーケーション事業やこれまで誘致折衝している企業の訪問に加えて日本テレワーク協会の事務局長を講師として招いて、市民や宿泊観光事業者向けのセミナーを実施するなど気運の醸成とともに長年の誘致折衝の成果が表れてきている。		
取組の評価・分析・課題	北秋田市と事業を展開している事業者に対して、ワーケーションを勧めることにより、飲食・宿泊費用が発生し、地域経済の活性化に寄与することから、様々な課で実施できる取り組みであり、リピーターになることで関係人口の創出に繋がる。		
今後の方向性(取組)	ワーケーション実施補助金の制度化や地域課題解決型ワーケーションプロジェクト事業(日本テレワーク協会)、秋田でワーケーションコーディネート体制強化事業(県移住定住)など様々な関係団体とともに事業を実施し北秋田市の名をPRしていくことで、他団体との差別化を図っていく。		

KPI(指標)/数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI(指標)の考え方等	
-----------------------	---	------------------------------	--

備考	
----	--

(令和5年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	69	種別	総合戦略	担当部署	総合政策課移住定住支援室
基本戦略/基本理念	戦略4 住み続けたい、安心を築く地域社会の形成			施策	4-8 新しい生活様式への対応
KPI(指標)	2 オンライン(リモート・SNS含む)での移住定住相談者数【累計】				
KPI(指標)の考え方	オンライン(リモート・SNS含む)での移住定住相談者数を目標として設定した				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	45人	90人	135人	180人	225人
実績値	98人	139人	—	—	—

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗	A: 目標を達成	進捗・達成率(R4年度)	154.4%
取組の内容と達成状況	新しい生活様式への対応として、オンラインでの移住フェア出展、LINEアプリやzoomなどを使った移住相談などを実施し、それぞれの相談者が希望する相談方法でより気軽に、きめ細かな対応が可能となった。		
取組の評価・分析・課題	移住のターゲット層である若者や子育て世帯にとって、平日の日中に移住相談をすることは難しい状況があるが、LINEアプリの活用により、曜日や時間にかかわらず気軽に相談することが可能となり、非常に好評であった。Zoomの利用やLINEに写真等を添付することで、簡単かつ正確に状況を伝えることができた。		
今後の方向性(取組)	移住イベントへのオンライン出展を継続し、つながりづくりを絶やさないことや、好評であるLINEやzoomを活用した移住相談について今後も継続して取り組みたい。		

KPI(指標)/数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI(指標)の考え方等	
-----------------------	---	------------------------------	--

備考	
----	--

(令和5年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	70	種別	総合計画	担当部署	医療健康課地域医療対策室
基本戦略/基本理念	基本理念1 健康でしごとにはげむ活力あるまちづくり			施策	1-1 地域医療の充実
KPI(指標)	1 市内の医療体制について整っており満足している市民の割合				
KPI(指標)の考え方	前期計画期間の調査結果は60.0%前後で推移し、目標値未達であることから、引き続き前期と同じ目標数値とした				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	63.0%	63.0%	63.0%	63.0%	63.0%
実績値	56.8%	57.6%	—	—	—

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗	C: 取組に努力を要する	進捗・達成率(R4年度)	91.4%
取組の内容と達成状況	市内医療機関等と連携し年間を通して夜間初期救急医療を実施したほか、在宅医療の要である訪問看護サービス事業者に対し運営費の支援を行い遠隔地利用者へ安定したサービスの提供を行うなど、地域医療提供体制の確保に取り組んだ。		
取組の評価・分析・課題	初期救急医療体制の確保、訪問看護体制の強化に対する補助により、安心安全な医療サービスの確保に取り組んでいるが、目標未達。一次医療を担う医師の担い手不足が懸念される。		
今後の方向性(取組)	人口減少や高齢化の進展、また、生活圏域が広く山間地域が多い当市の状況において、従前の取組に加え、医療提供体制の充実に向けて、先進地視察等を行い医療DXや医療マース車両導入を検討する。		

KPI(指標)/数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI(指標)の考え方等
-----------------------	---	------------------------------

備考	
----	--

(令和5年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	71	種別	総合計画	担当部署	医療健康課地域医療対策室
基本戦略/基本理念	基本理念1 健康でしごとにはげむ活力あるまちづくり			施策	1-1 地域医療の充実
KPI(指標)	2 市民病院の常勤医師数(※非常勤医師等数を含む常勤医師換算数)				
KPI(指標)の考え方	秋田県医師確保計画における北秋田医療圏の目標医師計画値を基準とし、地域の中核病院として、より充実した医療サービスを提供するための医師数を目標数値とした				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	24.0人	24.0人	24.0人	24.0人	24.0人
実績値	23.0人	23.6人	—	—	—

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗	B:概ね順調に推移	進捗・達成率(R4年度)	98.3%
取組の内容と達成状況	市民病院の医師充足率向上及び診療科偏在解消を目指し、指定管理者と連携して秋田大学医学部等への医師派遣要請を行い、医師充足率においては100%超の体制を維持することができた。		
取組の評価・分析・課題	医師充足率が平成30年度から100%を超える状況となり、診療体制の拡充が図られた。一方、常勤医のいない或いは不足している診療科が依然として存在する。		
今後の方向性(取組)	常勤医師奨励金制度の継続に加えて、医師確保対策の二の矢となる施策を検討する。		

KPI(指標)/数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI(指標)の考え方等	
-----------------------	---	------------------------------	--

備考	医師充足率の算定期間: R5.3.1
----	--------------------

(令和5年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	72	種別	総合計画	担当部署	医療健康課地域医療対策室
基本戦略/基本理念	基本理念1 健康でしごとにはげむ活力あるまちづくり			施策	1-1 地域医療の充実
KPI(指標)	3 北秋田市民病院満足度(職員の対応)				
KPI(指標)の考え方	病院職員の接客対応改善を図るため、これまでの調査結果における高い数値を目標値とした				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	96.0%	96.0%	96.0%	96.0%	96.0%
実績値	97.2%	99.0%	—	—	—

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗	B:概ね順調に推移	進捗・達成率(R4年度)	103.1%
取組の内容と達成状況	利用者満足度アンケート調査における高い水準を目指し、医師及び医療従事者の対応等接遇向上に取り組んだ結果、全体の満足度として99.0%の好結果となった。		
取組の評価・分析・課題	利用者のご意見等に丁寧に対応し、改善に取り組んできた結果、全体の満足度は99.0%と高い。一方、依然として待ち時間に対するご意見がある。		
今後の方向性(取組)	外来運用の変更により、待ち時間の解消、院内滞在時間の短縮、3密回避に取り組み、医療サービス向上を図る。		

KPI(指標)/数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI(指標)の考え方等	
-----------------------	---	------------------------------	--

備考	
----	--

(令和5年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	73	種別	総合計画	担当部署	医療健康課健康推進係
基本戦略/基本理念	基本理念1 健康でしごとにはげむ活力あるまちづくり			施策	1-2 健康づくりの推進
KPI(指標)	1 健診受診率(特定健診)				
KPI(指標)の考え方	「第2期健康秋田21計画」より目標値を設定した。※第3期特定健康診査等実施計画は35.0%(R5)としている				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	40.0%	40.0%	40.0%	40.0%	40.0%
実績値	36.7%	36.7%	—	—	—

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗	B:概ね順調に推移	進捗・達成率(R4年度)	91.8%
取組の内容と達成状況	集団健診の受診率は横ばい傾向にある。昨年に比べ、個別方式の受診者数が減少した。		
取組の評価・分析・課題	個別方式での受診者数が減少したことをふまえ、治療中であっても特定健診受診可能であるため、かかりつけ医による受診勧奨、治療中の方の情報提供など対象者の受診状況把握を図り、受診勧奨に努める必要がある。		
今後の方向性(取組)	ハガキによる受診勧奨を行うとともに治療中の方の情報提供について各医療機関と連携し受診率向上に向け取り組んでいく。		

KPI(指標)/数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI(指標)の考え方等	
-----------------------	---	------------------------------	--

備考	
----	--

(令和5年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	74	種別	総合計画	担当部署	医療健康課健康推進係
基本戦略/基本理念	基本理念1 健康でしごとにはげむ活力あるまちづくり			施策	1-2 健康づくりの推進
KPI(指標)	2 がん検診受診率(5 大がん検診受診率の平均、全対象に対する率)				
KPI(指標)の考え方	「第2期健康秋田21計画」の目標値は50.0%(R5)だが、受診率の算定方式が変更となり、「保険者努力義務支援評価基準」から25.0%とした				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	平均25.0%	平均25.0%	平均25.0%	平均25.0%	平均25.0%
実績値	平均9.1%	平均8.9%	—	—	—

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗	C: 取組に努力を要する	進捗・達成率(R4年度)	35.6%
取組の内容と達成状況	5 大がん検診において前年比、受診率が横ばいまたは減少しており、全体的にも受診率が減少した。コロナ禍において集団検診より、密を避ける個別医療機関方式の勧奨に努めたことで個別医療機関方式の受診率はどの検診も増加している。		
取組の評価・分析・課題	前年比受診率の減少にはなったが、特に受診率の低い若い世代が受診しやすいよう個別医療機関方式による受診や、無料クーポン券の発送、WEB予約の活用などにより、検診受診につなげていきたい。		
今後の方向性(取組)	検診の重要性について理解を深めてもらうようチラシや、HP等で周知を図り、受診につなげる。また、受診しやすい環境(個別医療機関方式の充実、WEB予約など)の整備に努める。		

KPI(指標)/数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI(指標)の考え方等	
-----------------------	---	------------------------------	--

備考	
----	--

(令和5年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	75	種別	総合計画	担当部署	医療健康課健康推進係
基本戦略/基本理念	基本理念1 健康でしごとにはげむ活力あるまちづくり			施策	1-2 健康づくりの推進
KPI(指標)	3 メタボリックシンドロームとその予備群の割合				
KPI(指標)の考え方	北秋田市健康宣言において10年間(R8)でメタボ予備群を10.0%以下に減らすと宣言していることから10.0%を目標とした				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	10.0%	10.0%	10.0%	10.0%	10.0%
実績値	9.5%	10.1%	—	—	—

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗	B:概ね順調に推移	進捗・達成率(R4年度)	99.0%
取組の内容と達成状況	メタボ及び予備群該当者の割合は増加している。毎年対象になる方もおり改善が見られない方も多い。		
取組の評価・分析・課題	対象になっても保健指導を受けない方もいるので、確実に保健指導へつなげていくことが課題。		
今後の方向性(取組)	特定保健指導の参加を勧め、個々に応じた保健指導の内容を実施しメタボ予備軍の減少に向けて取り組む。		

KPI(指標)/数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI(指標)の考え方等	
-----------------------	---	------------------------------	--

備考	
----	--



(令和5年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	76	種別	総合計画	担当部署	医療健康課健康推進係
基本戦略/基本理念	基本理念1 健康でしごとにはげむ活力あるまちづくり			施策	1-2 健康づくりの推進
KPI(指標)	4 自分のことを健康だと思う市民の割合				
KPI(指標)の考え方	現状より増加することを目標とした。※市民意識調査より				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	70.0%	70.0%	70.0%	70.0%	70.0%
実績値	68.3%	69.4%	—	—	—

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗	B: 概ね順調に推移	進捗・達成率(R4年度)	99.1%
取組の内容と達成状況	「とても健康である」「どちらかといえば健康である」と答えた割合の合計は令和3年度68.3%から令和4年度は69.4%と上昇傾向にある。		
取組の評価・分析・課題	年代別で見ると、10~20代の80%が「健康である」と回答。年代が上がるにつれ「健康である」という回答率が減少し70歳以上では、56.8%まで減少。どの年代でも「健康である」と答える割合の増加が課題。		
今後の方向性(取組)	健診受診で健康状態を客観的に確認をすること、また健診結果により要観察や要治療となった方が、適切に医療受診し、生活の質を維持、向上させることも「健康」につながると考える。そのため健診受診勧奨を引き続き継続していきたい。		

KPI(指標)/数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI(指標)の考え方等	
-----------------------	---	------------------------------	--

備考	
----	--

(令和5年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	77	種別	総合計画	担当部署	医療健康課健康推進係
基本戦略/基本理念	基本理念1 健康でしごとにはげむ活力あるまちづくり			施策	1-2 健康づくりの推進
KPI(指標)	5 健康診断を受けている市民の割合				
KPI(指標)の考え方	特定健診、後期高齢者健診を受けている割合として目標値を設定した				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	30.0%	30.0%	30.0%	30.0%	30.0%
実績値	23.0%	23.1%	—	—	—

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗	C: 取組に努力を要する	進捗・達成率(R4年度)	77.0%
取組の内容と達成状況	特定健診受診率は、横ばい、後期高齢者健診は微増のため全体の受診率も微増であった。		
取組の評価・分析・課題	健診は、未受診だが通院・治療している人は多い。生活習慣病・フレイル予防・医療費の観点からも健診の必要性を理解していただくことが課題。		
今後の方向性(取組)	健康教室、地区のサロン等での受診勧奨の継続に加え、健康ポイント事業をさらに周知し、健診の意識づけを行う。		

KPI(指標)/数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI(指標)の考え方等	
-----------------------	---	------------------------------	--

備考	
----	--

(令和5年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	78	種別	総合計画	担当部署	医療健康課健康推進係
基本戦略/基本理念	基本理念1 健康でしごとにはげむ活力あるまちづくり			施策	1-2 健康づくりの推進
KPI(指標)	6 心はればれゲートキーパー養成講座受講者数				
KPI(指標)の考え方	「北秋田市いのち支える自殺対策計画」より、受講者数毎年100人を目標とした				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	100人	100人	100人	100人	100人
実績値	99人	33人	—	—	—

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗	C: 取組に努力を要する	進捗・達成率(R4年度)	33.0%
取組の内容と達成状況	コロナ禍の影響のため地域での開催が無かったため目標に達することができなかった。		
取組の評価・分析・課題	民生委員の定例会などで周知を図るなどし、誰もが地域で安心して生活していくため、悩みを抱える人への早期の気づきに対応できる人の養成をさらに増やしていく必要がある。		
今後の方向性(取組)	関係機関と連携しながら、周知を図り、新規の受講者を増やしていきたい。		

KPI(指標)/数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI(指標)の考え方等	
-----------------------	---	------------------------------	--

備考	
----	--

(令和5年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	79	種別	総合計画	担当部署	福祉課地域障がい福祉係
基本戦略/基本理念	基本理念2 お互いが尊敬し支えあう明るいまちづくり			施策	2-2 地域福祉の充実
KPI(指標)	1 支援調整会議における検討者数、自立者数【累計】				
KPI(指標)の考え方	現状値を基準に、各年度の平均増加数(11人)に準じた目標とした				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	77人	88人	99人	110人	121人
実績値	59人	81人	—	—	—

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗	B:概ね順調に推移	進捗・達成率(R4年度)	92.0%
取組の内容と達成状況	自立支援制度に関わる各種相談受付、就労支援、家計相談支援を実施し、支援調整会議において関係機関と支援方法について意見交換を実施し、概ね順調に推移した。		
取組の評価・分析・課題	支援調整会議を定期的で開催し、生活困窮者の抱える課題に沿った支援プランを策定した。		
今後の方向性(取組)	制度の周知の強化と、就労プラン作成から一般就労へつなげるよう取り組む。		

KPI(指標)/数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI(指標)の考え方等	
-----------------------	---	------------------------------	--

備考	
----	--

(令和5年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	80	種別	総合計画	担当部署	福祉課地域障がい福祉係
基本戦略/基本理念	基本理念2 お互いが尊敬し支えあう明るいまちづくり			施策	2-2 地域福祉の充実
KPI(指標)	2 ひきこもり解消(社会参加、就労)数【累計】				
KPI(指標)の考え方	現状値を基準に、各年度の平均増加数(10人)に準じた目標とした				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	67人	77人	87人	97人	107人
実績値	47人	55人	—	—	—

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗	C: 取組に努力を要する	進捗・達成率(R4年度)	71.4%
取組の内容と達成状況	くらし相談センターにおける相談受付、支援実施等により社会参加、就労することを目指した。しかし、当事者の会である「きたきた希望の会」(社会福祉協議会)はコロナ禍により開催を中止したため、目標値には達しなかった。		
取組の評価・分析・課題	ハローワークへの同行や職場見学の支援、または個々の事情に応じた福祉サービス等につなげることでひきこもり解消に取り組んだ。		
今後の方向性(取組)	ひきこもりは、個々の事情が異なるため対応方法も様々となるが、長期的な支援を行うために、包括的な取り組みを進める。		

KPI(指標)/数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI(指標)の考え方等
-----------------------	---	------------------------------

備考	
----	--

(令和5年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	81	種別	総合計画	担当部署	福祉課地域障がい福祉係
基本戦略/基本理念	基本理念2 お互いが尊敬し支えあう明るいまちづくり			施策	2-2 地域福祉の充実
KPI(指標)	3 悩みや不安を相談できる人がいる市民の割合				
KPI(指標)の考え方	市民意識調査において回答割合の高い森吉地区の水準を全市の目標とした				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	91.8%	91.8%	91.8%	91.8%	91.8%
実績値	86.1%	89.5%	—	—	—

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗	B:概ね順調に推移	進捗・達成率(R4年度)	97.5%
取組の内容と達成状況	民生児童委員や社会福祉協議会等と連携し、地域住民の抱える課題を解決できるよう取り組んだ。		
取組の評価・分析・課題	目標値は若干下回っているが、関係各機関との連携により、約90%の人が相談できる人がいる状況を維持できた。		
今後の方向性(取組)	民生児童委員の地域での積極的な相談支援活動と、社会福祉協議会の全戸訪問を始めとする各関係機関との連携等により、地域で支え合う力を高めていく。		

KPI(指標)/数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI(指標)の考え方等	
-----------------------	---	------------------------------	--

備考	
----	--

(令和5年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	82	種別	総合計画	担当部署	高齢福祉課介護保険係
基本戦略/基本理念	基本理念2 お互いが尊敬し支えあう明るいまちづくり			施策	2-3 高齢者福祉の充実
KPI(指標)	1 要介護・要支援認定を受けていない後期高齢者(75歳以上)の割合				
KPI(指標)の考え方	健康づくりや介護予防への支援強化で現状維持を目標とした				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	68.0%	68.0%	68.0%	68.0%	68.0%
実績値	66.3%	66.9%	—	—	—

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗	B:概ね順調に推移	進捗・達成率(R4年度)	98.4%
取組の内容と達成状況	目標値は達成できていない状況であるが、三圏域の地域包括支援センターによる介護予防教室や出前講座により、急激な認定者数の増加はみられていない。		
取組の評価・分析・課題	高齢化の進展に伴い、サロン活動を維持することが困難な地域も出てきており、担い手不足により活動が難しくなることが予想され、サロンの維持が課題である。		
今後の方向性(取組)	地域包括支援センター等による介護予防への取り組みを強化し、地域のサロン活動の維持に努める。		

KPI(指標)/数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI(指標)の考え方等	
-----------------------	---	------------------------------	--

備考	
----	--

(令和5年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	83	種別	総合計画	担当部署	高齢福祉課介護保険係
基本戦略/基本理念	基本理念2 お互いが尊敬し支えあう明るいまちづくり			施策	2-3 高齢者福祉の充実
KPI(指標)	2 要介護・要支援認定を受けていない前期高齢者(65歳~74歳以下)の割合				
KPI(指標)の考え方	健康づくりや介護予防への支援強化で現状維持を目標とした				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	97.0%	97.0%	97.0%	97.0%	97.0%
実績値	96.3%	96.4%	—	—	—

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗	B:概ね順調に推移	進捗・達成率(R4年度)	99.4%
取組の内容と達成状況	目標値は達成できていない状況であるが、三圏域の地域包括支援センターによる介護予防教室や出前講座により、急激な認定者数の増加はみられていない。		
取組の評価・分析・課題	高齢化の進展に伴い、サロン活動を維持することが困難な地域も出てきており、担い手不足により活動が難しくなることが予想され、サロンの維持が課題である。		
今後の方向性(取組)	地域包括支援センター等による介護予防への取り組みを強化し、地域のサロン活動の維持に努める。		

KPI(指標)/数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI(指標)の考え方等	
-----------------------	---	------------------------------	--

備考	
----	--



(令和5年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	84	種別	総合計画	担当部署	高齢福祉課高齢福祉係
基本戦略/基本理念	基本理念2 お互いが尊敬し支えあう明るいまちづくり			施策	2-3 高齢者福祉の充実
KPI(指標)	3 悩みや不安を相談できる人がいないと答えた60歳以上の市民の割合				
KPI(指標)の考え方	市民意識調査において回答割合の低い鷹巣地区の水準を全市の目標とした				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	5.0%	5.0%	5.0%	5.0%	5.0%
実績値	11.8%	9.5%	—	—	—

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗	C: 取組に努力を要する	進捗・達成率(R4年度)	52.6%
取組の内容と達成状況	地域包括支援センターにおける総合相談対応件数は、令和3年度の3,892件を超える4,497件であり、地域で相談できる体制とした効果が現れているが、目標の達成は出来なかった。		
取組の評価・分析・課題	地域包括支援センターの認知度が向上したことにより、総合相談件数は増加しているが、地域へ出向いての実態把握や、訪問による相談対応等、早期対応が不足していることが課題である。		
今後の方向性(取組)	地域包括支援センターにおける総合相談対応、地域へ出向いての実態把握、訪問による相談対応等の早期対応に努める。		

KPI(指標)/数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI(指標)の考え方等	
-----------------------	---	------------------------------	--

備考	
----	--

(令和5年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	85	種別	総合計画	担当部署	高齢福祉課高齢福祉係
基本戦略/基本理念	基本理念2 お互いが尊敬し支えあう明るいまちづくり			施策	2-3 高齢者福祉の充実
KPI(指標)	4 家族の世話や介護に不安を感じると答えた市民の割合				
KPI(指標)の考え方	市民意識調査において回答割合の低い鷹巣地区の水準を全市の目標とした				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	36.5%	36.5%	36.5%	36.5%	36.5%
実績値	39.3%	41.1%	—	—	—

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗	C: 取組に努力を要する	進捗・達成率(R4年度)	88.8%
取組の内容と達成状況	地域包括支援センターにおける総合相談対応件数は、令和3年度の3,892件を超える4,497件であり、地域で相談できる体制とした効果が現れているが、目標達成は出来なかった。		
取組の評価・分析・課題	地域包括支援センターの認知度が向上したことにより、総合相談件数は増加しているが、地域へ出向いての実態把握や、訪問による相談対応等、早期対応が不足していることが課題である。		
今後の方向性(取組)	地域包括支援センターにおける総合相談対応、地域へ出向いての実態把握、訪問による相談対応等の早期対応に努める。		

KPI(指標)/数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI(指標)の考え方等	
-----------------------	---	------------------------------	--

備考	
----	--

(令和5年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	86	種別	総合計画	担当部署	福祉課地域障がい福祉係
基本戦略/基本理念	基本理念2 お互いが尊敬し支えあう明るいまちづくり			施策	2-4 障がい者福祉の充実
KPI(指標)	1 福祉施設入所者数【累計】				
KPI(指標)の考え方	厚生労働省による障害福祉計画に係る成果目標及び活動指標(6.0%)に準じた目標とした				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	122人	122人	122人	122人	122人
実績値	130人	127人	—	—	—

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗	B:概ね順調に推移	進捗・達成率(R4年度)	96.1%
取組の内容と達成状況	基幹相談支援センター及び各福祉施設等の関係機関と連携し、福祉施設から地域へ安心して移行できるように、地域移行を希望される方に対して情報提供等の取り組みを行い、概ね目標値のとおり順調に推移している。		
取組の評価・分析・課題	福祉施設入所中の方は、障害の程度が重度の方が多いため、地域移行することが困難な場合が多いことが今後の課題である。		
今後の方向性(取組)	関係機関と連携し、地域生活支援拠点の整備に向けて取り組んでいくとともに、自立訓練事業等の利用を促進することで、地域移行後も安心して生活できるような支援体制の充実を図っていく。		

KPI(指標)/数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI(指標)の考え方等	
-----------------------	---	------------------------------	--

備考	
----	--

(令和5年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	87	種別	総合計画	担当部署	福祉課地域障がい福祉係
基本戦略/基本理念	基本理念2 お互いが尊敬し支えあう明るいまちづくり			施策	2-4 障がい者福祉の充実
KPI(指標)	2 福祉施設から一般就労への移行者数【累計】				
KPI(指標)の考え方	厚生労働省による障害福祉計画に係る成果目標及び活動指標(1.27倍)に準じた目標とした				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	16人	16人	16人	16人	16人
実績値	9人	12人	—	—	—

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗	B:概ね順調に推移	進捗・達成率(R4年度)	75.0%
取組の内容と達成状況	基幹相談支援センター及び障害者就業・生活支援センターと連携し、一般就労へ移行を希望される方に対して情報提供を行ったが、目標値には達しなかった。		
取組の評価・分析・課題	福祉施設入所中の方は、障害の程度が重度の方が多いため、一般就労に移行することが困難な場合が多い。また、当市には就労移行支援、就労定着支援事業を提供する事業所がないことも、就労移行が進まない要因となっていると思われる。		
今後の方向性(取組)	就労先の障がい者に対する理解や対応、一般就労を希望する障がい者の就労意欲の継続等、関係機関と連携し、障がい者に寄り添った相談支援や情報提供に努めていく。		

KPI(指標)/数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI(指標)の考え方等	
-----------------------	---	------------------------------	--

備考	
----	--

(令和5年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	88	種別	総合計画	担当部署	福祉課地域障がい福祉係
基本戦略/基本理念	基本理念2 お互いが尊敬し支えあう明るいまちづくり			施策	2-4 障がい者福祉の充実
KPI(指標)	3 福祉施設から就労継続支援A型・B型への移行者数				
KPI(指標)の考え方	目標値は厚生労働省による障害福祉計画に係る成果目標及び活動指標を踏まえ、A型については指標(1.26倍)どおりに、B型については前期基本計画期間内実績の平均(88人)を踏まえた目標とした				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	A型5人 B型88人	A型5人 B型88人	A型5人 B型88人	A型5人 B型88人	A型5人 B型88人
実績値	A型5人 B型101人	A型3人 B型84人	—	—	—

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗	B:概ね順調に推移	進捗・達成率(R4年度)	93.5%
取組の内容と達成状況	基幹相談支援センター及び障害者就業・生活支援センターと連携し、就労継続支援事業所へ移行を希望される方に対して相談支援や情報提供を行い、概ね目標値に近づいた。		
取組の評価・分析・課題	障害の特性により向き不向きがあったり、就労環境によって就労意欲が減退したりすることも考えられるため、個々の事情に合わせた相談支援や情報提供が重要であるとする。		
今後の方向性(取組)	引き続き、基幹相談支援センター及び障害者就業・生活支援センター、就労継続支援事業所と連携し、就労意欲の推進を図るとともに、障がい者と就労先との連携等フォロー体制の整備を図っていく。		

KPI(指標)/数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI(指標)の考え方等
-----------------------	---	------------------------------

備考	
----	--

(令和5年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	89	種別	総合計画	担当部署	福祉課地域障がい福祉係
基本戦略/基本理念	基本理念2 お互いが尊敬し支えあう明るいまちづくり			施策	2-4 障がい者福祉の充実
KPI(指標)	4 就労移行支援事業の利用者数【累計】				
KPI(指標)の考え方	厚生労働省による障害福祉計画に係る成果目標及び活動指標(現状の利用者数(2人)を確保)に準じた目標とした				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	6人	8人	10人	12人	14人
実績値	3人	3人	-	-	-

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗	C: 取組に努力を要する	進捗・達成率(R4年度)	37.5%
取組の内容と達成状況	市内に就労移行支援事業所が無いため、市外の事業所を利用せざるをえず利用者数は多くないが、基幹相談支援センター及び障害者就業・生活支援センター等の関係機関と連携し、相談支援や情報提供等の取り組みを行っているが、成果につながっていない。		
取組の評価・分析・課題	市内に就労移行支援事業所がないこと、市外の就労移行支援事業所を利用するには距離的に障壁のあることが、目標値に近づかない主な要因と考えられる。		
今後の方向性(取組)	引き続き、基幹相談支援センター及び障害者就業・生活支援センター等の関係機関と連携し、就労移行支援事業の相談支援や情報提供体制の充実を図っていく。		

KPI(指標)/数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI(指標)の考え方等
-----------------------	---	------------------------------

備考	
----	--

(令和5年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	90	種別	総合計画	担当部署	福祉課地域障がい福祉係
基本戦略/基本理念	基本理念2 お互いが尊敬し支えあう明るいまちづくり			施策	2-4 障がい者福祉の充実
KPI(指標)	5 公共施設バリアフリー率【累計】				
KPI(指標)の考え方	バリアフリー基準(最低6項目)に1項目で該当する可能性のある施設数(6)を目標とした				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	24.5%	25.7%	26.9%	28.1%	29.3%
実績値	24.7%	24.7%	—	—	—

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗	B:概ね順調に推移	進捗・達成率(R4年度)	96.1%
取組の内容と達成状況	公共施設のバリアフリー化には、施設改修を伴うものが含まれるが、概ね目標値に近づいた。		
取組の評価・分析・課題	既存施設は予算事情もあり、大きな改修には時間がかかるケースもあるが、新施設ではバリアフリー化が進んでいる。		
今後の方向性(取組)	障害の有無にかかわらず、全ての人が使いやすい施設の在り方を検討し、バリアフリー化を進めていく。		

KPI(指標)/数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI(指標)の考え方等	
-----------------------	---	------------------------------	--

備考	
----	--

(令和5年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	91	種別	総合計画	担当部署	生涯学習課世界遺産推進係
基本戦略/基本理念	基本理念 3 命のたいせつさを学び文化をはぐくむ豊かなまちづくり			施策	3-4 芸術・文化の継承と振興
KPI (指標)	1 伊勢堂岱遺跡を見学したことがある市民の割合				
KPI (指標) の考え方	世界遺産としての価値を知ってもらうために、前期同様 50.0%を目標とした				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	50.0%	50.0%	50.0%	50.0%	50.0%
実績値	31.9%	39.8%	—	—	—

◆担当部署による検証 (自己分析)

取組の進捗	B: 概ね順調に推移	進捗・達成率 (R4年度)	79.6%
取組の内容と達成状況	県をはじめ、観光関係の部署や機関、ボランティアと連携し、遺跡の魅力を発信するイベントを行ったこともあり、「見学したことがある」の割合を増加につなげることができたが、更なる努力が必要である。		
取組の評価・分析・課題	秋田県や関係機関との連携事業により、見学者が増加した。県外からの来訪者も増加しており、引き続き遺跡を訪れるきっかけになるような取組の継続が必要となる		
今後の方向性 (取組)	引き続き遺跡の学術的な価値の発信や、世界文化遺産としての知名度を向上するような事業を計画し、来訪者の増加を図る。		

KPI (指標) / 数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI (指標) の考え方等	
--------------------------	---	--------------------------------	--

備考	
----	--



(令和5年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	92	種別	総合計画	担当部署	生涯学習課世界遺産推進係
基本戦略/基本理念	基本理念 3 命のたいせつさを学び文化をはぐくむ豊かなまちづくり			施策	3-4 芸術・文化の継承と振興
KPI (指標)	2 伊勢堂岱遺跡に関する市のイベントや関連団体に参加するなど既に協力している市民の割合				
KPI (指標) の考え方	世界遺産を目指す伊勢堂岱遺跡に関して、市民の意識醸成を図る意味で現状値の倍以上の5.0%を目標とした				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	5.0%	5.0%	5.0%	5.0%	5.0%
実績値	2.5%	0.3%	—	—	—

◆担当部署による検証 (自己分析)

取組の進捗	C: 取組に努力を要する	進捗・達成率 (R4年度)	6.0%
取組の内容と達成状況	世界遺産登録1周年に関わる様々なイベントを実施したにもかかわらず、目標値には達しなかった。		
取組の評価・分析・課題	「機会があれば何か協力したい」が40%あり、この層が気軽にイベント等へ参加できるきっかけづくりを引き続き検討する。		
今後の方向性 (取組)	縄文まつりをはじめ様々なイベントについて、市民や縄文遺跡群の自治体等の関係団体と連携し、従来の方法にとらわれない新しい発想を持ち寄り、内容の充実を図る。		

KPI (指標) / 数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI (指標) の考え方等	
--------------------------	---	--------------------------------	--

備考	
----	--

(令和5年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	93	種別	総合計画	担当部署	生涯学習課世界遺産推進係
基本戦略/基本理念	基本理念 3 命のたいせつさを学び文化をはぐくむ豊かなまちづくり			施策	3-4 芸術・文化の継承と振興
KPI (指標)	3 伊勢堂岱遺跡のボランティアガイドを始めた人数				
KPI (指標) の考え方	新たにボランティアを始める人を年1人ずつ増やすことを目標とした				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	1人	2人	3人	4人	5人
実績値	0人	1人	—	—	—

◆担当部署による検証 (自己分析)

取組の進捗	B: 概ね順調に推移	進捗・達成率 (R4年度)	50.0%
取組の内容と達成状況	ワーキンググループと共同でイベントなどの様々な機会を利用し、新会員募集を行った結果、1名の新規加入があった。		
取組の評価・分析・課題	入会方法やガイドを行うまでの流れが不明確になっており、ボランティアガイドと話し合い、改善する必要がある。		
今後の方向性 (取組)	ボランティアガイドのHPやSNS等を立ちあげ、入会方法や活動内容を明確に周知できる場を作る。ガイドの養成方法を見直し、入会后安心して来訪者を案内できるような仕組みづくりを行う。		

KPI (指標) / 数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI (指標) の考え方等	
--------------------------	---	--------------------------------	--

備考	
----	--

(令和5年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	94	種別	総合計画	担当部署	生涯学習課文化係
基本戦略/基本理念	基本理念 3 命のたいせつさを学び文化をはぐくむ豊かなまちづくり			施策	3-4 芸術・文化の継承と振興
KPI (指標)	4 芸術や文化等のグループ活動に参加したことがある市民の割合				
KPI (指標) の考え方	芸術や文化に触れることで、市民の幸福度が向上し心豊かに暮らすことにつながるよう、8.0%を目標とした				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	8.0%	8.0%	8.0%	8.0%	8.0%
実績値	4.2%	4.1%	—	—	—

◆担当部署による検証 (自己分析)

取組の進捗	B: 概ね順調に推移	進捗・達成率 (R4年度)	51.3%
取組の内容と達成状況	芸術や文化などのグループ活動に参加したことがあると答えた割合が4.1%と感染症流行前の4.6%に近づいてきた。感染症収束の傾向が見受けられたことから、芸術文化活動を再開する動きが出ている。		
取組の評価・分析・課題	感染症流行の推移を見守りながら、市文化祭を3年ぶりに開催し、各団体の会員が集い活発に活動したことで、芸術文化を広く周知することができた。一方で、感染症流行前の出演団体数や出展団体数に比べると少ないのが課題である。		
今後の方向性 (取組)	市文化祭の演示部門、展示文門ともコロナ禍前の出演団体数や観客数に戻すため、活動再開した団体への声掛けや他団体らの情報収集に努めて、活動再開まで導くよう検討したい。		

KPI (指標) / 数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI (指標) の考え方等	
--------------------------	---	--------------------------------	--

備考	
----	--

(令和5年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	95	種別	総合計画	担当部署	生涯学習課文化係
基本戦略/基本理念	基本理念 3 命のたいせつさを学び文化をはぐくむ豊かなまちづくり			施策	3-4 芸術・文化の継承と振興
KPI (指標)	5 市内にある文化財を5つ以上、知っている市民の割合				
KPI (指標) の考え方	地域にある文化財を知ることによってその価値を知るきっかけとなり、地域の宝として継承することにつながるよう、概ね2世帯1人を目安の6,998人とし、全人口の概ね20.0%を目標とした				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	20.0%	55.0%	57.5%	60.0%	62.5%
実績値	52.9%	56.3%	—	—	—

◆担当部署による検証 (自己分析)

取組の進捗	A: 目標を達成	進捗・達成率 (R4年度)	102.4%
取組の内容と達成状況	「5つ以上知っている」と答えた割合が56.3%と最も高く、次に「1つ以上は知っているが5つは知らない」が39.8%となっている。過去の調査と比較すると、「5つ以上知っている」と答えた割合は、徐々に上昇しており、今回の調査では過去3年間で最高となった。		
取組の評価・分析・課題	令和4年度、市文化財審議会が答申し、市指定文化財となった「長崎七左衛門肖像画」。一つの掛け軸内に自身が書いた書と自身の肖像画を描いた作品は貴重なもの。また、文化財の確認については、感染症の影響であまり巡回することができなかった。		
今後の方向性 (取組)	市指定の文化財は95 (R5.3.31現在) があるが、市内の各地域や個人所有の未指定文化財が数多くある。市文化財審議会において、各地域にある未指定文化財の調査研究に取り組み、新たな指定を目指したい。		

KPI (指標) / 数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI (指標) の考え方等	
--------------------------	---	--------------------------------	--

備考	
----	--

(令和5年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	96	種別	総合計画	担当部署	生涯学習課文化係
基本戦略/基本理念	基本理念 3 命のたいせつさを学び文化をはぐくむ豊かなまちづくり			施策	3-4 芸術・文化の継承と振興
KPI (指標)	6 祭りや伝統芸能等の地域行事に参加したことがある市民の割合				
KPI (指標) の考え方	祭りや伝統芸能等の地域行事に参加することで、祭りや伝統芸能等の保存継承につながるよう、35.0%を目標とした				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	35.0%	35.0%	35.0%	35.0%	35.0%
実績値	16.2%	18.3%	—	—	—

◆担当部署による検証 (自己分析)

取組の進捗	B: 概ね順調に推移	進捗・達成率 (R4年度)	52.3%
取組の内容と達成状況	祭や伝統芸能などに参加したことがある割合は 18.3%となっており、感染症流行前の令和元年度は 30.2%となっている。		
取組の評価・分析・課題	民俗芸能大会を開催し、市内の各地域に伝わる伝統芸能を市民に提供した。加えて、各演技の記録映像を撮影し、芸能の保存と継承に努めた。		
今後の方向性 (取組)	コロナ禍で活動を中止している団体が多い。少子化等により、継承する子どもが少なくなっていることが主な原因と認識しているが、有効な解決策を持ち合わせていない。		

KPI (指標) / 数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI (指標) の考え方等	
--------------------------	---	--------------------------------	--

備考	
----	--

(令和5年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	97	種別	総合計画	担当部署	生涯学習課文化係
基本戦略/基本理念	基本理念 3 命のたいせつさを学び文化をはぐくむ豊かなまちづくり			施策	3-4 芸術・文化の継承と振興
KPI (指標)	7 市内に限らず、年1回以上芸術文化を鑑賞した市民の割合				
KPI (指標) の考え方	芸術文化を鑑賞することで、市民の幸福度が向上し心豊かに暮らすこと、また鑑賞の場の提供の在り方等の評価につながるよう、概ね2世帯1人を目安の6,998人とし、全人口の概ね20.0%を目標とした				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	20.0%	38.0%	40.0%	42.0%	44.0%
実績値	36.0%	44.0%	—	—	—

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗	A: 目標を達成	進捗・達成率 (R4年度)	115.8%
取組の内容と達成状況	「鑑賞しなかった」と答えた割合が54.5%であり、「鑑賞した」と答えた割合44.0%よりも高くなっている。過去の調査でも同様の傾向が見受けられるが、その差は年々縮まっている。		
取組の評価・分析・課題	感染症の収束傾向が見受けられた令和4年度の後半には、12月以降に実施された演奏会やコンサートではホールが満員になるなど、芸能文化のイベント待っている市民がいることが分かった。市民が鑑賞したいと思う作品選定に努めたい。		
今後の方向性(取組)	数値目標は達成しているが、少なくとも市民の半数には、芸術文化に触れる機会を創出できるようにしたい。文化会館自主事業の内容充実、民俗芸能大会、市文化祭、浜辺の歌音楽祭等を継続し、さらに工夫を重ねたい。		

KPI (指標) / 数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI (指標) の考え方等	
--------------------------	---	--------------------------------	--

備考	
----	--

(令和5年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	98	種別	総合計画	担当部署	スポーツ振興課スポーツ係
基本戦略/基本理念	基本理念 3 命のたいせつさを学び文化をはぐくむ豊かなまちづくり			施策	3-5 スポーツの振興
KPI (指標)	1 運動・スポーツに対する満足度				
KPI (指標) の考え方	少子化・人口減少が見込まれる中だが、市民意識調査における現状値以上を目標値とした				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	70.0%	70.0%	70.0%	70.0%	70.0%
実績値	57.0%	59.1%	—	—	—

◆担当部署による検証 (自己分析)

取組の進捗	C: 取組に努力を要する	進捗・達成率 (R4年度)	84.4%
取組の内容と達成状況	既存スポーツ施設の維持管理、用器具等の整備を図り、市民のスポーツ実施機会の拡充に努めた。		
取組の評価・分析・課題	スポーツ施設の維持管理を実施し、スポーツ実施機会を増やすためのスポーツ教室、大会等を開催。市民が身近な地域でそれぞれの志向、レベルにあわせてスポーツを楽しむことができるよう、スポーツ団体、総合型スポーツクラブ等との連携を深め、スポーツを通じた地域づくりを図る。		
今後の方向性 (取組)	スポーツを通じた健康増進や健康づくりのための運動などへの関心は高まっており、スポーツを習慣的に実施するための施設、機会の充実がさらに求められている。生活の中にスポーツが取り込まれている環境作りに向け、関係機関、団体、企業等との連携を深める。		

KPI (指標) / 数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI (指標) の考え方等	
--------------------------	---	--------------------------------	--

備考	※スポーツ推進に関する市民意識調査 (スポ振独自) 調査対象: 市内の満18歳以上の男女 対象者数: 1,400人
----	--

(令和5年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	99	種別	総合計画	担当部署	スポーツ振興課スポーツ係
基本戦略/基本理念	基本理念 3 命のたいせつさを学び文化をはぐくむ豊かなまちづくり			施策	3-5 スポーツの振興
KPI (指標)	2 週1回以上運動・スポーツをする市民の割合				
KPI (指標) の考え方	県の目標値は週1回以上 65.0%となっているが、市民意識調査における本市の特性を踏まえ、50.0%を目標とした				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	50.0%	50.0%	50.0%	50.0%	50.0%
実績値	39.6%	42.5%	—	—	—

◆担当部署による検証 (自己分析)

取組の進捗	C: 取組に努力を要する	進捗・達成率 (R4年度)	85.0%
取組の内容と達成状況	既存スポーツ施設の維持管理、用器具等の整備を図り、市民のスポーツ実施機会の拡充に努めた。		
取組の評価・分析・課題	スポーツ施設の維持管理を実施し、スポーツ実施機会を増やすためのスポーツ教室、大会等を開催。市民が身近な地域でそれぞれの志向、レベルにあわせてスポーツを楽しむことができるよう、スポーツ団体、総合型スポーツクラブ等との連携を深め、スポーツを通じた地域づくりを図る。		
今後の方向性 (取組)	スポーツを通じた健康増進や健康づくりのための運動などへの関心は高まっており、スポーツを習慣的に実施するための施設、機会の充実がさらに求められている。生活の中にスポーツが取り込まれている環境作りに向け、関係機関、団体、企業等との連携を深める。		

KPI (指標) / 数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI (指標) の考え方等	
--------------------------	---	--------------------------------	--

備考	※スポーツ推進に関する市民意識調査 (スポ振独自) 調査対象: 市内の満18歳以上の男女 対象者数: 1,400人
----	--



(令和5年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	100	種別	総合計画	担当部署	スポーツ振興課スポーツ係
基本戦略/基本理念	基本理念 3 命のたいせつさを学び文化をはぐくむ豊かなまちづくり			施策	3-5 スポーツの振興
KPI (指標)	3 スポーツ・文化活動等に係る合宿誘致数【単年】				
KPI (指標) の考え方	補助事業の活用を広く周知することで、現状値以上を目標値とした				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	延べ500名5団体	延べ500名5団体	延べ500名5団体	延べ500名5団体	延べ500名5団体
実績値	0名0団体	0名0団体	—	—	—

◆担当部署による検証 (自己分析)

取組の進捗	C: 取組に努力を要する	進捗・達成率 (R4年度)	0.0%
取組の内容と達成状況	コロナの影響により、合宿等の計画中止となり、2年連続の実績なしとなったが、引き続き実績のある企業、大学等への誘致を図った。		
取組の評価・分析・課題	これまで同様に当市での合宿実績のある企業・団体等とへの対応となった。当市の合宿誘致に係る状況から、大きな誘致は困難であると考えますが、実績のある企業・団体等からの要望、課題等を分析し今後の誘致継続、新規誘致に努める。		
今後の方向性 (取組)	当市のスポーツ施設、宿泊施設等をPRしながら、新規合宿誘致、継続に向けた取り組みを図る。		

KPI (指標) / 数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI (指標) の考え方等	
--------------------------	---	--------------------------------	--

備考	
----	--

(令和5年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	101	種別	総合計画	担当部署	生活課環境係
基本戦略/基本理念	基本理念4 自然を愛し環境をととのえる美しいまちづくり			施策	4-1 ごみの減量化推進と適正な処理
KPI(指標)	1 家庭ごみ1日1人あたりの排出量				
KPI(指標)の考え方	平成26年度と令和元年度の家庭ごみ総排出量を比較し、その増減率から目標値を設定した				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	642.8g/人・日	642.8g/人・日	642.8g/人・日	642.8g/人・日	642.8g/人・日
実績値	689g/人・日	705.7g/人・日	—	—	—

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗	C: 取組に努力を要する	進捗・達成率(R4年度)	91.1%
取組の内容と達成状況	出前講座のほか、広報誌等でリサイクル及びごみ減量化の重要性(3Rの推進)について周知を図った。		
取組の評価・分析・課題	人口減少に伴い、家庭から収集されるごみは減少傾向であるが、一方で直接搬入される片付けごみが増加しており、1日1人あたりの排出量は増加している。		
今後の方向性(取組)	市民1人1人のごみ減量に対する自覚を促すため、市広報等や出前講座等を活用して3Rの推奨や食品ロスの削減に向けた啓発活動を図る。		

KPI(指標)/数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI(指標)の考え方等	
-----------------------	---	------------------------------	--

備考	
----	--

(令和5年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	102	種別	総合計画	担当部署	生活課環境係
基本戦略/基本理念	基本理念4 自然を愛し環境をととのえる美しいまちづくり			施策	4-1 ごみの減量化推進と適正な処理
KPI(指標)	2 総資源化率(リサイクル率)				
KPI(指標)の考え方	一般廃棄物処理基本計画に掲げた目標値とした				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	15.4%	15.7%	18.6%	21.5%	24.6%
実績値	15.1%	15.8%	—	—	—

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗	A: 目標を達成	進捗・達成率(R4年度)	100.6%
取組の内容と達成状況	出前講座のほか、広報誌等でリサイクル及びごみ減量化の重要性(3Rの推進)について周知を図った。また、古着等のイベント回収を行い、可燃ごみの減量と市民意識の啓発を行った。		
取組の評価・分析・課題	資源ごみを可燃ごみとして廃棄する割合が高く、また、スーパー等でも資源回収を行っており、資源ごみの回収が進まない。		
今後の方向性(取組)	市広報およびHP、出前講座等を活用し、市民に対し資源ごみの分別徹底を図り、リサイクル率の向上を推進する。また、古着等のイベント回収を実施し、可燃及び不燃ごみの排出抑制を図る。		

KPI(指標)/数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI(指標)の考え方等	
-----------------------	---	------------------------------	--

備考	
----	--

(令和5年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	103	種別	総合計画	担当部署	生活課環境係
基本戦略/基本理念	基本理念4 自然を愛し環境をととのえる美しいまちづくり			施策	4-1 ごみの減量化推進と適正な処理
KPI(指標)	3 不法投棄件数				
KPI(指標)の考え方	ここ数年のうち最も少なかった件数を目標値とした				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	40件	40件	40件	40件	40件
実績値	112件	115件	—	—	—

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗	C: 取組に努力を要する	進捗・達成率(R4年度)	34.8%
取組の内容と達成状況	注意喚起の看板設置や監視員の巡回等で不法投棄の抑制を図った。		
取組の評価・分析・課題	巡回件数の増加により監視は強化され、不法投棄の発見件数は増加したが、不法投棄の件数抑制には至っていない。		
今後の方向性(取組)	市広報およびHP、出前講座等を活用し、市民に対する不法投棄防止の周知・啓発を行うほか、秋田県と連携して監視カメラを設置するなど、監視体制の強化を進める。		

KPI(指標)/数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI(指標)の考え方等	
-----------------------	---	------------------------------	--

備考	
----	--

(令和5年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	104	種別	総合計画	担当部署	生活課環境係
基本戦略/基本理念	基本理念4 自然を愛し環境をととのえる美しいまちづくり			施策	4-1 ごみの減量化推進と適正な処理
KPI(指標)	4 クリーンアップ活動に参加している延べ人数の割合				
KPI(指標)の考え方	ここ数年で最も多い参加人数が現状維持となるよう目標を設定した				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	32.7%	32.7%	32.7%	32.7%	32.7%
実績値	27.6%	30.3%	—	—	—

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗	B: 概ね順調に推移	進捗・達成率(R4年度)	92.7%
取組の内容と達成状況	各自治会・町内会の協力のもと、安全に行うことができた。		
取組の評価・分析・課題	恒例の事業となっており、環境美化活動に対する市民の参加は見られたが、10~30代の若い世代の参加が少ないことや高齢化により目標の達成に至っていない。		
今後の方向性(取組)	これまで同様、関係各位の連携のもと、環境美化に対する理解と意識の高揚を図り、市民の参加率向上を推進する。また、学校教育等を通じた啓発活動を図る。		

KPI(指標)/数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI(指標)の考え方等	
-----------------------	---	------------------------------	--

備考	
----	--

(令和5年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	105	種別	総合計画	担当部署	生活課環境係
基本戦略/基本理念	基本理念4 自然を愛し環境をととのえる美しいまちづくり			施策	4-2 地球温暖化対策の推進
KPI(指標)	1 地球温暖化防止につながる取組をしている市民の割合(冷暖房の温度設定の調整)				
KPI(指標)の考え方	市民意識調査において最も意識の高かった節電・節水の水準に達することを目標とした				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	60.9%	60.9%	60.9%	60.9%	60.9%
実績値	52.2%	55.0%	—	—	—

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗	B: 概ね順調に推移	進捗・達成率(R4年度)	90.3%
取組の内容と達成状況	広報に「環境コラム」を掲載し、市民の環境問題に対する意識啓蒙を図った。		
取組の評価・分析・課題	環境問題に対する市民の意識啓蒙が図られた。		
今後の方向性(取組)	今後も継続してイベントや出前講座等を活用し、脱炭素に向けた行動を日々の生活に取り入れるよう、市民意識の啓蒙を図る。		

KPI(指標)/数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI(指標)の考え方等	
-----------------------	---	------------------------------	--

備考	
----	--

(令和5年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	106	種別	総合計画	担当部署	生活課環境係
基本戦略/基本理念	基本理念4 自然を愛し環境をととのえる美しいまちづくり			施策	4-2 地球温暖化対策の推進
KPI(指標)	2 公共施設(市直営施設)におけるCO2排出量				
KPI(指標)の考え方	北秋田市地球温暖化防止実行計画の目標に参照し、年間1.0%削減を目標とした				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	12,796t-CO2	12,664t-CO2	12,532t-CO2	12,400t-CO2	12,268t-CO2
実績値	10,895t-CO2	11,039t-CO2	—	—	—

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗	A: 目標を達成	進捗・達成率(R4年度)	114.7%
取組の内容と達成状況	公共施設における節水の徹底や冷暖房での適切な温度管理等を図った。		
取組の評価・分析・課題	全庁的に環境問題に対する取り組みが図られた。		
今後の方向性(取組)	今後も各公共施設において節電や節水等に努め、効率的な施設運用に取り組む。また、公用車の運転時には、エコドライブをはじめとする燃費向上についての取り組みを引き続き行う。		

KPI(指標)/数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI(指標)の考え方等	
-----------------------	---	------------------------------	--

備考	
----	--

(令和5年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	107	種別	総合計画	担当部署	建設課工務係
基本戦略/基本理念	基本理念4 自然を愛し環境をととのえる美しいまちづくり			施策	4-3 道路網の充実
KPI(指標)	1 市道の改良率【累計】				
KPI(指標)の考え方	過去数年の実績傾向が令和7年度まで続くと考え、目標を設定した ※全道路延長に対する改良済道路総延長の比率				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	78.8%	79.1%	79.4%	79.7%	80.0%
実績値	78.2%	78.2%	—	—	—

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗	C: 取組に努力を要する	進捗・達成率(R4年度)	98.9%
取組の内容と達成状況	改良工事の実施は無かったため、目標は達成できなかった。		
取組の評価・分析・課題	限られた財源の中、供用中路線の維持・修繕を優先したことから、未供用路線の新設改良の実施までは至らなかった。		
今後の方向性(取組)	道路新設の必要性が高い路線(地域間道路など)や緊急性・費用対効果が低い路線など、社会情勢の変化も勘案し実施路線を見極めながら取り組んでいく。		

KPI(指標)/数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI(指標)の考え方等	
-----------------------	---	------------------------------	--

備考	
----	--



(令和5年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	108	種別	総合計画	担当部署	建設課工務係
基本戦略/基本理念	基本理念4 自然を愛し環境をととのえる美しいまちづくり			施策	4-3 道路網の充実
KPI(指標)	2 市道の舗装率【累計】				
KPI(指標)の考え方	過去数年の実績傾向が令和7年度まで続くと考え、目標を設定した ※全道路延長に対する舗装済道路総延長の比率				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	72.7%	73.3%	73.8%	74.4%	75.0%
実績値	71.6%	71.7%	—	—	—

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗	C: 取組に努力を要する	進捗・達成率(R4年度)	97.8%
取組の内容と達成状況	舗装新設工事の実施は無かったため、目標は達成できなかった。		
取組の評価・分析・課題	限られた財源の中、自治会要望があった供用中路線の舗装修繕を優先したことから、未舗装路線の実施までは至らなかった。		
今後の方向性(取組)	舗装の必要性が高い路線(生活道路など)や緊急性・費用対効果が低い路線など、社会情勢の変化も勘案し実施路線を見極めながら取り組んでいく。		

KPI(指標)/数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI(指標)の考え方等
-----------------------	---	------------------------------

備考	
----	--

(令和5年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	109	種別	総合計画	担当部署	建設課工務係
基本戦略/基本理念	基本理念4 自然を愛し環境をととのえる美しいまちづくり			施策	4-3 道路網の充実
KPI(指標)	3 緊急度が高い道路の舗装改良率【累計】				
KPI(指標)の考え方	過去数年の実績傾向が令和7年度まで続くと考え、目標を設定した ※平成25年度に実施した路面性状調査における緊急度が高い道路延長に対する改良率				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	77.9%	79.8%	81.7%	83.6%	85.5%
実績値	75.1%	75.7%	—	—	—

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗	C: 取組に努力を要する	進捗・達成率(R4年度)	94.9%
取組の内容と達成状況	281mの舗装改良工事を実施したが、目標は達成できなかった。		
取組の評価・分析・課題	国庫交付金を活用し事業を推進しているが、国費の配分が少なかったことから、実績値の伸びが少なくなっている。		
今後の方向性(取組)	国庫交付金事業以外での財源確保を模索しながら、目標達成に向け取り組む。また、路面状況の変化について監視を継続し、道路交通に支障をきたすことが無いよう、優先順位や実施時期を適宜見極めながら取り組んでいく。		

KPI(指標)/数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI(指標)の考え方等	
-----------------------	---	------------------------------	--

備考	
----	--

(令和5年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	110	種別	総合計画	担当部署	建設課工務係
基本戦略/基本理念	基本理念4 自然を愛し環境をととのえる美しいまちづくり			施策	4-3 道路網の充実
KPI(指標)	4 早期措置段階の橋梁補修数【累計】				
KPI(指標)の考え方	過去数年の実績傾向が令和7年度まで続くと考え、目標を設定した ※北秋田市橋梁長寿命化修繕計画に基づき健全度「Ⅲ」:早期措置段階・「Ⅳ」:緊急措置段階・「跨線橋・跨道橋」の早期と判定された橋梁104橋				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	9橋	17橋	24橋	33橋	37橋
実績値	9橋	13橋	—	—	—

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗	C:取組に努力を要する	進捗・達成率(R4年度)	76.5%
取組の内容と達成状況	4橋の補修工事を実施したが、目標は達成できなかった。		
取組の評価・分析・課題	国庫補助金事業を活用し事業を推進しているが、国費の配分が少なかったことから、実績値の伸びが少なくなっている。		
今後の方向性(取組)	膨大な費用を伴う取り組みであるため、国庫補助事業への依存度が高い。近年は補助金の配分低迷から目標達成は困難な状況であるが、財源確保に努めながら限られた予算の中で緊急度等の高い橋梁から優先的に取り組んでいく。		

KPI(指標)/数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI(指標)の考え方等	
-----------------------	---	------------------------------	--

備考	
----	--

(令和5年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	111	種別	総合計画	担当部署	都市計画課下水道係
基本戦略/基本理念	基本理念4 自然を愛し環境をととのえる美しいまちづくり			施策	4-6 下水道等の整備
KPI(指標)	1 水洗化率【累計】				
KPI(指標)の考え方	県及び市の「生活排水処理整備構想」の見込みから目標値を設定した				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	87.1%	88.8%	90.4%	92.0%	93.7%
実績値	80.3%	80.7%	—	—	—

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗	C: 取組に努力を要する	進捗・達成率(R4年度)	90.9%
取組の内容と達成状況	鷹巣処理区北部の整備と、未加入世帯への加入促進に対する周知啓発に取り組んだ。また、農集 上杉処理区及び下杉処理区を、公共下水道米内沢処理場へ接続整備した。(R5.4.1 供用開始)		
取組の評価・分析・課題	人口減少問題や高齢世帯の増加など、目標値達成は厳しいものの、未整備地区の着実な整備と未加入世帯への丁寧な周知啓発を進めながら、水洗化率の向上に努める。		
今後の方向性(取組)	高齢者世帯の増加や経済的事情もあるが、供用対象区域の未加入世帯に対して、ダイレクトメールの送付等、新たな取り組みの展開を図る。また、「生活排水処理整備構想」における農集の統廃合について、今後更新に伴う整備を考慮した場合、コスト的にも現実的ではない部分が大いいため、計画の見直しを図る。		

KPI(指標)/数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI(指標)の考え方等	
-----------------------	---	------------------------------	--

備考	
----	--

(令和5年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	112	種別	総合計画	担当部署	都市計画課下水道係
基本戦略/基本理念	基本理念4 自然を愛し環境をととのえる美しいまちづくり			施策	4-6 下水道等の整備
KPI(指標)	2 経費回収率				
KPI(指標)の考え方	公共下水道・農業集落排水・特定地域生活排水処理の各事業経営戦略目標値等をもとに設定した				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	90.0%	90.0%	90.0%	90.0%	90.0%
実績値	90.9%	85.4%	—	—	—

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗	C: 取組に努力を要する	進捗・達成率(R4年度)	94.9%
取組の内容と達成状況	処理場の施設設備の計画的な修繕や、維持管理費の経費削減を徹底する等、経費回収率の向上に努めた。		
取組の評価・分析・課題	人口減少傾向にある中、老朽施設、設備等の維持管理に対応しているが、汚水処理費用に対し、使用料収入が不足する状況が続くなど、健全な事業運営であるといえない。また、事業ごとの経費回収率も偏りがあり公平性に欠ける等、課題も多い。		
今後の方向性(取組)	事業の健全運営のため、統一していない使用料体系、適正な使用料設定について、審議委員会等を開催しながら、協議、検討に取り組んでいく。市民への周知についても広く理解を求めるよう努める。		

KPI(指標)/数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI(指標)の考え方等
-----------------------	---	------------------------------

備考	
----	--

(令和5年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	113	種別	総合計画	担当部署	都市計画課下水道係
基本戦略/基本理念	基本理念4 自然を愛し環境をととのえる美しいまちづくり			施策	4-6 下水道等の整備
KPI(指標)	3 合併処理浄化槽設置基数【累計】				
KPI(指標)の考え方	「北秋田市地域循環型社会形成推進地域計画」で掲げる設置予定基数(30基/年)を目標値とした				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	1,124基	1,154基	1,184基	1,214基	1,244基
実績値	1,090基	1,093基	—	—	—

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗	C: 取組に努力を要する	進捗・達成率(R4年度)	94.7%
取組の内容と達成状況	住宅リフォーム補助など他事業の設置工事助成に併せて、嵩上げ補助の実施等、成果向上への取り組みを進めた。		
取組の評価・分析・課題	単身・高齢世帯の増加や、下水道整備区域外の家屋新改築件数の減少により、想定した設置基数を大きく下回っている。		
今後の方向性(取組)	下水道整備区域外の未設置世帯に対し、周知啓発に努める。また、国や県の補助事業や他事業の助成を広く周知して、設置基数増加へPRしていく。		

KPI(指標)/数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI(指標)の考え方等	
-----------------------	---	------------------------------	--

備考	
----	--

(令和5年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	114	種別	総合計画	担当部署	水道課管理係
基本戦略/基本理念	基本理念4 自然を愛し環境をととのえる美しいまちづくり			施策	4-7 上水道・簡易水道の整備
KPI(指標)	1 有収率				
KPI(指標)の考え方	計画的に漏水調査及び管路更新に長期的に取り組む中で、通過点としての目標値を設定した				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	75.0%	75.0%	75.0%	75.0%	75.0%
実績値	71.2%	70.5%	—	—	—

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗	C: 取組に努力を要する	進捗・達成率(R4年度)	94.0%
取組の内容と達成状況	専門業者への委託に加え、独自の夜間配水量調査にも取り組んだが、1月の寒波による阿仁合地区での長期漏水もあり、前年度よりも実績を下回る結果となった。		
取組の評価・分析・課題	3ヵ年契約の初年度である令和4年度は、専門業者による漏水調査期間が短くなり、再調査や復元漏水調査までの実施が困難であった。		
今後の方向性(取組)	令和5年度からは、3ヵ年契約の利点を生かし、漏水調査期間が増すことで、再調査や復元漏水、分析、予測などについて、効率的かつ効果的に取り組む。		

KPI(指標)/数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI(指標)の考え方等	
-----------------------	---	------------------------------	--

備考	
----	--

(令和5年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	115	種別	総合計画	担当部署	水道課経営係
基本戦略/基本理念	基本理念4 自然を愛し環境をととのえる美しいまちづくり			施策	4-7 上水道・簡易水道の整備
KPI(指標)	2 収納率				
KPI(指標)の考え方	類似団体の水準を目標値として設定した				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	99.0%	99.5%	99.5%	99.5%	99.5%
実績値	99.5%	99.5%	—	—	—

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗	B:概ね順調に推移	進捗・達成率(R4年度)	100.0%
取組の内容と達成状況	令和2年度より徴収業務を民間委託し、同時にコンビニ収納やスマホ収納を拡充しており、引き続き目標値を達成した。		
取組の評価・分析・課題	民間のノウハウを用い納付勧奨を効果的に行うことで自主的な納付につながっている。また、コンビニ納付等の普及により納付機会が増加している。		
今後の方向性(取組)	現在の取り組みを継続し、新たな未納を発生させないよう積極的な納付勧奨に取り組む。		

KPI(指標)/数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI(指標)の考え方等	
-----------------------	---	------------------------------	--

備考	
----	--



(令和5年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	116	種別	総合計画	担当部署	消防本部
基本戦略/基本理念	基本理念5 みんなで力をあわせる住みよいまちづくり			施策	5-2 消防・救急体制の充実
KPI(指標)	1 救命講習を受講したことがある市民の割合				
KPI(指標)の考え方	令和元年中、救急で心肺停止状態に陥った方に対し、その場に居合わせた方による応急手当が施された割合は約56.0%であり、救命講習受講者を継続的に増やすことで応急手当の実施率が高くなり、救命率の向上も期待されることから目標値を60.0%とした				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	60.0%	60.0%	60.0%	60.0%	60.0%
実績値	53.6%	58.4%	—	—	—

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗	B:概ね順調に推移	進捗・達成率(R4年度)	97.3%
取組の内容と達成状況	新型コロナウイルス感染症が落ち着き、徐々に講習会を開催できるようになってきているので、この調子で目標達成に繋げていきたい。		
取組の評価・分析・課題	毎年2,000人の参加を目標にしているが、コロナ禍もあり目標達成が厳しい状況にある。		
今後の方向性(取組)	救命率を上げるためには市民による一次救命処置が重要であるため、今後も講習会等で市民教育を実施する。		

KPI(指標)/数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI(指標)の考え方等	
-----------------------	---	------------------------------	--

備考	
----	--

(令和5年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	117	種別	総合計画	担当部署	消防本部
基本戦略/基本理念	基本理念5 みんなで力をあわせる住みよいまちづくり			施策	5-2 消防・救急体制の充実
KPI(指標)	2 住宅用火災警報器の設置率				
KPI(指標)の考え方	総務省消防庁による住宅用火災警報器設置状況調査(無作為抽出)の設置率を基準に、目標値を95.0%とした				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	95.0%	95.0%	95.0%	95.0%	95.0%
実績値	89.6%	82.4%	—	—	—

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗	B: 概ね順調に推移	進捗・達成率(R4年度)	86.7%
取組の内容と達成状況	設置促進及び維持管理の啓発を継続している。また、無線連動型住宅用火災警報器の購入に対する補助事業を行っている。概ね順調に推移している。		
取組の評価・分析・課題	街頭及び紙面による広報や、防災講話などで啓発活動を実施、補助事業を継続しながら未設置及び設置から10年以上経過した機器の交換に努める。		
今後の方向性(取組)	高齢者世帯などを重点に、関係機関と連携し設置率の向上を目指す。		

KPI(指標)/数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI(指標)の考え方等	
-----------------------	---	------------------------------	--

備考	
----	--

(令和5年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	118	種別	総合計画	担当部署	消防本部
基本戦略/基本理念	基本理念5 みんなで力をあわせる住みよいまちづくり			施策	5-2 消防・救急体制の充実
KPI(指標)	3 救急救命士数				
KPI(指標)の考え方	救急車1台につき救急救命士6人の配置が必要であることから、実動人員30人を目標値とした。(現保有台数:5台)				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	30人	30人	30人	30人	30人
実績値	26人	27人	—	—	—

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗	B:概ね順調に推移	進捗・達成率(R4年度)	90.0%
取組の内容と達成状況	新規1名が救急救命士国家試験に合格し、運用開始している。		
取組の評価・分析・課題	現在の有資格者のうち実働救急救命士は27名。実動人員30名を目標に今後も養成に努める。		
今後の方向性(取組)	全ての救急事案に救急救命士が搭乗するためには、30名の実動人員が必要であり、今後も救急救命士の養成を継続する。		

KPI(指標)/数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI(指標)の考え方等	
-----------------------	---	------------------------------	--

備考	
----	--

(令和5年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	119	種別	総合計画	担当部署	消防本部
基本戦略/基本理念	基本理念5 みんなで力をあわせる住みよいまちづくり			施策	5-2 消防・救急体制の充実
KPI(指標)	4 消防団充足率				
KPI(指標)の考え方	基本消防団員と機能別消防団員の確保に努め、条例定員の90.0%を目標値とした。(定員670人)				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	90.0%	90.0%	90.0%	90.0%	90.0%
実績値	93.8%	90.0%	—	—	—

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗	A: 目標を達成	進捗・達成率(R4年度)	100.0%
取組の内容と達成状況	消防団員の待遇改善を図り、また、広報媒体などを活用した入団促進を行ったが、高齢化の影響もあり、退団者数が多く、入団数が少ない状況となった。年度末現在、目標値を保っているが、次年度以降は厳しい状況。		
取組の評価・分析・課題	消防団員募集に関する周知は出来ているが、団員の加入促進にはつながっていない。消防団の活動に関する事や、消防団の必要性を周知し、加入促進につながる情報発信を進めていく必要がある。消防団に対する理解をどう進めていくかが課題。		
今後の方向性(取組)	消防団協力事業所や地元企業などと連携を進め、地元の消防団員による入団促進活動が必要。消防本部としても消防団の魅力ややりがい等を発信し、団員の入団促進を図り、活力と魅力ある消防団を目指す。		

KPI(指標)/数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI(指標)の考え方等
-----------------------	---	------------------------------

備考	
----	--

(令和5年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	120	種別	総合計画	担当部署	消防本部
基本戦略/基本理念	基本理念5 みんなで力をあわせる住みよいまちづくり			施策	5-2 消防・救急体制の充実
KPI(指標)	5 消防団協力事業所数【累計】				
KPI(指標)の考え方	全消防団員の約7割が被雇用者であることから、事業所の消防団活動に対する理解と協力が必要となっているため、「消防団協力事業所表示制度」を推進し、毎年1事業所以上の登録を目標とした				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	6事業所	7事業所	8事業所	9事業所	10事業所
実績値	8事業所	9事業所	—	—	—

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗	A: 目標を達成	進捗・達成率(R4年度)	128.6%
取組の内容と達成状況	消防団員が複数所属している事業所に対し、理解と協力を求め、「消防団協力事業所」として新たに1事業所が登録となり、4事業所が登録を更新したことにより9事業所が登録している状況となった。		
取組の評価・分析・課題	市内の各事業所への協力依頼や、所属団員を通じて促進を図るなどして、登録事業所が少しずつ増えている。しかし、団員数の減少は続く一方であり、団員の加入促進につなげる取組を検討する必要がある。		
今後の方向性(取組)	団員自身が就労する事業所や関係する事業所への協力を図るなど、1つでも多くの事業所に登録してもらえるよう要請する。消防団幹部にも協力を仰ぎ、広報資料等を持参し、直接事業所を回る。		

KPI(指標)/数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI(指標)の考え方等	
-----------------------	---	------------------------------	--

備考	
----	--

(令和5年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	121	種別	総合計画	担当部署	生活課地域推進係
基本戦略/基本理念	基本理念5 みんなで力をあわせる住みよいまちづくり			施策	5-3 交通安全の推進・防犯体制の強化
KPI(指標)	1 交通指導隊・防犯指導隊員数【累計】				
KPI(指標)の考え方	隊員の減少傾向が続いているため、前期計画策定時の隊員数を目標値として設定した				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	80人	80人	80人	80人	80人
実績値	63人	63人	—	—	—

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗	C: 取組に努力を要する	進捗・達成率(R4年度)	78.8%
取組の内容と達成状況	現役指導員の推薦・紹介を受け新入隊員の勧誘を行い、防犯指導員について新年度からの新隊員を獲得。		
取組の評価・分析・課題	毎年勧誘を行っているが、年齢等を理由とした退職が続いている状態となっている。		
今後の方向性(取組)	現役指導員の推薦・紹介による新入隊員の勧誘の他、広報等による募集を検討する。また、引き続き報酬改定や定員の見直しを検討する。		

KPI(指標)/数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI(指標)の考え方等	
-----------------------	---	------------------------------	--

備考	
----	--

(令和5年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	122	種別	総合計画	担当部署	生活課地域推進係
基本戦略/基本理念	基本理念5 みんなで力をあわせる住みよいまちづくり			施策	5-3 交通安全の推進・防犯体制の強化
KPI(指標)	2年間の交通事故件数(人身事故件数)				
KPI(指標)の考え方	直近5年間の平均値をもとに、目標値を設定した。(※北秋田警察署統計による交通事故件数)				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	35件	35件	35件	35件	35件
実績値	13件	24件	—	—	—

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗	A: 目標を達成	進捗・達成率(R4年度)	145.8%
取組の内容と達成状況	関係機関と連携しながら交通安全運動期間などでの街頭指導や交通指導車でのパトロールを行った。		
取組の評価・分析・課題	前年より件数が増加しているが、長期的には減少傾向が続いていることから、街頭指導・パトロールの有効性が認められる。		
今後の方向性(取組)	交通指導員の街頭指導・交通指導車でのパトロールを継続して行う。		

KPI(指標)/数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI(指標)の考え方等	
-----------------------	---	------------------------------	--

備考	
----	--

(令和5年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	123	種別	総合計画	担当部署	生活課地域推進係
基本戦略/基本理念	基本理念5 みんなで力をあわせる住みよいまちづくり			施策	5-3 交通安全の推進・防犯体制の強化
KPI(指標)	3 交通事故死者数				
KPI(指標)の考え方	令和元年度の水準をもとに、目標値を設定した。(※北秋田警察署統計による交通事故死者数)				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	0人	0人	0人	0人	0人
実績値	1人	1人	—	—	—

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗	E:その他	進捗・達成率(R4年度)	—
取組の内容と達成状況	関係機関と連携しながら交通安全運動期間などでの街頭指導や交通指導車でのパトロールを行っているが、交通事故による死亡者が発生(1人)。		
取組の評価・分析・課題	長期的には、交通事故件数・交通事故による死傷者数の減少傾向が続いていることから、街頭指導・パトロールの有効性が認められる。		
今後の方向性(取組)	交通指導員の街頭指導・交通指導車でのパトロールを継続して行う。		

KPI(指標)/数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI(指標)の考え方等
-----------------------	---	------------------------------

備考	毎年度の交通事故死者をゼロとする目標のためパーセンテージでは表せない。
----	-------------------------------------



(令和5年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	124	種別	総合計画	担当部署	生活課地域推進係
基本戦略/基本理念	基本理念5 みんなで力をあわせる住みよいまちづくり			施策	5-3 交通安全の推進・防犯体制の強化
KPI(指標)	4 犯罪件数(刑法犯認知件数)				
KPI(指標)の考え方	令和元年度の水準をもとに、目標値を設定した。(※北秋田警察署統計による犯罪件数)				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	40件	40件	40件	40件	40件
実績値	57件	68件	—	—	—

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗	C: 取組に努力を要する	進捗・達成率(R4年度)	58.8%
取組の内容と達成状況	関係機関と連携しながら、飲食店訪問など防犯指導員によるパトロール及び防犯カメラの設置による犯罪の未然防止、抑止に努めた。		
取組の評価・分析・課題	長期的には、刑法犯認知件数が減少傾向が続いていたが、特殊詐欺などが散発し前年より件数が増加している。パトロールや防犯カメラの設置が防犯意識の啓発に有効と認められる。		
今後の方向性(取組)	防犯指導員の街頭指導を継続して行う。出前講座などを通じ特殊詐欺被害の被害防止に努める。		

KPI(指標)/数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI(指標)の考え方等	
-----------------------	---	------------------------------	--

備考	
----	--

(令和5年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	125	種別	総合計画	担当部署	生活課地域推進係
基本戦略/基本理念	基本理念5 みんなで力をあわせる住みよいまちづくり			施策	5-4 消費者保護の推進
KPI(指標)	1 消費生活に関する講座、研修会参加者数				
KPI(指標)の考え方	令和元年度の実績値から5年で20.0%の増加を目標とした				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	174人	180人	186人	192人	200人
実績値	146人	72人	—	—	—

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗	B:概ね順調に推移	進捗・達成率(R4年度)	40.0%
取組の内容と達成状況	出前講座・研修会で特殊詐欺の被害防止・通信販売トラブル等の啓発を行ったが、新型コロナウイルス感染症の流行時期であることから、研修会の開催が減少している。		
取組の評価・分析・課題	講座・研修会により、消費生活センターの周知が進み、消費生活意識の啓発が図られている。		
今後の方向性(取組)	引き続き出前講座・研修会を継続して開催する。若年者の消費者教育に向け、小中学校での啓発活動を継続する。		

KPI(指標)/数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI(指標)の考え方等	
-----------------------	---	------------------------------	--

備考	
----	--

(令和5年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	126	種別	総合計画	担当部署	総務課総務係
基本戦略/基本理念	基本理念5 みんなで力をあわせる住みよいまちづくり			施策	5-7 行財政改革の推進
KPI(指標)	1 職員数(各年度4月1日現在)				
KPI(指標)の考え方	令和2年4月1日現在の実職員数(474人)を基準とし、令和2年度末職員数の現状及び将来的な要素を考慮し持続可能な行政サービスの維持継続のために必要と想定される職員数を目標値とした				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	464人	464人	464人	468人	468人
実績値	463人	461人	—	—	—

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗	A: 目標を達成	進捗・達成率(R4年度)	99.4%
取組の内容と達成状況	第2次職員定員適正化計画、定員管理計画に沿って、退職者を把握しながら採用を行い、目標を達成した。		
取組の評価・分析・課題	目標を達成したが、定年退職以外の退職が増加したことにより第2次定員適正化計画を大幅に下回る職員数の減少である。業務の縮減や民間委託等を伴わない職員数の減少は、行政運営のほか時間外勤務の増加やメンタルヘルス対策にも支障をきたす恐れがある。		
今後の方向性(取組)	令和4年度に、令和8年度までの「北秋田市定員管理計画」を策定したことから、今後は増加も含めた適正な職員の確保のための取り組みを進める。		

KPI(指標)/数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI(指標)の考え方等	
-----------------------	---	------------------------------	--

備考	
----	--

(令和5年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	127	種別	総合計画	担当部署	財政課財政係
基本戦略/基本理念	基本理念5 みんなで力をあわせる住みよいまちづくり			施策	5-7 行財政改革の推進
KPI(指標)	2 実質公債費比率				
KPI(指標)の考え方	令和2年度で地方交付税の段階的縮減が終了したことを踏まえて行った財政課シミュレーション結果を目標値とした				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	11.1%	11.1%	11.1%	11.1%	11.1%
実績値	9.2%	8.3%	—	—	—

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗	A: 目標を達成	進捗・達成率(R4年度)	133.7%
取組の内容と達成状況	目標値内であり、地方債発行の制限により効果があったものとする。		
取組の評価・分析・課題	実質公債費比率は8.6%で、前年度と比較して0.6ポイント改善された。当該比率は3ヵ年平均として算出されるが、単年度では、前年度に比べて0.08ポイントの改善(ほぼ横ばい)であった。		
今後の方向性(取組)	事業実施年度の平準化や新規地方債借入額を元金償還額以内とするなど、地方債残高の抑制を図り比率の抑制に努める。		

KPI(指標)/数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI(指標)の考え方等	
-----------------------	---	------------------------------	--

備考	
----	--

(令和5年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	128	種別	総合計画	担当部署	財政課財政係
基本戦略/基本理念	基本理念5 みんなで力をあわせる住みよいまちづくり			施策	5-7 行財政改革の推進
KPI(指標)	3 将来負担比率				
KPI(指標)の考え方	令和2年度で地方交付税の段階的縮減が終了したことを踏まえて行った財政課シミュレーション結果を目標値とした				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	85.0%	85.0%	85.0%	85.0%	85.0%
実績値	51.7%	42.1%	—	—	—

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗	A: 目標を達成	進捗・達成率(R4年度)	201.9%
取組の内容と達成状況	目標値内であり、地方債発行の制限により効果があったものとする。		
取組の評価・分析・課題	将来負担比率は50.2%となり、前年度に比べて1.5ポイント減少した。これは将来負担額(地方債現在高および公営企業債等繰入見込額)の減が主な要因となっている。		
今後の方向性(取組)	事業実施年度の平準化や新規地方債借入額を元金償還額以内とするなど、地方債残高の抑制を図り比率の抑制に努める。		

KPI(指標)/数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI(指標)の考え方等	
-----------------------	---	------------------------------	--

備考	
----	--

(令和5年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	129	種別	総合計画	担当部署	総務課総務係
基本戦略/基本理念	基本理念5 みんなで力をあわせる住みよいまちづくり			施策	5-7 行財政改革の推進
KPI(指標)	4 債権等(市税・負担金・使用料等)収納率				
KPI(指標)の考え方	平成30年度、令和元年度と98.5%以上を維持していることから、期間中に98.7%の収納率を目標値とした				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	98.7%	98.7%	98.7%	98.7%	98.7%
実績値	99.0%	99.1%	—	—	—

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗	A: 目標を達成	進捗・達成率(R4年度)	100.4%
取組の内容と達成状況	債権管理委員会及び作業部会を定期的に開催し現状の把握と効果的な対策について協議、検討を重ね目標を達成した。		
取組の評価・分析・課題	取り組みの内容が目標の達成につながっているものと考えている。		
今後の方向性(取組)	引き続き債権監理委員会及び作業部会での取り組みを継続し、収納率の低下を招かないよう対策を図りたい。		

KPI(指標)/数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI(指標)の考え方等	
-----------------------	---	------------------------------	--

備考	
----	--

(令和5年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	130	種別	総合計画	担当部署	総務課総務係
基本戦略/基本理念	基本理念5 みんなで力をあわせる住みよいまちづくり			施策	5-7 行財政改革の推進
KPI(指標)	5 市役所職員の窓口や電話での対応が良いと答えた市民の割合				
KPI(指標)の考え方	前期計画の市民意識調査による目標値をほぼ達成していることから、職員のさらなる意識改革、能力向上を目指し期間中に3.2%の増加を目標とした				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	60.4%	61.1%	61.7%	62.4%	63.0%
実績値	56.6%	57.8%	—	—	—

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗	B:概ね順調に推移	進捗・達成率(R4年度)	94.6%
取組の内容と達成状況	若干であるが、達成率は増加している。市独自で外部講師を招聘し、接遇マナー研修を実施して100名の職員が参加した。		
取組の評価・分析・課題	左記のとおり接遇マナー研修を実施するなどの取り組みを行ったが、大幅な改善には至っていない。研修に参加するだけでなく、新たな取り組みが必要と考える。		
今後の方向性(取組)	接遇マナー研修のほか、部長会議等でも明るく親切的な対応を呼びかけながら、一過性にするのではなく、周知徹底を図っていく取り組みが必要。		

KPI(指標)/数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI(指標)の考え方等	
-----------------------	---	------------------------------	--

備考	
----	--

(令和5年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	131	種別	総合計画	担当部署	総合政策課広報係
基本戦略/基本理念	基本理念5 みんなで力をあわせる住みよいまちづくり			施策	5-7 行財政改革の推進
KPI(指標)	6 市ホームページの年間アクセス数				
KPI(指標)の考え方	人口が減少傾向にあるため、現状と同等程度のアクセス数を得ることを目標とした				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	632,000件	632,000件	632,000件	632,000件	632,000件
実績値	787,159件	835,927件	—	—	—

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗	A: 目標を達成	進捗・達成率(R4年度)	132.3%
取組の内容と達成状況	最新の行政・観光情報などの更新をはじめ、ちいきの話題などを随時掲載。年度目標値を大幅に上回り、過去最高のアクセス数の実績となった。		
取組の評価・分析・課題	これまで同様、各種情報の更新やちいきの話題などの継続発信に加えて、ホームページのトップバナーに「新型コロナ情報」「ふるさと寄附金」「伊勢堂岱遺跡」などの関心の高いコンテンツも、比較的若い世代やステークホルダーを中心にアクセス数の伸びにつながっているものと考えられる。		
今後の方向性(取組)	アクセス数はこれまで順調に推移していることから、左記同様の地道な取り組みを継続し、地域のイベントや各種行政サービスの更新など、公式SNSともリンクしながら、市ホームページ来訪者にとって有益な情報となるコンテンツのさらなる充実に取り組んでいきたい。		

KPI(指標)/数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI(指標)の考え方等	
-----------------------	---	------------------------------	--

備考	
----	--



(令和5年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	132	種別	総合計画	担当部署	総合政策課広報係
基本戦略/基本理念	基本理念5 みんなで力をあわせる住みよいまちづくり			施策	5-7 行財政改革の推進
KPI(指標)	7 何かしら市政情報を得ている市民の割合				
KPI(指標)の考え方	市民意識調査において回答割合の高い森吉地区の水準を全市の目標とした				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	98.0%	98.0%	98.0%	98.0%	98.0%
実績値	92.6%	92.3%	—	—	—

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗	B: 概ね順調に推移	進捗・達成率(R4年度)	94.2%
取組の内容と達成状況	市民意識調査報告書では、市政情報の取得方法が「広報きたあきた」が87.4%で最も高く、「市ホームページ」や「公式SNS」などの取り組みもあわせて概ね順調に推移している。		
取組の評価・分析・課題	依然として、紙媒体の「広報きたあきた」が最も高い割合を占めているが、紙媒体のさらなる充実はもちろん、デジタル媒体が増加傾向にあるため、工夫を凝らしながら複合的な情報発信と周知啓発に努める必要があると考えている。		
今後の方向性(取組)	広報紙は行政情報の最大の伝達手段であることから、「広報きたあきた」のさらなる充実をはじめ、「市ホームページ」「公式SNS」などの複数の媒体も活用しながら相乗効果を生み出していきたいと考えている。また、特に若い世代のターゲットを中心にしつつも、高齢者層にも配慮した効果的、かつ戦略的な広報活動に努めていきたい。		

KPI(指標)/数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI(指標)の考え方等	
-----------------------	---	------------------------------	--

備考	
----	--

(令和5年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	133	種別	総合計画	担当部署	総合政策課広報係
基本戦略/基本理念	基本理念5 みんなで力をあわせる住みよいまちづくり			施策	5-7 行財政改革の推進
KPI(指標)	8 SNSへのフォロワー数(twitter等)				
KPI(指標)の考え方	SNSを活用し情報を得る方が多くなっているため、より多くの方が活用できるよう現状の10.0%の増加を目標とした				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	2,336件	4,350件	4,785件	5,263件	5,789件
実績値	3,955件	4,731件	—	—	—

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗	A: 目標を達成	進捗・達成率(R4年度)	108.8%
取組の内容と達成状況	公式SNSは、twitter、Instagram、Facebook、さらにはYahoo! Japanを活用して各種観光情報や行政情報、身近な話題などの北秋田市の魅力を継続発信しており、順調に推移し目標値を達成した。R4年度末フォロワー数の内訳はtwitter(1,433人)、Instagram(2,550人)、Facebook(748人)となっている。		
取組の評価・分析・課題	令和元年度に開設運用した公式SNSも、令和3年度から発信方法などを工夫して多くの情報発信をした結果、フォロワー数は順調に増加傾向となっている。しかしながら、フォロワー数の右上がりの増加を続けることはなかなか困難でもあることから、新たな取り組みなどが課題と考えている。		
今後の方向性(取組)	SNSは、特に若年層や地域住民など特定の層にアプローチすることに適していることから、目的やターゲットを明確に定義し、視覚的に魅力があり、コンパクトでわかりやすい情報発信に努める。アクセスとフォロワー数やシェア率の向上は、SNS広報活動の評価と捉え、コミュニケーションの促進と北秋田市の認知度向上のために取り組んでいきたい。		

KPI(指標)/数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI(指標)の考え方等	
-----------------------	---	------------------------------	--

備考	
----	--

(令和5年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	134	種別	総合計画	担当部署	財政課デジタル化推進係
基本戦略/基本理念	基本理念5 みんなで力をあわせる住みよいまちづくり			施策	5-7 行財政改革の推進
KPI(指標)	9 電子申請届出サービスの利用の拡大				
KPI(指標)の考え方	オンラインでの電子届出サービス等の利用拡大を図り、市役所の各種申請等へ活用することを目標とした				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	2件	30件	45件	55件	60件
実績値	0件	48件	—	—	—

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗	A: 目標を達成	進捗・達成率(R4年度)	160.0%
取組の内容と達成状況	電子申請届出サービスの利用拡大については、国のぴったりサービスと秋田県電子申請届出サービスの二つの利用拡大に取り組んでいる。電子申請手続きの件数としては、ぴったりサービスは40件、秋田県電子申請届出サービスは8件の登録手続きが完了している。		
取組の評価・分析・課題	秋田県電子申請届出サービスについては、申請書等のダウンロードにとどまっており、電子申請が可能な状況となっていない。国のぴったりサービスについては、令和4年度までに国の目標としていた登録手続きを全て完了しており、電子申請手続きの環境を構築することができた。		
今後の方向性(取組)	マイナンバーカードの普及に伴った国のぴったりサービスや、ぴったりサービスではできない電子申請の受け皿として秋田県電子申請・届出サービスを活用して、電子申請手続きを増やしていくため、サービスを提供する担当課と協議を進めていきたい。		

KPI(指標)/数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI(指標)の考え方等	
-----------------------	---	------------------------------	--

備考	
----	--

(令和5年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	135	種別	総合計画	担当部署	総合政策課政策係
基本戦略/基本理念	基本理念5 みんなで力をあわせる住みよいまちづくり			施策	5-7 行財政改革の推進
KPI(指標)	10 RPAを導入する業務数				
KPI(指標)の考え方	新たにRPAを導入し、業務の効率化を図ることを目標とした				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	2業務	4業務	6業務	8業務	10業務
実績値	1業務	1事業	—	—	—

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗	C: 取組に努力を要する	進捗・達成率(R4年度)	25.0%
取組の内容と達成状況	各部署における業務内容(プロセス)と業務量把握のため実施した全庁業務評価に基づき、複数課にてRPA導入のためヒアリングを実施したが、技術的問題等で導入には至らなかった。		
取組の評価・分析・課題	全庁業務評価及び他自治体の実績をもとにRPA等を導入を検討する。ただ、同じ業務であっても自治体によって事務手続きの進め方が異なるため、他自治体と同様にRPAを導入することが困難な場合がある。		
今後の方向性(取組)	全庁業務評価及び他自治体の実績をもとに各課へヒアリングを行い、RPA等の導入を検討する。		

KPI(指標)/数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI(指標)の考え方等	
-----------------------	---	------------------------------	--

備考	
----	--

